

会報 エコネットはんのう

編集・発行／はんのう市民環境会議



お祝いの言葉

飯能市長 沢 辺 滯 壱

「はんのう市民環境会議」の設立及び会報の発行にあたり、お祝いの言葉を申し上げます。

私たちが暮らす飯能市は、奥武蔵の豊かな森林とその山あいを流れる清流などに代表される美しい自然に恵まれています。

この自然は、私たちの先人たちが多くの時間をかけて育み、引き継いできた財産です。この恵まれた自然を次世代へと引き継いでいくことが、私たちの務めです。

本市では、平成14年度に「飯能市環境基本計画」を策定し、取り組みを進めております。しかし、本市の自然や環境を守り、よりよいものへと発展させていくためには、皆様と行政とのパートナーシップが重要です。

「はんのう市民環境会議」は、皆様とのパートナーシップにより、環境保全、創造への取り組みを実践する組織として設立されました。設立にあたっては、市民の代表による設立準備会を設け、ご検討いただきました。準備会委員の皆様には、熱心なご審議を賜り、心より感謝申し上げます。

この会の設立を機に、市民、事業者、団体及び市がより緊密な連携が図られ、環境の保全、創造が促進されるものと期待しております。

最後に、貴会のますますの発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



ごあいさつ

会長 栗 原 知 司

「はんのう市民環境会議」の設立及び会報の発行にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

この度、「はんのう市民環境会議」の設立総会におきまして、ご出席いただきました多くの会員の皆様にご承認をいただき、会長という大役を仰せつかることとなりました。その責任の重さをあらためて痛感し、身が引き締まる思いであります。

この会は、飯能市内で生活や事業を営む市民、事業者、団体と行政とがお互いに協力し、環境活動を取り組んでいくことを目的として新しく設立された組織でございます。

私たち一人ひとりの環境に配慮した主体的、自発的な取り組みが最も重要であり、基本になります。

「できることからはじめよう」の精神で、私たちの身近なこと、すぐにできることから取り組みを始めることがなによりも大切であり、よりよい環境への第一歩だと考えております。

この会の趣旨に賛同し、ご入会いただいた多くの会員の皆様には、会の活動に対して、多くのアイディアとともに実際に汗を流していただき、活動の主役となってご活躍いただきますことをお願いいたします。



設立総会・記念講演会開催報告

平成15年11月24日（月）に飯能市市民会館において「はんのう市民環境会議」の設立総会を開催しました。

議案第1号「はんのう市民環境会議会則（案）」、議案第2号「平成15年度はんのう市民環境会議役員（案）」、議案第3号「平成15年度はんのう市民環境会議活動方針、事業計画（案）」、議案第4号「平成15年度収支予算（案）」の4つの議題について審議いたしました。

その結果、議案第1号「はんのう市民環境会議会則（案）」第2条の目的については検討課題となりましたが、すべての議題につきまして承認されました。

また、総会に併せて、駿河台大学の内田康夫教授を講師に迎え記念講演会（『環境って何でしょう？』－総合的な視点から－）が行われ、人と環境との関わりや地域特性を生かした生活環境づくりの必要性などについて、わかりやすくお話をいただきました。

これらの他にも「清流保全啓発ポスター」入選作品を展示しました。来場者は会員の皆さんなど170人となり、多くの皆さんにご参加いただきました。



◎はんのう市民環境会議役員

会 長	栗 原 知 司（団体・西川広域森林組合）
副会長	木 川 一 男（市民）
	石 田 安 良（団体・飯能市自治会連合会）
委 員	伊 藤 知 夫（市民）
	田 中 崇 之（市民）
	高 沖 義 則（市民）
	澤 田 富 士 彦（市民）
	服 部 融 亮（市民）
	南林さえ子（駿河台大学教授）
	木 崎 幸 長（団体・飯能商工会議所）
	大久保光一（団体・飯能市商店街連盟）
	浅 野 正 敏（団体・天覧山・多峯主山の自然を守る会）
	新 井 康 夫（団体・飯能河原を守る会）
	古 谷 忠 洋（団体・飯能市農業青年会議所）
	鍋 田 節 男（団体・飯能市合併処理浄化槽組合）
	齋 藤 実（事業者・有限会社 飯能清掃センター）
	三 宮 秀 明（事業者・新電元工業 株式会社）
	町 田 晋（事業者・株式会社 丸広百貨店飯能店・東飯能店）
監 査	早瀬あかね（市民）
	間 辺 元 幸（市民）

平成15年度活動方針及び予算のあらまし

「はんのう市民環境会議」の平成15年度における活動方針、収支予算が総会において決定されましたので、ご報告します。

(1) 活動方針

飯能市の緑と清流に恵まれた自然や環境を守り、育てていくために、市民、事業者、民間団体及び市が相互に協力し、よりよい環境を創り上げていくため、みんなで協力し合い活動を進めます。

今年度は、体制作りや普及啓発活動を中心に取り組みを進めます。

(2) 事業計画

活動方針に基づき、運営委員会を開催し、部会など会の体制作りについて、検討を進めていきます。

また、会報発行などにより、環境意識の普及啓発活動を行うとともに、継続的に会員募集をしていきます。

(3) 収支予算

今年度の収支予算を602千円とし、今回開催しました設立総会や記念講演会、会報の発行などに使用します。



会員を募集しています

「はんのう市民環境会議」では、会員の募集を随時行っております。市役所や公民館、図書館などに置いてある入会申込書に必要事項をご記入の上、事務局（飯能市役所環境緑水課）や、お近くの公民館の窓口までご提出ください。また、Eメールやファクスでも受け付けております。

会員となる条件は、「①市内在住、在勤または在学の方」、「②市内で環境に関する活動をしている構成員が5人以上の団体」、「③市内に在住する事業所及び事業所を構成員とする団体」のいずれかに該当している個人、団体、事業所です。

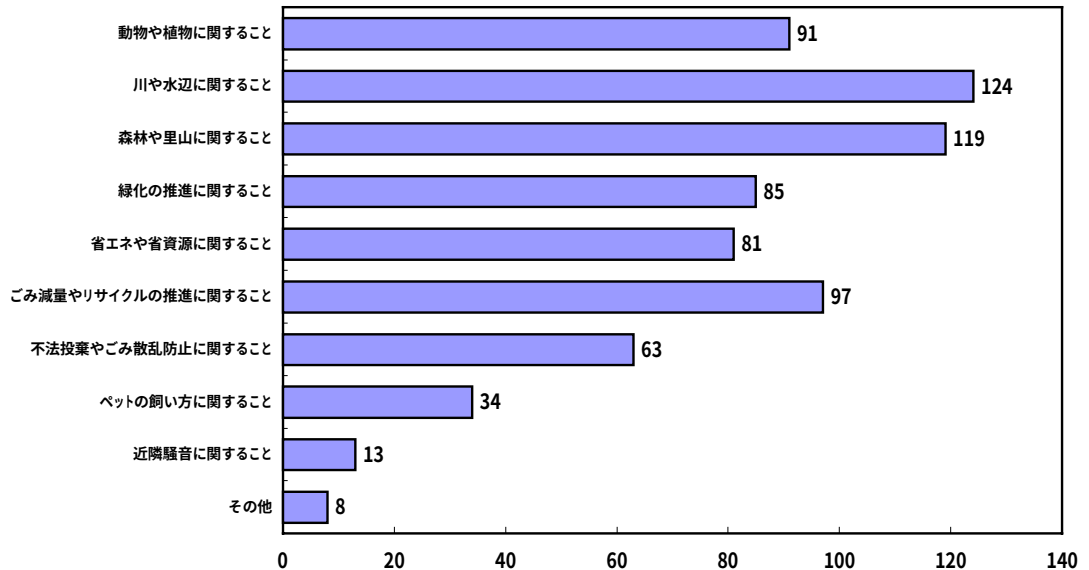
会費は当分の間、無料です。多くの皆様のご入会をお待ちしています。

アンケート集計結果（12月24日現在）

会員を募集するにあたり、皆さんから会に入会してどのような活動を行いたいかなアンケートを実施しました。

その結果をまとめましたのでご報告します。なお、結果は、どのような部会を設けるかを検討するにあたり、参考とさせていただきます。

アンケート結果



自由意見としては、屋外違法広告対策、化学物質対策、法令、交通問題、観光問題、エコツーリズム、捨て犬・捨て猫に関する事などが出されています。



会員の皆さんからの声をお待ちしています。また、この会に対するご意見ご提言がございましたら、お寄せください。

はんのう市民環境会議

事務局 飯能市市民生活部環境緑水課
住 所 〒357-8501 飯能市大字双柳1番地の1
電 話 0429-73-2111
ファクス 0429-74-6737
Eメール kankyo@city.hanno.saitama.jp

会員数（平成15年12月24日現在）

328名

内 訳
個 人：290名
事業所：27名
団 体：11名

会報 エコネットはんのう

編集・発行／はんのう市民環境会議

平成16年度総会を開催しました

はんのう市民環境会議の平成16年度総会が6月20日（日）に富士見公民館集会室において、多くの会員の皆さんの出席のもと、盛大に開催されました。また、総会には、沢辺飯能市長、浜中市議会議長を来賓に迎え、ご祝辞をいただきました。

総会では、平成15年度の事業報告、収支決算の承認に続き、平成16年度新役員の選出、事業計画案、収支予算案を審議し、全ての議案について原案どおり議決されました。

平成16年度は、「はんのうの環境を見る、知る、感じる」を活動のテーマとし、自然環境部会、生活環境部会、地球環境部会の3部会が中心になって、活動を進めていきます。また、会の全体事業として、会報の定期的な発行のほか、環境フォーラムや環境学習会などの開催を予定しています。

総会終了後には、3部会に分かれ、意見交換や勉強会が行なわれ、多くの方々から有意義な意見や提案がされました。



ごあいさつ（要旨）

会長 栗原 知司

総会の開催に際して、ごあいさつ申し上げます。

はんのう市民環境会議が、昨年11月24日に発足し、早くも半年が経過しました。発足当初は、261名であった会員数も、総会時点で349名と100名近くも増え、市民の関心の高さがうかがえます。

平成15年度は実質的な活動を行う専門部会づくりを進め、自然環境、生活環境、地球環境の3部会を立ち上げました。今後、皆様にご参加いただき、活動を展開してい

きます。また、活動の進展によっては、新たな専門部会の創設もあり得ます。様々な分野、活動を進めていきたいと思ひます。

本会議は、「できることからはじめよう」を合い言葉に発足しました。当初は身近な問題から取り掛かり、日頃の活動が続ける中で会員同士がお互いに勉強、啓発をしい、個々の資質を高め、視野を広げ、そして、また新たな分野の活動に取り組んでいく、このようにして活動を広く、活力あるものにしていきたいと思ひます。

そのためにも、会員の皆様の絶大なるご協力をお願いするとともに、市の力強いご支援をお願い申し上げます。

新役員が決まりました

新役員が決まりました。これから新役員を中心に会の運営を進めていきます。皆様のご協力をお願いします。

◎はんのう市民環境会議役員

会 長	栗 原 知 司 (団体・西川広域森林組合)
副会長	木 川 一 男 (市民)
	青 木 徳 治 (団体・飯能市自治会連合会)
委 員	伊 藤 知 夫 (市民)
	田 中 崇 之 (市民)
	高 沖 義 則 (市民)
	澤 田 富 士 彦 (市民)
	服 部 融 亮 (市民)
	南林さえ子 (駿河台大学教授)
	木 崎 幸 長 (団体・飯能商工会議所)
	山 崎 英 夫 (団体・飯能市商店街連盟)
	浅 野 正 敏 (団体・天覧山・多峯主山の自然を守る会)
	新 井 康 夫 (団体・飯能河原を守る会)
	古 谷 忠 洋 (団体・飯能市農業青年会議所)
	鴫 田 節 男 (団体・飯能市合併処理浄化槽組合)
	齋 藤 実 (事業者・有限会社 飯能清掃センター)
	三 宮 秀 明 (事業者・新電元工業 株式会社)
	町 田 晋 (事業者・株式会社 丸広百貨店飯能店・東飯能店)
監 査	早瀬あかね (市民)
	間 辺 元 幸 (市民)

事業計画・予算のあらまし

平成16年度の事業計画、収支予算が総会において決定されました。

(1) 事業計画

「はんのうの環境を見る、知る、感じる」ことをテーマに活動を進めます。

自然環境部会、生活環境部会、地球環境部会の3部会が中心となり、環境の現状を知ることにより重点を置き、活動を進めます。

活動目標を実現するため、各専門部会の取り組みのほか、全体事業として環境フォーラムや環境学習会などを開催し、環境に対する全市的な意識啓発を行います。

また、会報を定期的に発行するための組織として広報委員会を設置します。広報委員会では、会報発行のほか、ホームページの開設について検討します。

(2) 収支予算

今年度の収支予算を98万2千円とし、主に部会活動やイベント事業などに使用します。



専門部会活動について

専門部会の平成 16 年度活動内容をご紹介します。会員の皆さんは、どの部会の活動にも参加できます。皆さんのご参加をお待ちしています。

(1) 自然環境部会

市民に飯能の自然を知ってもらうため、今年度の事業目標を「現状の飯能の自然を知る」とし、活動を行っていきます。

- ①自然観察会を年 4～6 回実施する。
- ②自然環境について活動している個人・団体を発掘し、連携をとる。
- ③飯能市の自然環境についての情報収集を行う。

(2) 生活環境部会

生活に密着した身近な環境問題に目を向け、多岐にわたる生活環境の問題を明確な意識として会員同士が共有できるよう、KJ 法による「ワークショップ」を開催し、生活環境の問題点や部会の方向性を見出していきます。また、ワークショップから気づいたこと等を踏まえ、身近な環境問題について観察や調査をしていきます。

(3) 地球環境部会

資源循環型社会の実現に向け「ごみの減量化」や「省資源・省エネルギー」など生活に密着した活動を展開し、地球温暖化や資源枯渇の防止に結びつけていきます。

- ①クリーンセンター見学会を 3～4 回実施する。
- ②環境学習会を年 2 回実施する。
- ③環境ネットワークづくりを行う。

部会活動報告（4月～6月）

- ・ 4月24日（土） 専門部会懇談会の開催（場所：市役所501会議室）（延べ118名参加）

自然環境部会、生活環境部会、地球環境部会の3部会の懇談会をそれぞれ開催し、部会の趣旨説明のほか、平成16年度の活動内容などについて意見交換を行いました。

- ・ 5月29日（土） 自然環境部会の開催（場所：中央公民館ほか）（36名参加）

飯能河原から緑のトラスト地にかけての自然散策会を実施し、身近な自然を観察しました。散策後、意見交換会を行いました。

- ・ 6月20日（日） 専門部会懇談会の開催（場所：富士見公民館）

☆自然環境部会（36名参加）

会員「天覧山・多峯主山の自然を守る会」の自然調査活動発表の後、意見交換を行いました。また、次回以降の取組事例発表団体の募集と自然観察会への参加を呼びかけました。

☆生活環境部会（15名参加）

犬のフン、タイヤ等の不法投棄、公園や河川敷のごみ、直火バーベキュー等への取組事例が発表され、今回は、ワークショップを開催し、活動内容を検討することが決まりました。

☆地球環境部会（16名参加）

クリーンセンター見学会や環境学習会などについて討議しました。地元企業の「環境への取り組み」をテーマにした講演会や懇談会の開催を、今年度の具体的テーマとして計画することにしました。



自然環境部会



生活環境部会



地球環境部会

7月、8月の予定

各部会の7月、8月の予定をご案内します。皆さんの参加をお待ちしています。
各部会の活動日時、場所、内容をお間違えないようご注意ください。

・7月

22日(木) 地球環境部会開催

時 間：午後7～9時(申込不要、直接会場へ)

場 所：富士見公民館第1学習室(住所：双柳1-16【市役所北側】)

内 容：活動に向けての意見交換

23日(金) 生活環境部会開催

時 間：午後7～9時(要申込、7月20日までに環境緑水課へ)

場 所：飯能幼稚園(住所：山手町9-14)

内 容：ワークショップ(生活環境に関する課題を出しあい、皆で討議します。)

申 込：希望者は市役所環境緑水課に電話、ファクス等でお申込みください。

その他：参加者は当日、飯能幼稚園にお集まりください。

24日(土) 自然環境部会開催

時 間：午後1時30分～3時30分(申込不要、直接会場へ)

場 所：富士見公民館 第2学習室(住所：双柳1-16【市役所北側】)

内 容：エコツーリズムについて学ぼう

・8月

6日(金) 地球環境部会開催

時 間：午前9時30分～12時(要申込、8月3日までに環境緑水課へ)

場 所：クリーンセンター(住所：下畑768-1)

内 容：施設見学会、意見交換会

申 込：希望者は市役所環境緑水課に電話、ファクス等でお申込みください。

その他：参加者は当日、クリーンセンターにお集まりください。

8日(日) 自然環境部会開催

時 間：午前9時30分～午後2時30分(小雨決行)(申込不要、直接集合場所へ)

集合場所：市民会館北側 中央公園トイレ付近

内 容：自然観察会「水辺の生き物発見！」

岩根橋から吾妻峡まで水辺の生き物を観察し名栗川上流へ

持ち物：弁当、水筒、筆記用具、帽子、ぬれてもいい運動靴、短パン

参加費：保険料1人100円

共 催：天覧山・多峯主山の自然を守る会

23日(月) 生活環境部会開催

時 間：午後7～9時(要申込、8月20日までに環境緑水課へ)

場 所：飯能幼稚園(住所：山手町9-14)

内 容：ワークショップ(生活環境に関する課題を出しあい、皆で討議します。)

申 込：希望者は市役所環境緑水課に電話、ファクス等でお申込みください。

その他：参加者は当日、飯能幼稚園にお集まりください。

はんのう市民環境会議

事務局 飯能市市民生活部環境緑水課
住 所 〒357-8501 飯能市大字双柳1-1
電 話 042-973-2111
ファクス 042-974-6737
Eメール kankyo@city.hanno.saitama.jp

会員数(平成16年7月1日現在)

350名

内 訳

個 人：300名

事業所：33名

団 体：17名

会報 エコネットはんのう

編集・発行／はんのう市民環境会議

専門部会活動状況報告

自然環境部会

「現状の飯能の自然を知る」という今年度の事業目標にそって、既存の団体の活動と連携して自然観察会を実施しています。これまで、「天覧山・多峯主山の自然を守る会」が行なっている「ふるさと散歩」と合同で、第2回目を8月8日に、第3回目を10月10日に開催しました。

第2回目は、猛暑の真っ只中であつたにもかかわらず20名の参加者がありました。「水辺の生き物発見！」というテーマで、名栗川を岩根橋からゆっくり川辺を観察しながら吾妻峡までを散策。カジカ、ギバチ、ヌカエビ、カワニナ等々たくさんの種類のきれいな水の指標となる水生生物を観察することができ、改めて名栗川が清流として誇れるものであると再認識させられた観察会でした。

第3回目は、「天覧山・多峯主山の秋景色」と題して飯能の緑のシンボル地、天覧山、多峯主山一帯を散策。小雨のぱらつくあいにくの天候の中、25名もの参加がありました。紅葉にはまだ早すぎる森の様子でしたが、この山の豊かな植物種を学び、また、ナツハゼの実を味わったりキノコを採ったりして楽しみました。途中、この地域一帯が開発予定地であることをお知らせすると、皆一様に驚き、保全の必要性を感じていたようです。

自然環境部会では、こうしたフィールドワーク（野外学習）の他に勉強会も行っています。飯能市と名栗村は、今年環境省が支援する「エコツーリズム推進モデル事業」の地区に選ばれました。このことに対して、いち早く情報をキャッチすべく7月24日に担当の専門家に講師をお願いして「エコツーリズムについて学ぼう」という勉強会を開催しました。飯能・名栗地区に残された歴史や文化、そして身近な自然環境を将来にわたり持続していくために、ツーリズム（観光）という手法を使って経済的にフォローできないかと試みるものです。あくまでも保全が目的であって、集客が目的となってしまうないように見守っていく必要があるようです。

今後も「エコツーリズム」について、自然環境部会として勉強会を続けていくとともに、エコツーリズムの考え方と深く関係する「桜の森」計画についても議論を進めていければと考えています。



天覧山裏、ホテルの里にて



名栗川、水辺の観察会

生活環境部会

1. 開催日・場所・参加人数

7月23日(金)午後7時から	飯能幼稚園	9名
8月23日(月)午後7時から	飯能幼稚園	10名
9月25日(土)午前9時半から	飯能幼稚園	12名
10月22日(金)午後7時から	飯能幼稚園	8名



阿須運動公園

2. 内容

『生活環境』という多岐にわたるテーマをいただき、どのような活動が良いのか、何をするべきなのか全く見当がつかないところからのスタートでした。そんな中、部会に出席くださる方々が『生活環境』をどの様にとらえているのかを理解するために7月の部会では、『生活環境について』をテーマにワークショップを行いました。この日は多くの意見を出していただくところで終了しました。8月には整理した意見をもとに部会の活動内容を以下の6つに絞り込みました。

- ①公園を考える ②水を考える ③ごみを考える
- ④道路環境を考える ⑤ペットについて考える ⑥山林について考える

この6つのテーマについて、月ごとに部会を開催することになりました。9月には『公園を考える』をテーマにワークショップを行い、多くの意見が出されました。そのため一回の開催では不十分ということで、次回以降も『公園を考える』をテーマに部会を開催することとなりました。10月は前回の結果を分析しました。公園も大きく2つに分類し『市街地の公園』、『観光地も含めた公園』について検証をしていくこととなり、次回は『市街地の公園を歩いて巡ってみよう』と題し、観察会を開催することとなりました。

4回の部会開催を通して、様々な意見をお互いに出し合い真剣に話し合いながら様々な環境に対する問題を情報として、部会出席者が共有することができました。今後も方向性を確認しながら部会の活動を行っていきます。

地球環境部会

- 懇談会 7月22日(木)(場所：富士見公民館 12名参加)

これからの部会活動について意見交換を行いました。活発な意見交換があり、この中で市広報を活用した活動案内を9月から始めました。また、いろんな分野の環境度チェックに活用できる「チェックシート」の原案作成を会員の印南氏にお願いしました。

- クリーンセンター施設見学会 8月6日(金)、9月20日(月)(延べ25名参加)
4年前に改修されたクリーンセンターの設備の稼動状況、分別回収されたごみが「焼却」や「リサイクル」、「破碎」、「埋め立て」などに処分されている状況を見学しました。見学後、質疑応答と“ごみの減量”“不法投棄”などについて意見交換を行いました。

- 環境学習会 10月12日(火)(場所：富士見公民館 14名参加)

テーマ：丸広百貨店の環境対応

昨年12月に環境の世界標準である“ISO14001”を認証取得し、現在、丸広百貨店の全店舗で実施している「地球環境保全に対する取り組み事例」を具体的に説明してもらいました。「省資源・省エネルギー」や「ごみの減量」、「リサイクルの推進」などの活動を着実に推進されていることを知りました。



環境みるみるツアー

参加者
募集！



飯能市は、豊かな緑と清流に囲まれ、自然の創りだす名所がたくさんありますが、自分の暮らす（通う）まちの環境がどうなっているのか、なんとなくは知っているけど、現地へ行く機会ってあまりないのではないのでしょうか。

そこで、今回、全体事業として今年度のテーマでもある「はんのうの環境を見る、知る、感じる」ため、下記のとおり市内をめぐる「環境みるみるツアー」を企画しました。

ごく一部の場所ではありますが、身近な環境を見つめていただけたらと思います。

皆さんのご参加をお待ちしております。

なお、広報はんのう 11月1日号にも参加者募集の案内を掲載します。



上：水明橋からの風景
（原市場地区）
左：南高麗タブの木
（南高麗地区）



1. 日 時 平成16年11月20日（土）
午前 8 時40分集合（9時出発）、午後3時頃解散予定 【雨天決行】
2. 集合場所 飯能市役所 正面玄関前
3. 内 容 ●第1部 貸し切りバスにより、現在の自然の状況を観察
コース：市 役 所 － 矢 嵐 ・ 矢 久 橋 － 矢 嵐 ト ラ ス ト 地 － 美 杉 台 大 河 原
地 区 開 発 地 － 南 高 麗 タ ブ の 木 － 唐 竹 ・ 水 明 橋 － 小 岩 井 － 中 央 公
園（昼食）－ 市 役 所（雨天時はコース変更の場合あり）
●第2部 懇談会（会場：富士見公民館）
第1部の感想等について、みんなで話し合う
4. 定 員 70人（申し込み順）
5. 費 用 500円（保険料、バス代） 当日集めます。
6. 持ち物等 弁当、水筒、雨具、レジャーシート、筆記用具、動きやすい服装（山道、河原等を散策します）
7. 申し込み 11月12日（金）までに電話、ファクス等で市役所環境緑水課まで
ファクス、Eメールの場合は、住所、氏名、電話番号を明記

11月、12月の予定

各部会の11月、12月の予定をご案内します。皆さんの参加をお待ちしています。
各部会の活動日時、場所、内容をお間違えないようご注意ください。

・11月

13日（土） 自然環境部会開催

時 間：午後7時～9時（申込不要、直接会場へ）

場 所：富士見公民館 2階和室

内 容：第2回勉強会（エコツーリズム、桜の森等について）

27日（土） 生活環境部会開催

時 間：午前9時から午後3時頃まで【小雨決行】

（要申込、11月24日までに市役所環境緑水課へ）

集合場所：飯能幼稚園（住所：山手町9-14）

内 容：「市街地の公園を歩いて巡ってみよう」

中央公園、前田公園、美杉台緑地などを巡ります。

申込み：参加希望者は、電話、ファクス等で市役所環境緑水課までお申込みください。

持ち物：現金（昼食代）、筆記用具、動きやすい服装

参加費：保険料1人100円

その他：昼食は、途中のお店で食べます。

※11月20日（土）は、「環境みるみるツアー」を開催します。

・12月

11日（土） 自然環境部会開催

時 間：午後7時～9時（申込不要、直接会場へ）

場 所：富士見公民館 2階和室

内 容：第3回勉強会（エコツーリズム、桜の森等について）

23日（木） 地球環境部会開催

時 間：午前9時30分～正午（要申込、12月20日までに市役所環境緑水課へ）

場 所：クリーンセンター（住所：下畑768-1）

内 容：施設見学と年末に向かって、ごみの減量とリサイクルをご一緒に考えましょう（前回の施設見学会と同内容）。

申込み：希望者は、電話、ファクス等で市役所環境緑水課までお申込みください。

その他：参加者は、当日クリーンセンターへお集まりください。

編集後記：今年は台風も23号と、やたらめったに多かったせいか燃えたぎった夏も心なしか忘れかける今日この頃です。それにつけても、台風のツメ跡をTVで見ると我々の住んでいる飯能地方があの悲惨な渦に巻き込まれず幸いであったとホッとさせられます。

環境問題もそれぞれの部会での皆様の活躍を見る時、頭がさがる思いです。心あせれどなかなか環境問題の取り組みは未来像が掴めませんが、地道な努力の積み重ね以外なさそうです。

2004年もあと2か月で終わります。来年もよろしくお願い致します。（広報委員長：木川）

はんのう市民環境会議

事務局 飯能市市民生活部環境緑水課環境推進担当

住 所 〒357-8501 飯能市大字双柳1-1

電 話 042-973-2111（内線175）

ファクス 042-974-6737

Eメール kankyo@city.hanno.saitama.jp

皆さんの声をお待ちしています。
この会に対するご意見・ご提言がございましたら、お寄せください。

会報 エコネットはんのう

編集・発行／はんのう市民環境会議

環境みるみるツアーを開催しました

飯能市は、豊かな緑と清流にはぐくまれた、素晴らしい自然・環境の名所がたくさんあります。しかし、実際にその場所を訪れ、咲き乱れる花を見る、風や木枝がゆれる音を聴く、清流の心地よさを肌で感じるといった機会は少ないのではないのでしょうか。

そこで、はんのう市民環境会議では、今年度の全体テーマである「はんのうの環境を見る、知る、感じる」を実践し、私たちの街をもっと身近に感じるため、11月20日に「環境みるみるツアー」を開催しました。

ツアーには、28名が参加し、自然環境部会の浅野部会長のガイドのもと、矢久橋から望む入間川の風景、飯能河原周辺の緑豊かなトラスト地、公団の開発地、県指定天然記念物の南高麗タブの木、原市場唐竹の水明橋、小岩井地内の不法投棄、天覧山下の中央公園と巡りました。

今回のツアーで、メインとなった「南高麗タブの木」は、富士浅間神社の裏山の坂を汗をかきながら登ると、枝を四方に伸ばした威風堂々とした姿を現しました。このタブの木は、国内のタブの木分布における北限を記録する、樹齢推定700年の巨木で、私たちが訪れるのを、じっと待っていてくれているようでした。参加者からは、「その大きさ、生命力に感動した」といった言葉が聞かれました。また、「もっと手入れが必要」という意見もありました。



南高麗タブの木（南高麗地区）

しかし、飯能のいいところだけではなく、悪いところも見て回りました。小岩井地内の道路脇の不法投棄現場には、心ない人によって捨てられたごみが散乱し、その現状を見た参加者からは、「ごみ拾いのボランティア活動をやろう」といった意見が出されました。

ツアー後には、懇談会を行い、ツアーの感想などを話し合いました。環境を知ることができた、ツアーを今後も継続してもらいたいなど、好評のうちに終了しました。



専門部会活動を報告します（11～2月）

《生活環境部会》

生活環境部会では、「飯能の公園について」を話し合い、公園の問題点等を考えてきました。そこで、実際に飯能の公園、特に市街地の公園を中心に「公園の現状を視察し、問題点を明確に把握したい」ということを目的に徒歩での公園を巡る事業、『市街地の公園を歩いて巡ってみよう』を11月27日に10名が参加し、実施しました。

飯能幼稚園に集合し、299バイパス、上ノ台公園、原町児童遊園地、前田公園、玉宝公園、橋場公園、柿堂公園、東飯能駅、中央通り商店街、銀座通り商店街、大通り商店街、美杉台・桜の森予定地、飯能河原、中央公園と巡り、飯能幼稚園で解散となりました。

街区公園や児童遊園、近隣公園などを見て回りましたが、どの街区公園も周りを囲む木が大きくなり、見通しが悪く感じました。公園のある地域の平均年齢を事前に調べ、資料とともに視察すると、平均年齢の低い地区では、子ども連れの親子が目立ちました。逆に平均年齢の高い地区では、ゲートボール場・グラウンドゴルフ場としての利用が多いようでした。

災害時の避難場所としての公園も現状のままで大丈夫なのでしょうか。トイレ水道等の施設もあるにはありますが、整備されているとはいえないものでした。他の市では仮設トイレ用下水道も整備されているところもあります。災害時に多くの人を利用することを考えると必要と感じました。

桜の森の予定地とされる美杉台公園周辺、また中央公園の西側の場所も視察しましたが、整備された遊歩道や広場について様々な角度から意見を集め、桜の森のような市民の憩いの場、観光の場として有効利用できるようにしてほしいという意見もありました。



中央公園

朝の9時に出発し昼食をはさんで3時にはゴールしました。公園を検証しながら飯能のまちを1周しましたが、公園以外でも飯能のまちの良さを再認識できました。

《地球環境部会》

地球環境部会では、資源循環型社会の実現に向け、ごみの減量化や省資源・省エネルギーなど、生活に密着した活動を行っています。今回も引き続き、現状を知り、自分たちにできることは何かを探るため、クリーンセンターの施設見学会、環境学習会を開催しました。



クリーンセンター

○クリーンセンター施設見学会 12月23日(木)(12名参加)

今年度3回目の「飯能市クリーンセンター施設見学会」を開催しました。施設の稼働状況と分別された“ごみ”や“資源”の流れなどについて、説明を受け、実際に施設内を見学しました。

見学のあと、質疑応答とごみの減量などについて意見交換を行いました。

○環境学習会 1月29日(土)(場所：富士見公民館 12名参加)

テーマ：地球環境の保全 ～私たちにできることは～

会員で環境カウンセラーの印南幸雄さんを講師に、「地球環境の保全～私たちにできることは～」と題して、学習会を開催しました。

“食糧問題”と“ごみ問題”という2つの切り口から見た「地球環境の現状と問題点」を浮き彫りにして、その対策を私たち一人ひとりの行動に結びつける糸口の紹介がありました。今後の部会活動を進めるうえで、とても有意義なものでした。

○懇談会 2月26日(土)(場所：富士見公民館 11名参加)

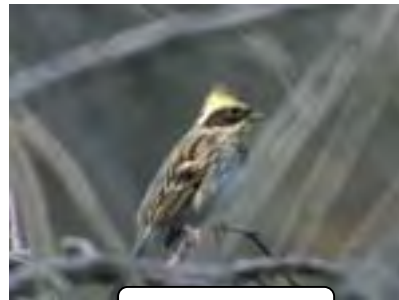
平成17年度の部会活動計画について意見交換を行いました。

地球温暖化防止、ごみ減量、環境教育、部会活動の活性化などの重点課題と、これら課題に対する具体的な取り組みテーマを出して、それらに優先順位をつけました。この結果を平成17年度の部会活動計画の骨子として、部会運営を進めていくことになりました。

《自然環境部会》

自然環境部会では、「現状の飯能の自然を知る」を目標に自然観察会を引き続き実施しています。今回、「天覧山・多峯主山の自然を守る会」と合同で、第4回目となる自然観察会を2月13日に開催しました。30名もの皆さんが参加し、「春に唄うバードウォッチング」というテーマで、野鳥観察を行いました。

天覧山裏の冬枯れた木立の中、コゲラ、シジュウカラ、ジョウビタキといった野鳥のほか、なかなか見ることができないルリビタキ、さらには3～5年に一度しか見られないといわれるほど珍しい、ミヤマホオジロが姿を見せ、幸運な観察会になりました。今回の野鳥観察では、計15種の野鳥を確認することができました。



ミヤマホオジロ

また、フィールドワーク(野外学習)と平行して、引き続き、エコツーリズムと桜の森計画を中心に11月13日、12月11日、1月22日、2月26日の計4回、富士見公民館を会場として、勉強会を開催し、延べ90名が参加しました。

エコツーリズムについては、その検討状況の経過説明や宮城県田尻町でのエコツーリズムシンポジウムへの出席者からの体験報告、2月19日に開催されたエコツーリズムの「キックオフ！シンポジウム」の報告などがなされ、出席者の皆さんと意見交換を行いました。また、桜の森計画についても、新たに勉強会に参加する方にもその経緯が共有できるように会議録をまとめながら、皆さんと活発な意見交換を行っています。

エコ・トピックス

私たち「はんのう市民環境会議」に関わりあるトピックスを紹介していきます。

エコツーリズムシンポジウムが開催されました

環境省からエコツーリズム推進モデル地区の全国13か所の1つに飯能・名栗地区が選ばれ、2月19日にキックオフシンポジウムが開催されました。当日は、本会の会員の皆さんも多く参加していました。

エコツーリズムとは、「自然環境や歴史文化を対象とし、それらを体験し、学ぶとともに、対象となる地域の自然環境や歴史文化の保全に責任を持つ観光のあり方」だそうです。あまり難しく考えずに、「そうだ、自然を楽しむ旅に出よう」と考えれば、もっと身近に思えるのではないのでしょうか。

本会の自然環境部会でも、エコツーリズムを通じた自然の保全と活用について勉強会を続けています。

皆さんも、自然を楽しむ旅へと出てはどうでしょう。



ストップ！地球温暖化

2月16日に、進み続ける地球温暖化に歯止めをかけるための「京都議定書」が発効されました。温暖化に影響する温室効果ガスの大部分が二酸化炭素です。この二酸化炭素、日本での排出量の約半分が家庭からで、私たちの生活と密接に関わっています。

では、二酸化炭素を減らすにはどうすればいいのでしょうか。それは、日常の中で、省エネなどに取り組むことから始まります。

私たちが生活の中で簡単にできることがあります。例えば、「自動車の使用を半分にして、アイドリングもやめる」、「いらないものを買わないで、ごみを半分にする」、「使っていない電気製品のコンセントを抜く」など、身近なことでできることが多くあります。



守ろう、地球の笑顔を！

私たちも、できることから始めましょう。それが、温暖化防止への第一歩です。

編集後記：早いもので、もう立春も過ぎ、白梅、紅梅の開花が聞こえてくる昨今です。ここ数日、寒波の到来で70歳を過ぎた身には、ひととき堪えます。昨年は、新潟中越地震を始め、世界に亘って台風や津波による災害で尊い命が奪われ、2004年を京都清水寺の森清範管長は「災」の年とされました。国内では凶悪犯罪と治安の悪化もあり、まさに惨憺たる状況であります。それでも自然はおもむくままに季節はめぐり春を告げます。せめて自分たちの住む飯能市の環境だけでもできるだけ目にとめていきたいと思えます。飯能市と名栗村が合併し、環境についても新しい分野での課題がいろいろ多くなることと思いますが、自分たちのため郷土飯能市を守り、築いていくことが必要と思えます。会員の皆様には本年も健康に留意され、ご活躍を祈ります。（広報委員長：木川一男）

この会への意見・提案など、皆さんの声をお待ちしています。

はんのう市民環境会議

事務局

飯能市市民生活部環境緑水課環境推進担当

住所 〒357-8501 飯能市大字双柳1-1

電話 042 (973) 2111 (内線 175)

ファクス 042 (974) 6737

Eメール kankyo@city.hanno.saitama.jp

3月、4月の予定をご案内します

各部会の3月、4月の予定をご案内します。皆さんの参加をお待ちしています。
各部会の活動日時、場所、内容をお間違えないようご注意ください。

《 3 月 》

21日（月・振替休日） 地球環境部会開催

時 間：午前9時30分～正午（要申込、3月17日までに市役所環境緑水課へ）
場 所：クリーンセンター（住所：下畑768-1）
内 容：今年度最後の施設見学会です。実際に施設の状況を見学し「ごみの減量」や「リサイクル」について一緒に考えましょう。
申込み：希望者は、電話、ファクス等で市役所環境緑水課までお申込みください。
その他：参加者は、当日、クリーンセンターにお集まりください。

26日（土） 生活環境部会開催

時 間：午後2時～4時（要申込、3月24日までに市役所環境緑水課へ）
場 所：林業センター 1階視聴覚室（住所：阿須343-1）
内 容：部会活動の16年度の反省と17年度の方向性について話し合います。
申込み：希望者は、電話、ファクス等で市役所環境緑水課までお申込みください。
その他：参加者は、当日、林業センターにお集まりください。

26日（土） 自然環境部会開催

時 間：午後7時～9時（要申込、3月24日までに市役所環境緑水課へ）
場 所：富士見公民館 2階和室（住所：双柳1-16）
内 容：第6回勉強会（エコツーリズム、桜の森等について）
申込み：希望者は、電話、ファクス等で市役所環境緑水課までお申込みください。
その他：参加者は、当日、富士見公民館にお集まりください。

《 4 月 》

10日（日） 自然環境部会開催

時 間：午前9時30分～午後2時30分（雨天中止）（申込不要、直接集合場所へ）
集合場所：市民会館北側 中央公園トイレ付近
内 容：自然観察会「春のお山は花盛り」
天覧山一帯にはヤマザクラがたくさん咲いています。移ろう季節の一瞬を満喫しましょう。
持ち物：弁当、水筒、筆記用具、あれば双眼鏡、歩きやすい服装で
参加費：保険料1人100円
共 催：天覧山・多峯主山の自然を守る会

16日（土） 地球環境部会開催

時 間：午後2時～4時（要申込、4月14日までに市役所環境緑水課へ）
場 所：富士見公民館 第2学習室（双柳1-16）
内 容：アースデーを前にして「環境家計簿」について一緒に勉強しましょう
申込み：希望者は、電話、ファクス等で市役所環境緑水課までお申込みください。
その他：参加者は、当日、富士見公民館にお集まりください。

23日（土） 自然環境部会開催

時 間：午後7時～9時（要申込、4月21日までに市役所環境緑水課へ）
場 所：富士見公民館 2階和室（双柳1-16）
内 容：第7回勉強会（エコツーリズム、桜の森等について）
申込み：希望者は、電話、ファクス等で市役所環境緑水課までお申込みください。
その他：参加者は、当日、富士見公民館にお集まりください。

お問い合わせ・申込み先（はんのう市民環境会議事務局）

飯能市市民生活部環境緑水課環境推進担当

住所 〒357-8501 飯能市大字双柳 1-1

電話 042（973）2111（内線175）／FAX 042（974）6737

Eメール kankyo@city.hanno.saitama.jp

会報 エコネットはんのう

編集・発行／はんのう市民環境会議

平成17年度総会を開催しました

6月18日（土）に富士見公民館集会室を会場に、平成17年度総会が会員の皆さんの出席のもと、沢辺飯能市長、梶田市議会議長を来賓に迎え、盛大に開催されました。

総会では、平成16年度の事業報告、収支決算の承認に続き、自治会連合会から選出の青木徳治氏の退任に伴い、新副会長に岡部重信氏が選出されました。また、事業計画案、収支予算案を審議し、全ての議案について原案どおり承認されました。平成17年度における活動テーマは、「さあ、一步を踏み出そう」です。

自然環境部会、生活環境部会、地球環境部会の3部会が中心になって活動を進めていきます。皆さんも部会活動に積極的に参加し、できることから始めましょう。

また、会場には、展示コーナーを設け、3部会の活動報告や「環境みるみるツアー」の様子のほか、会員である「新電元工業」、「丸広百貨店」、「天覧山・多峯主山の自然を守る会」の環境への取り組みを紹介しました。今後も、皆さんの活動について紹介できる場を設けて行きたいと思います。



総会終了後には、会員で、環境カウンセラーでもある印南幸雄さんによる講演会「私たちの価値観と地球環境」が開催されました。講演では、リサイクルのみに傾倒することの問題点や「無知、無関心、無責任」が環境問題の原因であること、そして、これからの時代、事実を知ること、仲間を作り話し合うこと、広く意思表示をすることの重要性や、本当の幸せはなんであるのかを考え、物への執着から心の充実へ価値観を転換することの大切さなどを分かりやすくお話いただき、大変有意義な講演会となりました。

○新副会長が選出されました

青木副会長の退任に伴い、新副会長が選出されました。

新副会長 岡部 重信（団体・飯能市自治会連合会）

○事業計画・予算のあらましをお知らせします

（1）事業計画

今年度のテーマを「さあ、一步を踏み出そう！」とし、自然環境部会、生活環境部会、地球環境部会の3部会を中心に行動を進めます。活動目標を実現するため、各専門部会の活発な取り組みのほか、会の全体事業として環境フォーラムや環境学習会などを開催し、環境に対する全市的な意識啓発を行います。また、情報提供については、会の活動を積極的にPRし会員の拡大を図るとともに、会報を定期的に発行し、多くの方に部会活動やイベントにご参加いただけるよう努めていきます。

（2）収支予算

今年度の収支予算を126万5千円とし、部会活動や会報の発行、イベント等を開催します。

紹介します！ 専門部会活動

平成17年度部会活動計画

専門部会の平成17年度における活動内容をご紹介します。会員の皆さんは、どの部会の活動にも参加できます。皆さんのご参加をお待ちしています。

《自然環境部会》

今年度のテーマを『「知る」から「行動」の年へ』とし、本会が掲げている市民、事業者、行政が協働で望ましい環境づくりを行っていくという場の形成に積極的に取り組んでいきます。

- ①毎月1回定例会議の開催（原則として、第4土曜日、夜7～9時）
- ②広く全市域を含む自然観察会の実施
- ③動植物の調査及び保護に対する意見、提案
- ④各地域における自然環境保全の提起と実践
- ⑤自然環境保全としてのエコソールリズムの学習と提言
- ⑥自然環境に関する計画への意見、提案



《生活環境部会》

環境問題の全てに起因するのは、私たち人間の生活です。危機的な地球環境を修復するのは、私たちの日々の生活を変えていくことだと思います。今の生活を180度一気に変えることは不可能だとしても、一歩ずつでも変えていかなければなりません。

生活環境部会では、グリーンコンシューマー（環境に配慮した品物を選んで買う消費者）のような、環境を考えた生活の仕方を様々な場面で紹介し、行動を起こす一助となるような活動をしていきます。

《地球環境部会》

「地球温暖化防止」が強く叫ばれる中であって、今年度は、毎日の生活に密着した「ごみの減量化」や「省資源・省エネルギー」などに軸足を置いて、活動の“はじめの一歩”を踏み出します。

①ストップ温暖化の活動

温暖化防止につながる「環境にやさしい生活」を実現するために、毎日の生活の中で取り組める環境保全の方法を「エコロジーライフの手引き（仮称）」としてまとめる。

②ごみの減量化の活動

省資源にも有効な「買い物袋持参運動」の普及・定着活動を展開する。また、市内のスーパー、コンビニを対象に「買い物袋スタンプカード（還元制度）」の採用状況を調べる。

③環境学習会を行う

水循環の問題をはじめ、地球環境保全につながるテーマを選んで、年2～3回程度、学習会を開催する。

部会活動報告（3月～6月）

《地球環境部会》

地球環境部会では、第4回目となるクリーンセンターの施設見学会、環境学習会を開催しました。

○クリーンセンター施設見学会 3月21日（月）（6名参加）

平成16年度最後となる「飯能市クリーンセンター施設見学会」を開催し、施設の稼働状況とごみや資源の流れを見学した後、ごみ問題について意見交換を行いました。昨年4月から12月までの実績速報によると、一昨年減少に向かった「1人当たりのごみ排出量」がまた増加に転じており「ごみの減量化」を強力に推進する必要を再確認しました。

- 環境学習会 4月16日(土)(場所：富士見公民館 12名参加)

テーマ：環境家計簿って何なの？

会員の三宮秀明さんを講師に、「環境家計簿づくり」について勉強しました。

温暖化ガスの現況と今後の見通しを確認し、企業や各自治体が進めている「環境家計簿」の事例とその効果について学習しました。地球温暖化防止に加えて各家庭の経済効果が同時に得られる有効な手段であり、今後の部会活動のテーマになるものでした。

- 懇談会 5月28日(土)(場所：富士見公民館 10名参加)

平成17年度の部会活動計画を立案しました。

2月下旬にまとめた活動計画の骨子を更に絞り込み、行動の第一歩となる平成17年度の「部会活動計画」を作成しました。

《自然環境部会》

自然環境部会では、自然観察会とともに、「エコツーリズム」と「桜の森」構想を主にした勉強会を月1回、計3回開催しました。

- 勉強会 3月26日(土)(場所：富士見公民館 24名参加)

講師に元埼玉県立自然史博物館学芸主幹の太田和夫さんをお迎えし、飯能市における「エコツーリズム」のあり方に参考となる講義をいただきました。また、「桜の森」構想にもふれ、参加者との活発な意見交換が行われ、有意義な勉強会となりました。

- 自然観察会「春のお山は花盛り」 4月10日(日)(場所：天覧山他 21名参加)

会員である天覧山・多峯主山の自然を守る会との共催により、天覧山から多峯主山を散策しました。コナラやシデ等の雑木の芽吹きが一斉に始まった中で、頭上ではヤマザクラが、足もとでは種々のスミレの花々が咲きほこり、私たちを楽しませてくれました。

- 勉強会 4月23日(土)(場所：富士見公民館 16名参加)

平成16年度の部会活動の反省と平成17年度に向けての事業計画について話し合いました。「桜の森」構想は、市民と行政との間にズレが生じ問題化してしまい、その様なことにならないようにと、市民・事業者・行政と一緒に考えていく場としての「はんのう市民環境会議」が設立されたが、まだ機能するに至らず、三者それぞれが認識を深め、目的が成熟するよう努力していくことが必要と確認されました。

- 勉強会 5月28日(土)(場所：富士見公民館 17名参加)

前回に引き続き、平成17年度事業計画を検討しました。具体的には、毎月1回の定例会議の開催や、各地域の問題を取り上げ自主的な働きかけを行う、全市域を含む自然観察会の実施、エコツーリズムの学習と提言、動植物の調査と保護のための意見・提案などの意見が出されました。

《生活環境部会》

- 懇談会 3月26日(土)(場所：林業センター 6名参加)

昨年11月のフィールドワーク「市街地の公園を歩いて巡ってみよう」で実際に公園を観察して感じたことや今後の取り組みについて思うことを、5W2Hを用いて話し合いました。

- 講演会 5月29日(日)(場所：中央公民館 16名参加)

講師に駿河台大学 山本耕一先生をお招きし、『生活環境問題の考え方』をテーマにご講演いただきました。内容は、「①環境とは何か、②主体と環境の関わり、③生産、④人が行う物質代謝の問題点、⑤生物としてのヒト(人間)の特徴、⑥地球環境問題の基本的構造、⑦環境問題に対処するための基本的姿勢、⑧生命体の多様性」について、倫理的な観点から分かりやすくお話をいただきました。

講演終了後、参加者の中から環境に対する疑問等、質問がだされ、それに対しても丁寧にお答えいただきました。生活環境の今後の活動の一助となる講演会になったと思います。

7 月、8 月の予定

部会の 7 月、8 月の予定をご案内します。皆さんの参加をお待ちしています。
各部会の活動日時、場所、内容をお間違えないようご注意ください。

《 7 月 》

22 日（金） 生活環境部会

時 間：午後 7～9 時（申込不要、直接会場へ）

場 所：飯能幼稚園（住所：山手町 9-14）

内 容：部会懇談会

23 日（土） 地球環境部会

時 間：午後 2～4 時（申込不要、直接会場へ）

場 所：富士見公民館 2 階第 2 学習室（住所：双柳 1-16 【市役所北側】）

内 容：部会懇談会

・今年度活動計画の具体的進め方について、一緒に考えましょう。

23 日（土） 自然環境部会

時 間：午後 3～5 時（要申込、7 月 21 日までに環境緑水課へ）

場 所：富士見公民館 2 階和室（住所：双柳 1-16 【市役所北側】）

内 容：第 3 回定例勉強会

申込み：希望者は、電話、ファクス等で市役所環境緑水課までお申込みください。

その他：参加者は、当日、富士見公民館にお集まりください。

《 8 月 》

7 日（日） 自然環境部会

時 間：午前 9 時 30 分～午後 2 時 30 分（雨天中止）（申込不要、直接集合場所へ）

集合場所：市民会館北側 中央公園トイレ付近

内 容：第 1 回自然観察会「名栗川の川散歩」（飯能河原から吾妻峡へ）

持ち物：弁当、水筒、筆記用具、川の中を歩ける服装で（ぬれてもいい運動靴）

参加費：保険料 1 人 100 円

共 催：天覧山・多峯主山の自然を守る会

20 日（土） 地球環境部会

時 間：午後 2～4 時（要申込、8 月 18 日までに環境緑水課へ）

場 所：富士見公民館 第 1 学習室（住所：双柳 1-16 【市役所北側】）

内 容：環境学習会（テーマ：水環境の環を広げよう 講師：鵜田副部会長）

申込み：希望者は、電話、ファクス等で市役所環境緑水課までお申込みください。

その他：参加者は、当日、富士見公民館にお集まりください。

27 日（土） 自然環境部会

時 間：午後 7～9 時（要申込、8 月 25 日までに環境緑水課へ）

場 所：富士見公民館 第 1 学習室（住所：双柳 1-16 【市役所北側】）

内 容：第 4 回定例勉強会

申込み：希望者は、電話、ファクス等で市役所環境緑水課までお申込みください。

その他：参加者は、当日、富士見公民館にお集まりください。

編集後記：友人の招待を受け、6 月 23 日から 3 泊 4 日で沖縄県名護市へ行ってきました。前沖縄県副知事、名護市長、プロゴルファー宮里藍ちゃん出身の東村村長の宮城茂さんを始め、150 人程参加の友人主催のパーティーに参加したのですが、当日 6 月 23 日は沖縄県では司令官が自決、組織的戦闘が終わった慰霊の日と定めています。小泉首相も糸満市の摩文仁の平和記念公園で行われた沖縄全戦戦没者追悼式に出席されました。戦後 60 年、世界では依然として戦争が続いていますが、沖縄に来て山の緑、川の流れ、海や空の青さを見ると、本当に戦争があったのか疑問に思う風情です。私の友人に、絶対沖縄には行かないと言う戦前派の人が居ります。また、パーティーの席でも、当時の悲劇はわからないよなあと言う人がいました。戦争を二度と起してはいけませんが、環境汚染により美しい地球を破壊しないよう一人ひとりが取組んでいかなければなりません。お蔭様で、平成 17 年度の総会も終わり、「さあ、一歩を踏み出そう」のタイトルで今年度の活動もよろしくお願い致します。（広報委員長：木川一男）

エコ・トピックス

クールビス、いわゆるノーネクタイ、ノー上着によって、冷房温度を上げ、二酸化炭素の排出抑制に貢献しましょうという運動が始まりました。上着とネクタイで、体感温度が 2℃も違うとのこと。地球のためにも、健康のためにも実践してはどうでしょうか。

はんのう市民環境会議事務局

飯能市市民生活部環境緑水課環境推進担当

住所 〒357-8501 飯能市大字双柳 1-1

電話 042 (973) 2111 (内線 175)

ファクス 042 (974) 6737

Eメール kankyo@city.hanno.saitama.jp

会報 エコネットはんのう

編集・発行／はんのう市民環境会議

第2回環境みるみるツアーを開催！

昨年に引き続き、はんのうの環境を見る、知る、感じることを目的とした「環境みるみるツアー」が10月23日に穏やかな秋晴れの中、開催されました。ツアーの参加者は63人、大型バス2台を使い、飯能市の新しい仲間「名栗地区」を巡りました。

名栗地区は、名栗湖（有間ダム）や有間溪谷、入間川の源流、ウノタワのブナ原生林など自然の宝庫であるとともに、自然との関わり合いの中で生まれ、育まれた文化など地域に根付いた魅力にあふれています。

ツアーは、実行委員の鵜田さん、浅野さんのガイドのもと、飯能市の水がめである有間ダム（堰堤内）や入間川の出発点となる起点、新田地区の市有林での森の番人による枝打ちや間伐作業などを見学しました。

今回のツアーでは、日常なかなか見ることができない森林の枝打ちや間伐作業を、森の番人からの説明を聞きながら間近で見学をしました。

森林には水の涵養や二酸化炭素の吸収など公益的な機能を持っています。しかし、手入れがなされると、この機能が十分に発揮できません。森の番人は、間伐等の造林事業のほか森林調査、林業後継者の育成等様々な活動をしています。今回の機械や実際に木に登って不要な枝を切り落とす枝打ち、木そのものを切り倒す間伐の実演を見た参加者からは大きな拍手が起きました。

また、山道を散策しながら、入間川の起点まで歩きました。山道の途中で湧きでる中尾の滝や蛇滝に、歓声を上げながら歩き、約40分かけてたどり着いた起点には碑が立っていました。湧き出た水が集まり沢となり、沢が集まり、この場所から入間川となります。起点付近にある湧き水で、のどの渇きを潤す人もいました。



新田市有林にて



入間川の起点で記念写真

近くだけど、なかなか見に行くことができない場所を見て回った今回のツアーでは、多くの人から、楽しかった、見学できてよかったなどの好評な感想をいただきました。今後も皆さんに喜んでもらえるイベントを催したいと思います。

名栗地区の魅力はまだまだあふれています。秋の紅葉のシーズン、この素晴らしい季節に、皆さん、是非、新しい仲間である名栗地区を訪れ、その魅力を肌で感じてはどうでしょうか。

活動を報告します（7～10月）

《自然環境部会》

自然環境部会では、定例勉強会（2回）、自然観察会（2回）を開催しました。また、市職員を招き、第4次飯能市総合振興計画の勉強会を開催することを提案しました。

○第3回勉強会 7月23日（土）（場所：富士見公民館 11名参加）

定例勉強会を開催し、部会発足2年目を迎え、部会活動について意見交換を行いました。「エコツーリズムと市民環境会議との関係はどうすればいいのか」、「行政、事業者と市民との意見交換がされていない。行政の話を聞く機会を持とう」、「自然観察会等は、各団体の事業でやっているの、市民環境会議で実施すると労力が重なり、息切れしてしまうだろう。」など、反省や今後への活動について多くの意見が出されました。

○自然観察会「名栗川川歩き」 8月7日（日）（場所：吾妻峡他 12名参加）

会員である天覧山・多峯主山の自然を守る会との共催により、入間川を本郷浄水場から吾妻峡まで、さかのぼりながらの観察と散策を行いました。昨年同様に、ギバチなど多くの水生生物や河岸の植物が確認できました。



上：今では見ることが珍しくなったと言われるギバチ

○第4回勉強会 9月24日（土）（場所：富士見公民館 8名参加）

桜の森構想や不法投棄の諸問題について、分科会方式ではなく、定例勉強会で時間を区切って参加者全員で協議していくこととしました。また、「イノシシの駆除と保護について、生存頭数の把握が必要」、「希少種の植物の保護対策について、情報収集して認識を広めていくことが必要」、「環境事業に対して、第三者による評価表を作り、実績を数値化することが必要」といった意見が出されました。

○自然観察会「秋の草木を観よう」 10月9日（日）（場所：天覧山他 7名参加）

会員である天覧山・多峯主山の自然を守る会との共催で行いました。当日は、朝から雨模様でしたが、7名が参加したので決行することとしました。普段は見る事が出来ない天覧山・多峯主山一帯の雨にけむる秋景色を堪能しました。

《生活環境部会》

生活環境部会では、懇談会を2回開催しました。

○懇談会 7月22日（金）（場所：飯能幼稚園 3名参加）

平成17年度の生活環境部会の活動内容について話し合いました。①現在の環境問題の認識のための冊子の作成案、②環境問題の現状がわかるためのものさし（環境指標等）の作成案について意見交換を行いました。

○懇談会 9月24日（土）（場所：飯能幼稚園 9名参加）

前回に引き続き、平成17年度の活動内容について話し合いました。①現在の環境問題の認識のための冊子案、②我がまち（地域）大好きコンテスト案について、意見交換を行いました。①の冊子は、環境問題の最新情報を常に共有することを目的にし、市民環境会議全体の会員や学校などに配付できればと考えています。印刷や製本（簡

単なもの)は、部会メンバーで行おうという意見が出されました。

②については、昨年の活動のキーポイント『公園』を題材に、公園の美化・活用法など地域に働きかけ、コンテストを行うというものです。コンテストの優劣は問題ではなく、地域の世代を超えた人々が『公園』というものを通して話し合いをして、実際に美化活動などを行うというプロセスを重視します。そして身近な環境問題の意識を共有することで、もっと大きな環境問題への意識付けにつながると考えます。

《地球環境部会》

地球環境部会では、環境学習会とともに、懇談会を3回開催しました。

○懇談会 7月23日(土)(場所:富士見公民館 9名参加)

定期総会で承認された今年度活動計画の具体的な進め方を話し合いました。今年度は「環境に優しい生活の事例集をつくる」、「買物袋持参運動の普及」、「環境学習会開催」の3つを活動の柱にしていますが、それぞれの活動を進める上での課題や推進体制などについて活発な意見交換ができました。今後テーマごとに懇談会を開催し、具体的に活動の進め方を固めていくことになりました。

○環境学習会 8月20日(土)(場所:富士見公民館 6名参加)

テーマ:水環境の環をつくろう

副部会長の鴛田節男さんを講師に、ライフラインの一つである「水」について、学習しました。水は場所やかたちを変えて人類に豊かな恵みを与えてくれる一方、甚大な被害をも与えるという二面性を持っており、上手な付き合い方が求められる貴重な地球資源の一つです。水循環により地球の環境が保たれ、全ての生命が育まれていることを再認識する学習会でした。

○懇談会 9月17日(土)(場所:富士見公民館 8名参加)

毎日の生活の中で環境に配慮した「エコライフの事例」を皆でリストアップしました。各自が日頃実践していること、あるいは実行したいと思っていることを発表し、それぞれ関連する項目ごとに整理し、「エコロジーライフ」行動事例をまとめました。さらにみんなで知恵を出し合い、はんのう市民環境会議版「エコライフのすすめ(仮称)」となるよう完成度を高めていきます。

○懇談会 10月15日(土)(場所:富士見公民館 8名参加)

「買物袋持参運動」の普及活動から派生し、市内主要店舗を対象に「エコ度調査」を進めることになり、対象とする店舗と調査内容について話し合いました。レジ袋を扱う百貨店・スーパー・コンビニ・ドラッグストアなどを対象に、アンケート方式で各店舗の「環境への取組状況」をお聞きすることになりました。引き続き、アンケートの内容や実施スケジュールなど具体的内容について協議していきます。

《総合振興計画・環境政策説明会》

8月27日(土)に、飯能市が現在策定している「第4次飯能市総合振興計画」(素案)のうち、環境政策について、市の職員を招き、お話を伺う環境政策説明会を富士見公民館で開催しました。本会議からは、26名の会員が参加し、市の職員から説明を受けた後、積極的な質疑応答や意見交換が行われました。

後日、本会議の栗原会長から沢辺静吉飯能市長に要望書を提出しました。

11月、12月の予定をご案内します

各部会の11月、12月の予定をご案内します。皆さんの参加をお待ちしています。
各部会の活動日時、場所、内容をお間違えないようご注意ください。

《 11月 》

12日（土） 地球環境部会開催

時 間：午後2時～4時（申込不要、直接会場へ）

場 所：富士見公民館 2階 第3学習室（双柳1-16【市役所北側】）

内 容：懇談会

別添「エコロジライフ」のような行動事例をリストアップします。皆さんが
日頃から実行している事例をたくさんお寄せください。

26日（土） 生活環境部会開催

時 間：午後2時～4時（申込不要、直接会場へ）

場 所：飯能幼稚園（住所：山手町9-14）

内 容：懇談会

26日（土） 自然環境部会開催

時 間：午後7時～9時（要申込、11月24日までに環境緑水課へ）

場 所：富士見公民館 2階和室（住所：双柳1-16【市役所北側】）

内 容：第5回勉強会

・部会事業計画の見直しについて

・桜の森構想、エコツーリズムについて

申込み：希望者は、電話、ファクス等で市役所環境緑水課までお申込みください。

（配布資料部数確認のため、ご協力をお願いします。）

《 12月 》

17日（土） 地球環境部会開催

時 間：午後2時～4時（申込不要、直接会場へ）

場 所：富士見公民館 1階 第1学習室（双柳1-16【市役所北側】）

内 容：懇談会

市内主要店舗の「環境への取組状況」を調査するにあたって、その内容や方法、
実施スケジュールなどについて、話し合います。

※12月は、自然環境部会の定例勉強会はありません。また、生活環境部会は未定ですので、ご
注意ください。

お知らせ 宮沢湖で浮島を作りませんか ～ 湖の浄化と生態系づくり ～

NPO法人 とよあしはら では、宮沢湖で間伐材や竹で組んだいかに、水の汚れを吸収する水生植物を植えた
浮島作りを行ないます。ビオトープ的な役割も担うため、関東近県の湖でこの取り組みが行なわれ、全国紙にも取
り上げられました。浮島作りに参加してみませんか。環境学習の一環として、特に小・中学生の皆さんの参加を歓
迎しています。参加費は無料です！

日 時：11月20日（日）午前10時から12時半【雨天の場合：11月23日（水）】

場 所：宮沢湖（入り口駐車場付近集合） ※駐車料は無料ですが、台数縮減にご協力ください。

参加者：NPO法人とよあしはら、埼玉県みどり自然課、西川木楽会、一般参加者

持ち物：タオル、軍手 ※作業内容は、いかに炭の敷き詰めや植物の植付け等を行ないます。

申込み：11月17日（木）までに環境緑水課へ電話、ファクス等をお願いします。

編集後記：今年1月の名栗村との合併により、飯能市の75%が林野面積です。飯
能市独自の制度の「森の番人」5人が、現在市有林を守っているわけですが、何と
しても少なすぎる思いがします。私見としては、環境税導入が必要と思いますが、
内閣府の調査では32%が導入に反対とのことです。消費税のアップ、定率減税の
廃止とかいろいろ報道されていますが、税に対する負担増が抵抗感となっている
ようです。40年も育った杉・桧もタダ同然という現実を見ると、昔のように山か
らの現金収入がなくなっている今、公的資金（環境税）の導入が地方には必要と
思いますが…。理解を得られるにはもう少し時間が必要のようです。あと2か月
で今年も終わります。本会のタイトルーできることから始めようー私たちにで
きることは、私たちから始めましょう。（広報委員長：木川一男）

はんのう市民環境会議事務局
飯能市市民生活部環境緑水課環境推進担当
住所 〒357-8501 飯能市双柳1-1
電話 042(973)2111（内線175）
ファクス 042(974)6737
Eメール kankyo@city.hanno.saitama.jp

会報 エコネットはんのう

編集・発行／はんのう市民環境会議

専門部会活動を報告します（11～2月）

《自然環境部会》

自然環境部会では、2月12日に天覧山・多峯主山の自然を守る会と合同で、自然観察会「冬山のバードウォッチング」を開催しました。41名の皆さんが参加し、天覧山周辺の野鳥観察を行いました。

冬枯れた木立の中、シメ、モズ、カシラダカなどの冬鳥が見られました。今回の野鳥観察では、残念ながら数種類の野鳥しか、確認することができませんでした。

日本に渡ってくる野鳥にとって、世界各地の自然環境の異変が影響しているのではと心配です。



冬鳥のシメ

また、月1回の定例会を11月26日、1月28日、2月25日の計3回、富士見公民館を会場として懇談会を開催し、延べ37名が参加しました。

これまで、エコツーリズムや桜の森計画を中心に話し合いを行ってきましたが、参加者からの問題提起や市の主催行事への参加協力事業の検討など議題が増えてきたこともあり、時間を区切り、いろいろな議題について議論しています。

定例会の議題内容は次のとおりです。

- 11月26日（土） 第5回定例会 富士見公民館 参加者11名
 - ・ イノシシの駆除と保護について
 - ・ 希少種コクランの盗掘と保護について
 - ・ 桜の森計画のその後について
 - ・ エコツーリズムと市民環境会議の関わりについて ほか
- 1月28日（土） 第6回定例会 富士見公民館 参加者16名
 - ・ 飯能新緑ツーデーマーチについて
 - ・ ハンノウザサの管理保護について
 - ・ 桜の森計画について
 - ・ 6月の環境月間について
 - ・ エコツアーについて ほか
- 2月25日（土） 第7回定例会 富士見公民館 参加者10名
 - ・ 飯能新緑ツーデーマーチ（自然環境マップづくり）について
 - ・ 桜の森計画について
 - ・ 6月の環境月間について
 - ・ エコツアーについて
 - ・ 雛飾り展（絹甚の活用）について ほか

《生活環境部会》

生活環境部会では、11月と2月に懇談会を予定していましたが、11月は参加者が少なく中止となりました。

○懇談会 2月25日(土) 場所：飯能幼稚園 5名参加

内容：1. 小冊子「環境の大きな6つの問題点」の内容確認
2. 今後の「生活環境部会」の方向性について

今後、生活環境部会では、生活に関わる身近で様々な問題について、会員相互に意見交換を行い、環境の情報や個人個人の環境に対する思いを、フリートーク形式で行っていききたいと思います。これは、様々な人の環境に対する考えなどを意見交換することにより、生活に関する環境問題を共通認識でき、また、対策・対応の実践例を聞くことにより、自分自身の意識改革の手助けとなる会議にしていきたいです。

誹謗中傷、個人攻撃禁止をルールとし、誰でも気軽に発言できる懇談会としていきたいと思っています。お気軽にご参加ください。

《地球環境部会》

地球環境部会では、懇談会を月1回のペースで開催しました。

○懇談会 11月12日(土) 場所：富士見公民館 5名参加

毎日の生活の中で実行する「エコライフの事例」について、みんなで話し合いました。はんのう市民環境会議版「エコライフのすすめ(仮称)」を目標に、さらに完成度を高めていきます。

○懇談会 12月17日(土) 場所：富士見公民館 6名参加

市内主要店舗を対象に行う「環境度調査」の内容と店舗リストについて話し合いました。レジ袋の有料化がマスコミなどで取り上げられていることもあり、レジ袋を扱う百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストアなど約80店舗を対象に、「環境に対する取り組み状況」についてアンケート調査を行うことになりました。

○懇談会 1月21日(土) 場所：富士見公民館 8名参加

12月4日に実施した「エコライフ DAY2005」の結果について話し合いました。継続して更に活動範囲を広げていくために、今後の進め方について多くの意見が出されました。これからみんなで知恵を出し合い「環境家計簿」づくりに発展させたいと思います。

○懇談会 2月18日(土) 場所：富士見公民館 8名参加

市内主要店舗を対象とした「環境に対する取り組み状況調査」の内容やスケジュール等について、最終的な確認を行いました。3月初旬に会員がそれぞれ分担して「はんのう市民環境会議」のPRを兼ねて訪問し、アンケート調査への協力依頼をすることにしました。



《全体事業》

はんのう市民環境会議の主催事業のほか、他団体への後援や協力した事業の報告です。これまで、あまり他団体との交流事業はありませんでしたが、今後は本会のPRを含め、事業展開していきたいと思います。

○宮沢湖で浮島づくり 11月20日（日） 主催：NPO 法人とよあしはら

間伐材や竹で組んだいかだに、水の汚れを吸収するアシやハナショウブ（在来種）を植えた浮島づくりを行いました。他のイベントと重なってしまったこともあり20名ほどの参加者でしたが、予定どおり2つの浮島を作成し、宮沢湖西岸に設置しました。材料となる間伐材や炭は、市内から調達したものを使用しています。

浮島の説明看板も3月中に設置される予定です。宮沢湖へお出かけの際は、ぜひご覧ください。



○エコライフ DAY2005 12月4日（日） 共催：埼玉県地球温暖化防止活動センター

みんなで1日エコライフをして、温暖化の主な原因である二酸化炭素の削減に取り組む事業で、本会で初めて全会員の方に“実際に行動する事業”として実施しました。

約1800人もの方にご協力いただきましたが、個人会員からの回答率は25%と思ったよりも低いものでした。「こんな事とくにやっとなるわいっ」という人が多かったからかもしれません。実際、回答いただいた個人会員の平均CO2削減量は一番で、余白にご意見等を記入された方も多く、意識の高さが伺えました。

ご意見で、もったいないと思うことは、電気のムダ使いや紙の多量消費、食品の廃棄、過剰包装について多く意見をいただきました。時節柄、クリスマスイルミネーションの電飾、飲食店・百貨店等の過剰暖房を上げる人が多くいました。

また、「いつも気をつけているつもりだったが、実際チェックしてみたら無駄なことをしていた事に気づいた」、「家族と一緒にやってみました」といったご意見もいただきました。今後も、エコライフを心がけていきましょう！

○「地球交響曲（ガイアシンフォニー）第五番」上映会

2月12日（日） 主催：ガイアシンフォニー上映実行委員会

市民会館小ホールにおいて、上映会が開催されました。本会は後援として参加し、小ホールロビーにPR用の展示を行いました。

当日は、肌寒い陽気にもかかわらず多くの方が来場し、チケットが完売となるほど盛況となり、入場をお断りするほどでした。

哲学的な内容で、少し難しい面もありましたが、人間は自然の中の一部であり、自然に生かされていることを改めて認識させられる、内容の濃い映画でした。



★お知らせ★ 4月より事務局（環境緑水課）は市役所2階へ移転し、内線番号等が変更となります。4月以降のお問い合わせの際は、「はんのう市民環境会議の担当へ」とお申し付けください。

3月、4月の予定をご案内します

各部会の3月、4月の予定をご案内します。皆さんの参加をお待ちしています。

《 3 月 》

18日(土) 地球環境部会開催

時 間：午後2時～午後4時（申込み不要、直接会場へ）

場 所：富士見公民館 1階 第1学習室

内 容：部会懇談会 来年度の部会活動計画について。更に活発な活動を進めるため、皆さんが日頃から考えておられる活動案を話し合います。

25日(土) 生活環境部会開催

時 間：午後2時～午後4時（申込み不要、直接会場へ）

場 所：飯能幼稚園（住所：山手町9-14、電話：973-1332）

内 容：環境井戸端会議 生活環境をはじめ、様々な環境について会員相互の意見交換を行い、環境の情報や環境に対する思いを話し合います。

25日(土) 自然環境部会開催

時 間：午後7時～9時（要申込、3月23日までに市役所環境緑水課へ）

場 所：富士見公民館 2階和室

内 容：第8回定例会（エコツーリズム、桜の森についてのほか、自然環境に関するいろいろなことについて、時間を区切って話し合います。）

申込み：希望者は、電話、ファクス等で市役所環境緑水課までお申込みください。

《 4 月 》

9日(日) 自然環境部会開催

時 間：午前9時30分～午後2時30分（雨天中止）（申込不要、直接集合場所へ）

集合場所：市民会館北側 中央公園トイレ付近

内 容：自然観察会「さくら、さくら、山桜の巻」

天覧山一帯にはたくさんの山桜があります。芽吹きの森の中、お花見をしながら散策します。

持ち物：弁当、水筒、筆記用具、歩きやすい服装で

参加費：保険料1人100円

共 催：天覧山・多峯主山の自然を守る会

15日(土) 地球環境部会開催

時 間：午後2時～午後4時（申込み不要、直接会場へ）

場 所：富士見公民館 1階 第1学習室

内 容：部会懇談会 3月に実施した市内主要店舗を対象とした「環境に対する取り組みアンケート」の結果を全員で目通して、現状の認識と今後の取り組みなどについて話し合います。

22日(土) 生活環境部会開催

時 間：午後2時～午後4時（申込み不要、直接会場へ）

場 所：飯能幼稚園（住所：山手町9-14、電話：973-1332）

内 容：環境井戸端会議 生活環境をはじめ、様々な環境について会員相互の意見交換を行い、環境の情報や環境に対する思いを話し合います。

22日(土) 自然環境部会開催

時 間：午後7時～9時（要申込、4月20日までに市役所環境緑水課へ）

場 所：富士見公民館 2階 第2学習室

内 容：第9回定例会（エコツーリズム、桜の森等についてのほか、自然環境に関するいろいろなことについて、時間を区切って話し合います。）

申込み：希望者は、電話（内線変更注意）、ファクス等で市役所環境緑水課まで。

はんのう市民環境会議

事務局 飯能市市民生活部環境緑水課環境推進担当 住所 〒357-8501 飯能市大字双柳1-1

電話 042(973)2111(内線175) ファクス 042(974)6737 Eメール kankyo@city.hanno.saitama.jp

※4月より事務局（環境緑水課）は2階へ移転するため、内線番号、ファクス番号が変更となります。

会報 エコネットはんのう

編集・発行／はんのう市民環境会議

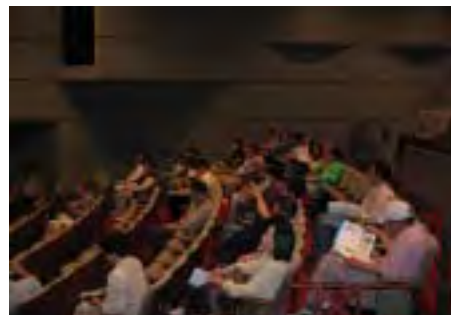
平成18年度定期総会開催

平成18年度定期総会が、6月3日（土）市民会館小ホールにおいて、57名の会員出席の中、開催されました。会長挨拶に続き、来賓にお迎えした沢辺飯能市長、梶田市議会議長のご祝辞の後、議事に移りました。

議事は、平成17年度の事業報告、収支決算の承認に続き、市の機構改革に伴う事務局名の変更による会則の一部改正案及び任期満了による役員の改選案が承認されました。これにより、木川新会長、伊藤新副会長が就任し、新委員が選出されました。また、事業計画案、収支予算案を審議し、全ての議案について原案どおり承認されました。

平成18年度における活動テーマは、「活動の環を広げよう」です。他団体との情報交換や交流を進め、より多くの方と活動を共にし、環境をよくしていく為の活動を広げていきます。

会場の小ホールロビーに展示コーナーを設け、各部会に関係する旬な情報を提供しました。今後も、いろいろな方法で、いろいろな情報を提供できるようにしていきたいと思います。



○新役員の選出

- ・運営委員 17名
 - 会長 木川一男（市民）
 - 副会長 伊藤知夫（市民）
 - 副会長 岡部重信（団体・飯能市自治会連合会）
 - 委員 高沖義則（市民） 服部融亮（市民） 田中聡憲（市民）
 - 南林さえ子（駿河台大学） 沼崎修一（飯能商工会議所）
 - 細田浩司（飯能青年会議所） 山崎英夫（飯能市商店街連盟）
 - 須田晴彦（西川広域森林組合） 古谷忠洋（飯能市農業青年会議所）
 - 浅野正敏（天覧山・多峯主山の自然を守る会）
 - 鵜田節男（飯能市合併処理浄化槽組合） 齋藤 実（㈲飯能清掃センター）
 - 内海和夫（新電元工業㈱） 町田 晋（㈱丸広百貨店飯能店）
- ・監査 2名
 - 早瀬あかね（市民）
 - 間辺元幸（市民）

○事業計画・予算の概要

（1）事業計画

本会と同様の活動を行っている団体との連携を図るため、「活動の環を広げよう」をテーマに活動を進めます。

各専門部会が開催する勉強会、観察会等への参加は自由です。興味や関心のあるものに随時ご参加ください。いろんな方といろんな交流を図りましょう。

(2) 収支予算

今年度の収支予算を134万円とし、全体及び部会の活動や会報の発行、イベント等を開催します。

活 動 報 告 (3月～6月)

《地球環境部会》

3月上旬、市内でレジ袋を配布する量販店70店舗を対象に、各店舗の「環境に対する取り組み」状況について、アンケート調査を行いました。初めてのフィールドワークでしたが、各店舗を訪問して「はんのう市民環境会議」の紹介PRとアンケート調査に対する協力をお願いをしました。4月中旬までに、約半数の32店舗から回答が集まりました。この結果は、今年度の活動の中で全体をまとめて公表し、次の活動に結び付けてゆく予定です。この他に月例の部会懇談会を以下の通り開催しました。

- ・3月18日(土) 部会懇談会開催(場所：富士見公民館)(7名参加)

平成18年度の「部会活動計画」について、みんなで話し合いました。平成17年度の活動結果を総まとめして、次年度に引継ぐ内容と新たな課題を整理し、活動原案を作成しました。次回、更に内容を精査して活動計画に仕上げることにしました。

- ・4月15日(土) 部会懇談会開催(場所：富士見公民館)(8名参加)

市内各店舗から回収した「環境に対する取り組み状況」のアンケート結果を、全員で目通して現状を把握すると同時に、今後の取り組み方などについて話し合いました。アンケートのまとめ方やアンケート結果の周知方法、各店舗との協働体制などについて、種々の意見が出され、18年度の活動テーマに継続することになりました。

- ・5月13日(土) 部会懇談会開催(場所：中央公民館)(6名参加)

3月に作成した平成18年度の「部会活動計画」について、みんなで話し合いました。活動のテーマやその内容については、ほぼ原案通り「定期総会」に提案することにしました。この中で、活動を更に活性化するためには、会員の拡大と部会参加者の増大が不可欠であり、これの対策を3部会共通の課題として、早急に取り組む必要性を全員で再確認しました。

《自然環境部会》

自然環境部会では、自然観察会とともに、定例勉強会を開催しました。

- 定例会 3月25日(土)(場所：富士見公民館 13名参加)

- ・環境マップづくりについて
- ・平成18年度事業計画について(飯能の自然遺産計画、シンボルマークやキャラクター創設案ほか)
- ・最近の問題、情報提供(不審者、不法投棄) ・桜の森計画のその後について

- 自然観察会「さくら、さくら、山桜の巻」 4月9日(日)(場所：天覧山他 18名参加)
会員である天覧山・多峯主山の自然を守る会との共催により、山桜が満開の天覧山から多峯主山を散策し、里山の春を満喫しました。

- 勉強会 4月22日(土)(場所：富士見公民館 9名参加)

- ・平成18年度事業計画について(3部会合同会議の提案、名栗地区での観察会ほか)

- ・天覧山周辺の環境について（看板設置、横断歩道復帰等）
- ・エコツアーについて
- ・情報伝達の方法について
- ・里山の保全について
- ・桜の森計画について

○自然観察会「新緑の多峯主山を歩く」の巻

5月14日（日）（場所：多峯主山周辺 12名参加）

森林インストラクターの案内で、植物を中心とした説明を聞きながら、新緑の天覧山から多峯主山を散策しました。

○勉強会 5月27日（土）（場所：富士見公民館 10名参加）

- ・総会準備について
- ・環境講座案について「武蔵野の自然と人の関わり」というテーマの提案
- ・マップづくりの具体的な検討
- ・桜の森のその後について
- ・森林文化都市宣言における19年度の事業提案について

《生活環境部会》

○環境井戸端会議 3月25日（土）、4月22日（土） 場所：飯能幼稚園

生活環境をはじめ様々な環境について会員相互の意見交換を行い、環境情報の意見交換などを行いました。残念ながら両日とも参加者が少なかったため、今後の生活環境部会について意見交換を行いました。

- 一、「生活環境」は「地球環境」「自然環境」と内容は同じであるので、単体としての活動が明確ではない。
- 一、初期に出席された会員も、「生活環境部会」での活動の目的の違いから参加いただけず、最近では出席者が少なく会議としてなりたない。
- 一、「生活環境」と一言で表すが、内容的には多岐に渡り活動を絞り込むのは難しい。
- 一、運営として「はんのう市民環境会議」の全体会を開催後、分科会として各部会に分かれての活動がよいと思う。

《部会合同会議》

◎3部会合同会議 6月24日（土） 富士見公民館 15名参加

自然環境部会で開催している「定例会議」を3部会合同で開催しました。各部会が今年度計画している事業に対し、様々な角度からの意見が出され、より深い議論ができました。今後も、部会合同で会議を開催していきたいと思います。

○映像を使っの最新エコツアー報告 講師：市エコツーリズム推進室職員

<生活環境部会>

- ・ドイツのごみ資源活用の取り組みについて
- ・石けんづくりについて

<地球環境部会>

- ・エコライフデー、レジ袋、こどもエコクラブなど

<自然環境部会>

- ・森林文化都市宣言と山間地域振興計画について
- ・花のまちづくり事業について

この会議が桜の森について唯一の議論の場であったので、今後は行政の担当者に出席を求め、話し合いの場としていくべきとの意見が出されました。また、会議をより活性化するため、会員の増強を図るべきとの意見も出されました。



《全体事業》

◎飯能新緑ソーデーマーチ 5月20日、21日

主催：飯能市ほか

第4回の開催となったソーデーマーチへ本会も協力いたしました。4つのウォーキングイベントの中のクリーンウォークのブースをまかせ、中学生ボランティアと一緒にウォーカーへゴミ袋などの配布を行いました。

また、会場の清掃作業やウォーカーが収集したごみの分別作業などを行いました。



◎環境映画会「デイ・アフター・トゥモロー」上映 6月3日（土）市民会館小ホール
主催：はんのう市民環境会議、飯能市

6月の環境月間に合わせ、環境への意識を高めてもらうため、市との共催により環境映画会を開催しました。地球温暖化がもたらす異常気象により、世界が崩壊していく映画に、身近に起こりうる大型台風の上陸や集中豪雨などを重ね合わせて、鑑賞された方が多かったようでした。

会場ロビーには、本会の活動PRのため全体及び部会の活動報告のほかに、今話題の「風呂敷」なども展示しました。



約 250 人の方が鑑賞されました



風呂敷の展示
いろいろな
縛り方を紹介
用途に応じ

編集後記：7月に入れば梅雨明けは間近で、暑い夏はもうすぐです。昨年の流行語大賞になった「クールビズ」は、今年の夏も健在で国を挙げて“夏の軽装”や“冷房温度28度以上”などを提唱し、地球温暖化防止を呼びかけています。この中で、昔ながらのスタレの活用や打ち水が見直されていますが、我が家では昨年から“緑の日よけ作戦”を実施しています。窓の外側に二階まで届く支柱を立て、そこにネットを張ってゴーヤと胡瓜をからませます。どちらも成長が速く、1ヶ月もすれば緑の葉が窓全面を覆ってくれます。スタレよりも断熱効果が高く、見た目も涼しげです。それに何よりも嬉しいのは、自家栽培の新鮮野菜が手に入ることです。市販品に比べれば形や大きさは不揃いですが、有機・無農薬栽培で、味では負けません。今年の夏も「ゴーヤチャンプルー」で、暑さを乗り切りたいと思っています。会員の皆様も、暑さに負けずご自愛のほどお祈りいたします。

（広報委員長：伊藤知夫）

◎不法投棄防止活動 6月中

ステッカーを作製し、事業所や自治会の方にご協力いただき、車両に貼付、啓発活動を行いました。



はんのう市民環境会議事務局
飯能市環境部環境緑水課環境推進担当
住所 〒357-8501 飯能市大字双柳1-1
電話 042(973)2111（内線232）
ファクス 042(974)6770
Eメール kankyo@city.hanno.saitama.jp

7 月、8 月の活動予定



部会の 7 月、8 月の予定をご案内します。皆さんの参加をお待ちしています。

申込みが必要な会議などは、資料作成の都合等がありますので、ご面倒ですが事務局までご連絡をお願いいたします。

《 7 月 》

22 日（土） 自然環境部会・地球環境部会合同会議

時 間：午後 7～9 時（要申込み、7 月 20 日までに環境緑水課へ）

場 所：富士見公民館 2 階和室（住所：双柳 1-16【市役所北側】）

内 容：定例勉強会 ①山間地域振興計画、花のまちづくり事業について市の職員を招いての勉強会 ②今後の部会運営について

申込み：希望者は、電話、ファクス等で市役所環境緑水課までお申込みください。

その他：参加者は、当日、富士見公民館にお集まりください。

地球環境部会長は今年度より鵜田節男氏となりました。

《 8 月 》

6 日（日） 自然環境部会

時 間：午前 9 時 30 分～午後 2 時 00 分（雨天中止）（申込不要、直接集合場所へ）

集合場所：市民会館北側 中央公園トイレ付近

内 容：自然観察会「水と遊ぼう」の巻 自然観察指導員の案内により、川にすむ生物や川岸の植物の観察をしながら、名栗川の清流をゆっくり歩きます。

持ち物：弁当、水筒、筆記用具、川の中を歩ける服装で（ぬれてもいい運動靴）

参加費：保険料等 1 人 300 円

共 催：天覧山・多峯主山の自然を守る会

26 日（土） 自然環境部会・地球環境部会合同会議

時 間：午後 7～9 時（要申込、8 月 24 日までに環境緑水課へ）

場 所：富士見公民館 2 階 第 2 学習室（市役所北側）

内 容：定例勉強会 18、19 年度の計画づくり、協力者と役割について

申込み：希望者は、電話、ファクス等で市役所環境緑水課までお申込みください。

その他：参加者は、当日、富士見公民館にお集まりください。

エコ・トピックス

今年も“クールビス”の呼びかけにより、冷房温度を上げ、二酸化炭素の排出抑制に貢献しようという活動が行われています。

環境省が昨年調査したところ、この活動をきっかけに冷房温度の設定を上げたと回答した人が、全体の 3 割以上もあり、46 万トンの二酸化炭素削減につながりました。この数字は、100 万世帯の一ヵ月分の二酸化炭素排出量に匹敵します。

また、報道によりご承知の方も多いと思いますが、今年は“風呂敷”が注目されています。日本でごみになるレジ袋は 1 年で約 60 万トンといわれ、レジ袋を含めた包装材や容器は、家庭ごみの 6 割以上を占めています。

風呂敷を見直し活用することで、国民の意識を高め、過剰包装を少なくすることを目的としています。小池環境大臣デザインの「もったいないふろしき」をはじめ、賛同された著名人がデザインした風呂敷が販売され、活用が広がっています。

どちらも一人ひとりの行動は小さなものですが、みんなで一丸となって取り組めば、大きな成果となります。他の事もできることから始めましょう。

環境月間事業協力団体一覧

「不法投棄は許しません！」ステッカー貼付協力団体

	事業所・団体名	所在地	枚数
1	飯能整形外科病院	東 町	6
2	新電元工業(株) (黒米工業)	南 町	6
3	(株)丸広百貨店飯能店	柳 町	5
4	(株)間辺測量	栄 町	4
5	(株)小谷野水道設備	芦荻場	4
6	西武ガス(株)	双 柳	4
7	(株)文化新聞社	柳 町	6
8	国際興業(株)	柳 町	2 0
9	西武バス(株)	美杉台	2 2
10	(株)町田木材	下名栗	4
11	(有)飯能清掃センター	南 町	1 6
12	ときたサービス(有)	上 畑	6
13	久須美自治会	久須美	4
14	小瀬戸自治会	小瀬戸	2
15	川寺東自治会	川 寺	1
16	飯能市役所 (公民館ほか)	双 柳	9 0
協力団体数 1 6 団体 配布枚数 2 0 0 枚			

環境月間清掃活動協力団体

	事業所・団体名	所在地	実施日等
1	新電元工業(株)	南 町	6 / 2 1
2	(株)丸広百貨店飯能店	柳 町	6 / 5
3	(有)飯能清掃センター	南 町	6 / 7 大河原～下畑
4	西松建設(株)	東京都港区	6 / 1 6 柳町工事現場
5	駿河台大学	阿 須	6 / 1 5 要害沢川
6	(株)ニッソー冷熱製作所	双 柳	6 / 1 1 参加申込み
7	小岩井自治会	小岩井	〃
8	小瀬戸自治会	小瀬戸	〃
9	久須美自治会	久須美	〃
協力団体数 9 団体			

会報 エコネットはんのう

編集・発行／はんのう市民環境会議

第3回環境みるみるツアーを開催！

はんのうの環境を見る、知る、感じることを目的とした第3回目の「環境みるみるツアー」が10月22日に開催されました。ツアーの参加者は34人、マイクロバス2台を使い、ユガテ、高山不動、高麗川源流の碑など「東吾野・吾野地区」を巡りました。

ツアーは、実行委員の鵜田さんのガイドのもと、東吾野にある福德寺、東吾野まちづくり推進委員会がきれいにしたホタルの生息地、隠れ里ユガテ、長い歴史をもつ高山不動、吾野地区まちづくり推進委員会が中心となり建立した高麗川源流の碑、宿場として栄えた当時の面影が残る坂石町分の町並みなどを見学しました。

今回のツアーでは、福德寺でバスを降り、ハイキング道を散策しながらユガテまでたどり着きました。参加者は小学1年生から70代の幅広い年齢層でしたが、汗をかきながら全員が完歩しました。

高山不動では参拝をしたあと、住職から高山不動の経緯や阿弥陀如来坐像などについて貴重なお話を聞くことができました。また、推定樹齢800年の大銀杏も見学しました。時期が少し早かったため、まだ色づいていなかったのが残念でした。

高山不動からは奥武蔵グリーンラインを通り、林道刈場坂線途中にある「高麗川源流の碑」を見学しました。平成15年度に吾野地区まちづくり推進委員会が建立したもので、はじめて訪れる人も多かったようです。周辺が間伐され、きれいな源流に感動する人や源流の冷たさを感じる人、また、のどの渇きを潤す人もいました。

普段、あまり訪れることのない場所を見て回った今回のツアーでは、多くの人から、楽しかった、見学できてよかったなどの感想をいただきました。特に、高山不動での住職のお話は大変好評でした。今後も皆さんに喜んでもらえるイベントを催したいと思います。

秋の紅葉のシーズン、特に東吾野・吾野地区の紅葉はこれからです。この季節に東吾野・吾野地区を訪れ、その魅力を肌で感じてはどうでしょうか。



高麗川源流の碑で記念撮影



関東三大不動・高山不動を参拝



ハイキング道での散策の様子

会の活動報告(7月~10月)

自然環境部会・地球環境部会・生活環境部会では、定例勉強会を合同で月1回開催しました。

○定例勉強会 7月22日(土)(場所:富士見公民館 21名参加)

政策企画課、商工観光課、環境緑水課の職員を招き、山間地域振興計画における「花による地域づくり促進事業」についての説明を受け、質問・意見提言を行いました。

山間地域振興計画は、平成18年度から22年度までの5年間における山間地区(吾野、東吾野、原市場、南高麗、名栗)の計画で、地域の振興及び経済効果を見据え実施するもので、市が補助金を交付し、各地区で事業計画を作成し、特色ある事業を実施していくものです。

会議で出された主な質問、意見としては、地域に従来からある木や花を植栽した方がよい、環境面に配慮できるよう専門家による相談、指導できる組織作りをし、各地区の申請に対し適切な助言ができるようにすべきなどの意見が出されました。

各部会については、自然環境部会からは、環境マップづくりの状況報告、ハクビシンの被害について報告がなされました。

地球環境部会からは、今後の活動について鶴田部会長より説明がなされました。

地球環境部会の3年計画の活動方針として、①地球に直接的な行動をする ②地域の特徴を活かせるもの(森林文化都市宣言に同調) ③わかりやすく、すぐ行動できる活動としました。現在、飯能の山林に自生している広葉樹の種子を採取し、苗木まで育て針葉樹の伐採後や必要とされる山林へ戻して、豊かな森づくり活動を推進していきます。

苗木づくりには、果実採取・種まき・育苗・苗木配布・植付け等の作業が必要ですので、プロジェクトチームをつくり会員や市民と共に実施していく予定です。

○定例勉強会 8月26日(土)(場所:富士見公民館 19名参加)

<自然環境部会>

- ① 天覧山周辺の里山の保全について ② 名栗最高標高の峠の名称について
- ③ 環境マップづくりについて ④ 桜の森構想について

<地球環境部会>

・「苗づくり3年計画」について、資料をもとに内容及び今後の活動計画について説明。

○自然環境部会・地球環境部会合同「自然観察会」

9月17日(日)(場所:能仁寺、天覧山散策路他 15名参加)

地球環境部会「苗づくりプロジェクト」として、はじめての野外活動を自然環境部会の企画による自然観察会「秋の草花をみよう」と合同実施で行いました。

森林インストラクター 古橋氏の案内で、植物を中心に説明を聞きながら初秋の天覧山周辺、ホタルの里を散策しました。秋らしい草花は、ススキ、ハギ、クズ、ワレモコウ、アキノノゲシ、ミズヒキ、キンミズヒキ等を見ることができました。

苗づくりの対象となる種は、コナラ、クヌギ、ヤマグリ、イロハモミジ、スダジイ、アカシデなどですが、果実がついていないもの、果実はついているが完熟前で採集時期がまだなものが多く見られました。唯一採集できたのは、エゴノキの種子で100粒ぐらいでした。

種子が少ないことは耳にしていましたが、実際、名栗の山でもアケビ、サルナシ、マタタビ、ガマズミ、ヤマボウシの実はほとんどありませんでした。このような状況は、他でも起きているのか、最近のニュースで野生動物が人里に現れ作物を荒らしたり、時には人への危害も加えていることが報道されています。今回観察した付近の沢や道端にイノシシが掘り起こしたと思われる大きな痕跡がいくつもみられました。

○定例勉強会 9月23日(土)(場所:富士見公民館 13名参加)

＜自然環境部会＞

- ① 環境講座「名栗の山名と地名考」講演会の企画提案について
- ② 11月12日開催予定の自然観察会について
- ③ 共催事業の事業費分担について
- ④ 環境マップづくりについて
- ⑤ 天覧山周辺の里山の保全について
- ⑥ 桜の森構想のその後について
- ⑦ 印刷機預り場所の依頼について

＜地球環境部会＞

- ・9月17日に実施した事業について、実施後の意見交換を行いました。

○地球環境部会 9月30日(土)(場所:名栗げんきプラザ近くの市有林)

聖望学園が環境教育の一環として、飯能市より借りて管理している名栗の市有林(以前山火事になり草、雑木が繁茂)を、生徒や先生が植林するため作業している下草刈の見学やヤマグリの実を採取しました。ヤマグリの実は300個ほど集まり、発泡スチロールの箱に発芽待機中にしてあります。

○定例勉強会 10月28日(土)(場所:富士見公民館 14名参加)

＜自然環境部会＞

- ① 11月12日予定の名栗での自然観察会の実施について
- ② 環境講座「名栗の山名と地名考」講演会の開催について
- ③ 天覧山入りホテルの里保全計画について
- ④ 桜の森構想について
- ⑤ 山間地域振興計画「花による地域づくり促進事業」のその後について
- ⑥ 早稲田大学「一学一山運動」、駿河台大学「森林環境プロジェクト」について

＜地球環境部会＞

- ・これまで実施した活動報告及び11月22日に行う植林体験の参加についてお願いしました。

＜生活環境部会＞

- ・新しく生活環境部会長として、田中聡憲氏が就任し活動していくことになり、今後の活動方針について報告がなされました。ごみ減量の問題を中心に、清掃活動など子どもを巻き込んだ活動を実施していく予定です。
- ・昨年実施した二酸化炭素削減啓発事業「エコライフDAY」を12月3日に今年度も実施する予定です。今年は小中学生を中心に実施する予定ですが、一般会員のご協力をお願いしました。



《全体事業》

◎まちなか清掃活動 10月28日(土) 主催:はんのう市民環境会議、飯能市役所互助会

11月4日、5日の飯能まつりの前に、市役所互助会との共催により「まちなか清掃活動」を実施しました。当日は、会員25人、市職員118人、合計143人が参加し、1時間～1時間半の活動を行いました。会員参加者では、小学生を含む一家での参加やニッター冷熱製作所の方も参加していただきました。

会員は、飯能駅から東飯能駅の範囲を中心にごみを拾いましたが、タバコの吸殻、お菓子の空箱(袋)、ビニール(レジ)袋などの可燃ごみが多くを占めました。拾ったごみの総重量は120kg、トラック1台分でした。作業中には、何人もの方にお礼やねぎらいの言葉をかけられ、また、ごみもなくなり清々しい気持ちになりました。

皆様のご協力により、飯能まつりを前に「まちなか」がきれいになりました。御礼と共に、今後の会の活動へのご参加をお待ちしております。

11月、12月の活動

部会の11月、12月の予定をご案内しますので、皆さんご参加ください。申込みが必要な会議などは、資料作成の都合等がありますので、ご面倒ですが事務局までご連絡をお願いいたします。

《 11月 》

12日(日) 自然環境部会

時 間：午前8時15分(集合)～午後4時ごろ(解散) **雨天中止**

場 所：飯能駅北口 国際興業 名栗行きバス停前集合 8時29分発のバスに乗車

内 容：自然観察会「クマタカが見えるかも？」の巻 飯能駅から路線バスに乗り名栗観光つり場終点まで行き、そこから名栗湖へと下りながら、専門家の案内でバードウォッチングを楽しみます。

持ち物：弁当、水筒、筆記用具、お金、あれば双眼鏡、歩きやすい服装で

参加費：保険、ガイド料 300円(子ども 100円)

共 催：天覧山・多峯主山の自然を守る会

その他：申込み不要、直接集合場所へお集まりください。

バス代等交通費は、自己負担となります。名栗観光つり場まで、片道680円です。

22日(水) 地球環境部会

時 間：午前8時45分(集合)～午後3時ごろ(解散) **雨天中止**

場 所：聖望・駿大の森(名栗げんきプラザ付近の市有林) バスで現地へ行きます。

内 容：聖望学園の生徒、駿大地域フォーラムの人達と一緒に広葉樹の植林をします。

その他：参加費無料、申込み、詳細については、市役所環境緑水課まで。

25日(土) 自然環境部会・地球環境部会・生活環境部会合同会議

時 間：午後6時30分～9時(要申込み、11月22日までに環境緑水課へ)

場 所：富士見公民館 2階和室(住所：双柳1-16【市役所北側】)

内 容：定例勉強会 6:30～7:30 は各部会毎のプロジェクト打合せ会議(マップ作りP、天覧入り谷津田保全P、苗木作りP等)、7:30～9:00 は、合同会議を行います。

申込み：希望者は、電話、ファクス等で市役所環境緑水課までお申込みください。

その他：参加者は、当日、富士見公民館にお集まりください。

生活環境部会長は、田中聡憲(たなか としのり)氏となりました。

26日(日) 自然環境部会 名栗を学ぶ講演会「名栗の山名、地名考」 同封のチラシ参照

《 12月 》

1日(金) 地球環境部会

内 容：駿河台大学の学生達と一緒に広葉樹の植林をします。(詳細は、後日通知します。)

3日(日) エコライフDAY2006 (詳細は、後日通知します。)

23日(土) 自然環境部会・地球環境部会・生活環境部会合同会議(予定)

時 間：午後6時30分～9時(要申込み、12月21日までに環境緑水課へ)

場 所：富士見公民館 2階和室(住所：双柳1-16【市役所北側】)

内 容：定例勉強会 11月会議と同様に時間を区切って話し合います。

申込み：希望者は、電話、ファクス等で市役所環境緑水課まで。

その他：参加者は、当日、富士見公民館にお集まりください。

12/23の合同会議の開催は、11月の会議により決定します。開催については、事務局までご確認ください。

編集後記：10月17日、環境省から昨年度の「温室効果ガス排出量」速報値が発表されました。これによると、京都議定書の規定による基準年(1990年)に比べて8.1%の増加となります。また前年と比較しても0.6%増加しております。日本は、2008年から2012年の間に基準年(1990年)比6%削減の目標を掲げて、CO₂などの「温室効果ガス」削減の取り組みを進めていますが、依然として14%のギャップが続いております。難解な「森林吸収減」や「京都メカニズム」を考慮に入れても、目標達成のハードルがさらに高くなっています。

先日カナダのコロンビア大氷原を訪れたとき“地球温暖化”の現実を目の当たりにしました。ここの氷河は1年に25mくらいのスピードで流れていますが、昨今氷河の溶ける量の方が多く毎年3～5m氷河の先端部が後退していました。6月の環境月間事業で上映したSF映画「デイ・アフター・トゥモロー」が現実のものにならないよう“地球温暖化防止”につながる「省エネ」「省資源」「自然保護」などの取り組みを高める必要性を痛感いたしました。(広報委員長：伊藤知夫)

はんのう市民環境会議事務局 飯能市環境部環境緑水課

住所：〒357-8501 飯能市大字双柳1-1

電話：042-973-2111 内線232 FAX：042-974-6770

会報 エコネットはんのう

編集・発行／はんのう市民環境会議

専門部会活動報告（11月～2月）

★地球環境部会★

●植林体験（聖望学園、駿河台大学合同）

日時：11月22（水）、12月1日（金）

場所：聖望の森・駿大の森（名栗げんきプラザ近くの市有林）

今年度から始めた「苗づくりプロジェクト」の一環として、聖望、駿大の学生たちと一緒に植林体験をしました。植林場所は、以前から聖望学園の生徒や駿河台大学の学生、両校関係者等が草刈など行い整備を進めていた「聖望の森」、「駿大の森」です。

山なのであたりまえですが、傾斜地での作業となるため足場を気にしたり、土砂が下へ転げ落ちないように配慮したりするため、一本植樹するにも意外と時間がかかりました。林業家にいわせると、この場所はとてもゆるやかな山なんだそうです。



南斜面で日当たり良好



苗木を渡され、いざ植林

作業は、まず苗木や鍬(クワ)を持ち、植林場所まで登ります。途中まで階段状に木道ができており、登りやすいようになってはいますが、頂上付近まで行くにはハーハー息切れがしてしまいます。そして、目印がある場所に直径30cm、深さ30～40cm位の穴を掘り苗木を植えます。足場が悪い所で、掘った土や小石が下へ転がらないよう気を使いながら土を埋め戻します。苗木の周りを足で軽く踏み固め、最後に苗木の横に支柱を差しシュロ縄で結んで1本の植林が終了となります。

この山には、2日間でヤマザクラやツバキ、ヤマグリ、ブナ、イタヤカエデなど10種類890本が植林されました。

実施日が平日ということもあり、会員の参加者は10人足らずでしたが、とても達成感の得られる事業でした。

見晴らしもよく気分爽快！



★自然環境部会★

- 11月12日（日） 自然観察会「クマタカがみられるかも？」の巻 参加者 8名
路線バスで名栗へ行き、バードウォッチングをしながら名栗の山を散策しました。

クマタカは、山地の森林に留鳥として生息し、森林生態系の頂点に位置しており「森の王者」とも呼ばれています。個体数が少なく、また観察することが難しいため生態はあまり明らかにされていません。残念ながらタイトルのクマタカは見られませんでした。オオタカを見ることができました（クマタカの生息は確認されています）。ちなみに、オオタカはクマタカより小さく中型の種ですが、飛んでいる小鳥などを捕獲する優れたハンターです。

- 11月26日（日） 講演会「名栗の山名、地名考」 講師 谷有二氏 場所 郷土館
飯能の奥山 名栗を学ぶ講演会として、谷 有二氏を講師にお招きし、「タタラの頭」や「逆川」、「浜居場」など興味をひく地名について、その由来などお話しいただきました。当日は、学習室満席の50名が集まり、大変好評でした。



★3部会合同会議★

- 11月25日（土） 富士見公民館和室 参加者 17名
 - ・天覧山周辺の里山の保全について【どのように事業を進めるか、たたき台があった方が検討しやすい、整備後の利用のルール作りが必要等の意見が出された。】
 - ・桜の森計画について
 - ・環境マップづくりについて
 - ・一学一山運動について 早大が森林保全を目的とした各大学への呼びかけ運動
 - ・11月22日に実施した植林体験実施報告及び12月の植林体験紹介
 - ・生活環境部会の活動方針について【学校を巻き込んだ子ども達に対する環境啓発活動、清掃活動等を中心に取り組んでいきたい。】

- 1月27日（土） 富士見公民館和室 参加者 17名
 - ・天覧山周辺の里山の保全について【事業計画、予算等の検討、作業環境（トイレ等）の整備、他自治体の状況を参考にすべきなどの意見が出された。市民ぐるみの事業、環境学習の一環として一小、西中等に事業説明をしたことが報告された。】
 - ・森林文化都市宣言推進事業について 10月にウォーキング等を予定
 - ・苗づくりプロジェクト 2年目の計画について、年内の活動計画作りについての意見交換、ほ場候補説明（候補地として、駿河台大学敷地内、美杉台地区、南高麗地区）→プロジェクトを森林文化都市宣言推進事業に位置付け実施。

- 2月24日（土） 富士見公民館和室 参加者 13名
 - ・天覧山周辺の里山の保全について【広い土地であるが整備できるのか。→急がず整備したい。農地として本会が借り受けるため、農地として保全していく必要がある。他に生物多様性について、植物の保全等について意見がだされた。】
 - ・4月実施の自然散策会で、天覧山周辺の谷津田を参加者に見てもらう予定
 - ・環境マップづくりについて ツーデーマーチ参加者用に作成する。費用は自然部会に配分された金額内で作成する。
 - ・地球環境部会の3月、4月の活動予定計画説明（3/21 森のようちえん敷地整備ほか）
 - ・生活環境部会の活動予定説明（3月18日 市街地清掃活動の実施）

☆お知らせ☆ 4月より事務局（環境緑水課）は、新庁舎別館2階へ移転します。内線番号、ファクスが変更となりますので、4月以降のご来庁、お問い合わせの際はご注意ください。

★全体事業★

●エコライフDAY2006 統一実施日：12月3日（日）

対象：会員（個人、事業所、団体）、市立小学校5年生、市立中学校2年生

第2回目のエコライフDAYを実施しました。今回から、小、中学校の児童、生徒さんにも参加していただき、昨年に比べ2倍以上の参加者数となりました。

小、中学生の参加者の感想では、日頃の生活の中で、ちょっと気をつけるだけで温暖化の防止ができることを初めて知った、驚いたという意見が多く、一方で、いつもどおりのことをしただけという意見もあり、各家庭での家族の意識により、取り組んだ感想も様々でした。

エコライフDAY事業に取り組んでいただいた児童、生徒達が、省エネ等環境活動への関心を持つきっかけとなってくれたらと思います。

気候の安定化に向けて直ちに行動を！ ー 科学者からの国民への緊急メッセージ ー

本年2月2日、地球温暖化に関する世界の研究者達でつくる『気候変動に関する政府間パネル（ICPP）』が、科学的根拠について最新の知見を取りまとめた第4次報告書が採択されました。

その内容は、きわめて重要かつ深刻な内容となっており、科学者から国民へ向けて直ちに行動することを呼びかける、緊急メッセージが出されました。

概要を下記にご紹介します。

国民のみなさまへ

気候が急激に変化している。この気候変化が人為的温室効果ガス排出によるものであることは、科学的に疑う余地がない。このままの排出が続けば、人類の生存基盤である地球環境に多大な影響を与えることも明白である。

これまでも、科学者達は強い懸念を示し呼びかけを行ってきた。しかし、温暖化の検証プロセスには様々な知見を要するため、その間に気候変動は進行し、近年顕在化した。報告書では、気候変化における人為的確認が再確認され、雪氷圏における変化は予想以上に進行することが確認された。このままだと、人類が経験したことのない温暖化時代に突入する。限りある自然の吸収力を勘案すると、温室効果ガス排出を大幅に削減しない限り気候は安定化しない。

気候変動による悪影響が危険レベルを超えないうち、温室効果ガスの削減を直ちに開始せねばならない。科学の結果を直視し、気候の安定化に向けて国民が一体となって行動し、世界が共に行動を開始する事をより強く呼びかけていくべき時がきている。この事を、気候変化を研究する科学者として強く訴えたい。

① ICPP 第4次評価報告書 第1作業部会報告書に基づく主要な科学的な認識

- ・加速する温暖化と顕在化する影響
- ・人為的影響の明白化
- ・排出の継続は危機的な状況を生む

②人類と地球の共存

③子ども達の未来を守るため、今こそ行動の時

詳細は、環境省ホームページをご覧ください。



3月の活動予定

専門部会や関係団体の3月の予定をご案内しますので、皆さんご参加ください。申込みが必要な会議などは、資料作成の都合等がありますので、ご面倒ですが事務局までご連絡をお願いいたします。

《 専門部会活動予定 》

8日(木) 自然環境部会・マップづくり実行委員会

時 間：午後7時～午後9時 (要申込み、3月7日までに浅野部会長へ)

場 所：未定(参加人数により決定。参加者には後日ご連絡します)

内 容：市内環境マップの下図づくり

その他：今回は間に合わなくても、今後も実行委員会を開きますので、参加希望の方は浅野部会長又は事務局までご連絡ください。イラスト画等得意な方大歓迎！

18日(日) 生活環境部会・まちなか清掃活動

時 間：午前9時(集合)～午前11時頃(解散) 雨天中止

場 所：市民会館と郷土館の間の駐車場に集合し、市民会館周辺の市街地清掃

持ち物：軍手、タオルなど。動きやすい服装で。

その他：申込みは、3月14日までに事務局(環境緑水課)へ

21日(水・春分の日) 地球環境部会

事業名：市役所子ども家庭課主催「森のようちえん、森づくり事業」

時 間：午前9時30分(集合)～午前11時30分(解散) 雨天時は美杉台公民館へ

場 所：美杉台公園東側緑地(大鵬薬品工業の北側) 費 用：100円(保険料)

内 容：散策路づくり、木の名札つけ等野外作業のほか、森についての話し合い

その他：内容、申込み等詳細は19日までに市役所子ども家庭課(内線128)まで

31日(土) 自然環境部会・地球環境部会・生活環境部会合同会議

時 間：午後7時～9時(要申込み、3月28日までに環境緑水課へ)

場 所：富士見公民館 2階和室(住所：双柳1-16【市役所北側】)

内 容：自然部会…天覧入り谷津田保全計画について、環境マップづくりについて
地球部会…森のようちえん森林整備活動報告、苗づくり活動の予定について
生活部会…まちなか清掃活動実施報告、今後の活動について

申込み：希望者は、電話、ファクス等で市役所環境緑水課までお申込みください。

とん汁が食べられます！

《 関係団体等のイベント情報 》

24日(土) NPO法人 天覧山・多峯主山の自然を守る会主催・てんた里山文化の集い

時間等：午前10時30分(開場)～午後3時30分(閉会) どの時間でも入場可

会 場：市民会館小ホール 内 容：NPO法人発足式、講演会、音楽ライブ ほか

その他：入場無料 内容等詳細は、代表 浅野さん 042-974-1691 まで

27日(火) 飯能市環境衛生推進協議会主催・健康教室(講演会)

時間等：午後1時30分～午後2時30分 会 場：総合福祉センター3階大会議室

内 容：「健康で快適な居住環境づくり」～衛生害虫について～ 講師：浦辺研一氏

その他：入場無料、要申込み 内容等詳細は、広報はんのう3月1日号又は環境緑水課まで

編集後記：昨年12月、皆さんにご協力頂きました「エコライフ DAY2006」の実施結果は、添付報告書のとおり、市民の約5%に相当する4,126名の皆様に参加いただきました。

今回は市内の小学5年生、中学2年生の児童・生徒とご家族にも参加して頂きました。僅か一日ですが家族で環境について相談し、意識して行動するキッカケになったと思います。参加された皆さんから「環境意識の高揚」に有効であるとの感想を多数頂きました。

また、常日頃から“お母さんはすごい！”と思っている子供達が沢山いることが分かりました。チェックシートから推察しても、お母さんのエコ意識の高さが際だっており「エコロジー」は「エコノミー」を实践されている様子を、うかがい知ることができました。これからも、身近な環境学習のテーマとして、定着して頂ければと願っております。

いま上映中のドキュメンタリー映画『不都合な真実』は、地球温暖化問題について考える話題作ですが、この中で“私にできる10の事”と言う約束事があります。そのひとつに

「環境危機についてもっと学びましょう、そして行動に移しましょう。子供たちは地球をこわさないで、と両親に言いましょう」というのがあります。

皆さんは子供たちと、どんな約束ができるでしょうか。(広報委員長：伊藤知夫)

はんのう市民環境会議事務局 飯能市環境部環境緑水課

住 所：〒357-8501 飯能市大字双柳1-1

電 話：042-973-2111 内線232 F A X：042-974-6770



会報 エコネットはんのう

編集・発行／はんのう市民環境会議

平成19年度定期総会を開催しました

6月2日（土）に市民会館小ホールを会場に、平成19年度定期総会が、沢辺飯能市長、佐野市議会議長を来賓に迎え、開催されました。

総会では、平成19年度の事業報告、収支決算の承認に続き、役員の一部改選として、4名の方が選出されました。また、事業計画案、収支予算案を審議し、全ての議案について原案どおり承認されました。

平成19年度における活動のテーマは、「活動の環をさらに広げよう」です。

会場のホワイエに展示コーナーを設け、谷津田の再生・活用事業の紹介や自然環境部会の自然観察会等の様子、NPO 法人天覧山・多峯主山の自然を守る会の活動紹介などのパネル展示を行いました。



○役員の一部改選により新委員が選出されました

異動、退職等に伴う各団体代表者の一部委員の改選を行ないました。

新副会長 高 澤 謙 蔵（自治会連合会）

新 委 員 小久保 雅章（飯能青年会議所）、小 池 昇（西川広域森林組合）

藤 本 健 児（丸広百貨店飯能店）

○事業計画・予算のあらましをお知らせします

（1）事業計画

今年度のテーマは、昨年度のテーマをさらに進展させるべく「活動の環をさらに広げよう」です。子どもから大人まで各世代が参加いただける事業の実施により、多方面への参加を呼びかけ、活動の環をさらに広げたいと思います。

本会の今後の中心事業となる谷津田の再生・活用事業(仮称)ほたるの里整備事業は、天覧山脇にある長年放置されていた谷津田（やつだ・湿地）を借受け、ホタルやカエル、トンボなどが群生していた昔の谷津田に近づく取り組みです。この場所が、将来の飯能市のシンボリックなエリアとなるよう活動を行っていききたいと思います。

また、情報提供については、会の活動を積極的にPRし会員の拡大を図るとともに、会報を定期的に発行し、多くの方に部会活動やイベントにご参加いただけるよう努めていきます。

（2）収支予算

今年度の収支予算を137万4千円とし、(仮称)ほたるの里整備事業を始めとする部会活動や会報の発行、イベント等を開催します。



(3) 各部会の活動計画

専門部会の平成19年度における活動内容をご紹介します。会員の皆さんは、どの部会の活動にも参加できます。皆さんのご参加をお待ちしています。

《自然環境部会》

自然環境部会では、次の事業に取り組めます。

- ①毎月1回の定例会議（3部会合同会議）の開催
（原則、第4土曜日、夜7～9時、富士見公民館で開催します）
- ②（仮称）ほたるの里整備事業 ③天覧山・多峯主山周辺のルールづくり
- ④飯能市の自然環境マップづくり ⑤自然観察会、自然環境講座の開催 ほか

《生活環境部会》

生活環境部会では、飯能がよりよい環境を維持していくために、我々自身で何ができるのか模索していきます。

- 1) 飯能市街の美化の施策…市街地清掃活動、鉢植えを含む植樹
- 2) 飯能市民の環境に対するモラルの高揚を図る
不法投棄、ポイ捨ての問題
- 3) 将来を担う青少年への環境問題の啓発



《地球環境部会》

地球環境部会では、森林文化都市宣言をした飯能の特徴を活かせ、地球に直接的な活動として、昨年に続き“苗づくりプロジェクト”を実施します。

里山などでの植生分布調査、果実採集を行い、苗床づくり、種まき、苗木の配布などを企画しています。秋に開催される、「人と緑かがやきフェスタ」で、育苗した苗木のポット配布を予定しています。

部会活動報告（3月～6月）

《自然環境部会》

- 自然環境マップづくり 3月8日～5月3日、計5回開催
飯能市全域の様々な動植物についてマップにしてみようということで、マップづくり実行委員会が設立され第一弾として、植物編～野山で出会える植物たち～を作成しました。
今後は、動物編、魚編としてシリーズ化し、いろいろな飯能の自然に関する情報をマップ化していきたいと思います。
なお、飯能新緑ツーデーマーチや6月の環境映画会でマップの配布を行ないました。



- 自然観察会 4月8日（日）、5月13日（日）開催
4月は「さくら、さくら、山桜」の巻として、天覧山から多峯主山一帯の山桜を堪能しました。満開のサクラの中、山桜の多さに気づかされました。
5月は「新緑の中へ」の巻として、新緑に包まれた風薫る天覧山周辺を、植物を中心に観察をしました。森林浴も満喫し、最高に気持ち良い1日でした。



○講演会 4月15日(日) 会場：飯能市郷土館 33名参加

名栗を知る講演会の第2回目「奥武蔵の峠」と題し、浅見美寛氏を講師にお招きし、鳥首峠や妻坂峠、顔振峠などにまつわる伝説や魅力について、わかり易くお話いただきました。講演会は、第3回目も予定しておりますので、ご期待ください。

《生活環境部会》

○清掃活動 3月18日(日) 集合場所：郷土館前 12名参加

生活環境部会の活動として、第1回目の清掃活動を行ないました。当日は、ニッソー冷熱製作所の社員の方も(社長さんまで!)参加していただき、市民会館から飯能駅にかけてポイ捨てごみの収集を行ないました。収集量は20kgでした。

作業中、何人もの方にお礼やねぎらいの言葉をかけられ、清々しい気分になりました。

《地球環境部会》

地球環境部会では、「苗づくりプロジェクト」事業として、いろいろな団体と連携し事業を実施しています。残念なことに今回の部会報告は、5月の苗床づくり、6月の種子採取が、雨にタタラレ中止となってしまいました。

○植生分布調査 4月8日(日) 開催

自然環境部会と合同で、天覧山、多峯主山周辺の咲きほころヤマザクラを楽しむとともに、植生分布調査を行ないました。

○ヤマザクラの種まき(森のようちえん 森づくり事業共催)

6月24日(日)市が所有する美杉台公園の東側にある緑地で、ヤマザクラの種まき、イロハモミジのポット植えの作業を行ないました。お昼の時には、緑あふれる自然の中で、野草のてんぷらを美味しく味わいました。



3月開催の森づくり事業の様子

《3部会合同会議》

毎月開催している合同会議です。時間を区切り、各部会の情報や取り組みについて、意見交換を行なっています。どなたでも参加できます。ぜひご参加ください。

○3月31日、4月28日、5月26日(いずれも土曜日、午後7時から9時)

- ・自然環境部会では、主に環境マップづくり、天覧入り谷津田の再生・活用事業について話し合いました。谷津田については、ルールづくりが必要との観点から、周辺のルールづくりについて議論を交わしました。
- ・地球環境部会では、苗づくりプロジェクトについての活動として、ヤマザクラの分布調査、種子採取、ほ場整備活動等について報告がありました。
- ・生活環境部会では、3月に実施した清掃活動の報告、今後の活動について話し合いました。

○6月23日(土) 午後7時から9時まで 51名参加

市職員等による桜の森計画の説明会を開催しました。経緯や計画候補地などについての説明後、質疑応答を行ないました。今回は会員のほかに中居、中山自治会長さんをはじめとする、地区関係者も多数参加され、短い時間でしたが、活発な意見が交わされました。



《全体事業》

○飯能新緑ツーデーマーチ 5月19、20日の2日間

昨年に引き続き、はんのう市民環境会議がクリーンウオークのブースを担当し、中学生ボランティアと一緒にウォーカーへごみ袋などの配布を行ないました。

また、自然環境部会のマップづくり実行委員会が作成した環境マップを配布しました。

○環境映画会「草刈り十字軍」上映 6月2日（土）市民会館小ホール

6月の環境月間事業として、映画「草刈り十字軍」を上映しました。今年は、森林文化都市宣言推進事業として、谷津田の再生・活用事業の実施や「人と緑かがやきフェスタ」を開催する年にふさわしい映画でした。

知名度の低い映画にもかかわらず、約230人の方が鑑賞されました。



○まちなか清掃活動 6月9日（土）午前9時から

当日は天気が不安定で、時折ポツリ、ポツリと雨が落ちてきましたが、予定通り実施できました。本会会員のほか市民、環境衛生推進協議会会員、市役所職員が市役所に集合し、飯能駅、東飯能駅周辺市街地のポイ捨てごみの収集作業に汗を流しました。

沢辺市長も含め総勢106人により、100kgのごみが集まりました。重量には反映されませんが、タバコの吸殻がかなり多くありました。



◎雨が降りそうでしたが、絶対のごみ拾い日よりとなりました。



◎分別作業の様子
可燃ごみが半分を占めました。

編集後記：今年は平年に比べ約1週間遅れて“梅雨入り”しました。その後も梅雨らしい天気が続かず更に、気象庁の予測では「※ラニーニャ現象」の影響で、全国的に“梅雨明け”が早まり、今年は暑い夏(酷暑)が続くと言われています。早くも西日本では渇水対策本部が設置され、取水制限や節水に取り組んでいる自治体があります。飯能においても、今後平年並みの降水量が期待できないと、この夏は水不足の懸念があります。

私達は“キレイな水と空気”に恵まれており、節水の意識が希薄になるのは否めない事実ですが、ガソリンより高い「ペットボトル入り飲料水」を備蓄しなくてもいいように、毎日の生活の中で節水を意識し、一滴の水でも大切にしたいと思っています。

東京都水道局の「世帯人員別の平均水道使用量」調査によると、2人家族では1ヶ月16m³、3人場合は22m³、4人家族の場合は27m³だそうです。一人一日当りで見ると平均240ℓ、2ℓ入りペットボトルにして毎日120本使用しています。皆様のお宅ではいかがでしょうか。（広報委員長：伊藤知夫）

（注記）※ラニーニャ現象：太平洋赤道域の海面温度が基準値より低い現象で「エルニーニョ現象」とは逆の現象。

気象庁の発表によると、この現象は今年秋まで続くと予測されている。



はんのう市民環境会議事務局

飯能市環境部環境緑水課

住所 〒357-8501 飯能市双柳1-1

電話 042 (973) 2111 (内線701)

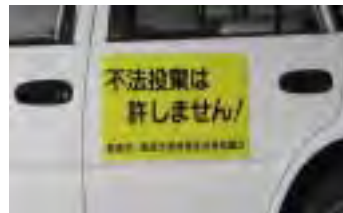
FAX 042 (971) 2393

Eメール kankyo@city.hanno.saitama.jp

環境月間事業協力団体一覧

「不法投棄は許しません！」

ボディパネル貼付協力団体



	事業所・団体名	所在地	枚数
1	(有)飯能清掃センター	南 町	2 0
2	(株)椿本チェーン埼玉工場	新 光	1 0
3	(株)丸広百貨店飯能店	柳 町	6
4	国際興業(株)飯能営業所	柳 町	2 0
5	西武バス(株)飯能営業所	美杉台	2 0
6	ときたサービス(有)	上 畑	6
7	(株)文化新聞社	柳 町	6
8	西川広域森林組合	阿 須	4
9	飯能市農業青年会議所	—	6
10	飯能一般廃棄物処理（協）	双 柳	1 0
11	飯能衛生(株)	阿 須	1 8
12	新電元工業(株)	南 町	4
13	飯能整形外科病院	東 町	2
14	森の番人	—	6
15	飯能市役所（公民館ほか）	双 柳	6 2
協力団体数 1 5 団体 配布枚数 2 0 0 枚			

環境月間清掃活動協力団体

	事業所・団体名	所在地	実施日等
1	(有)飯能清掃センター	南 町	6 / 1 3
2	(株)椿本チェーン埼玉工場	新 光	6 / 2 8
3	(株)丸広百貨店飯能店	柳 町	6 / 4
4	新電元工業(株)	南 町	6 / 2 5
5	飯能市立双柳小学校	双 柳	6 / 1 7, 6 / 9 参加
6	(株)ニッソー冷熱製作所	双 柳	6 / 9 参加
7	駿河台大学	阿 須	6 / 9 参加
8	N P O 法人 西川木楽会	飯 能	6 / 9 参加
9	飯能市立南高麗小学校	下直竹	6 / 9 参加
10	飯能市環境衛生推進協議会	双 柳	6 / 9 参加
11	飯能市役所	双 柳	6 / 9 参加
協力団体数 1 2 団体			

会報 エコネットはんのう

編集・発行／はんのう市民環境会議

「人と緑かがやきフェスタ」に参加しました

10月13日(土)、14日(日)に飯能市主催による森林文化都市宣言推進事業「人と緑かがやきフェスタ」が開催されました。本会では、「キャンドルナイト」、「森林文化都市ウォーク」、「はんのう生活祭」に事業協力しました。

○キャンドルナイト

生活環境部会では、西川材の端材で組み立てた燭台と半端なワロン紙(和紙素材)を風除けシートとして利用し、約150個のキャンドルを市民会館玄関前に設置しました。飯能幼稚園の協力により、風除けシートには園児によりカラフルな絵や模様を描いていただき、素敵なキャンドルとなりました。



中央公園では、飯能青年会議所、飯能商工会議所等により、約4,600個のキャンドルが設置され、「森林」や「Peace」の文字などが暗闇に浮かび上がりました。

こちらのキャンドルには、紙コップに市内の小学生約1,500人が環境や森林に対する思いを描いてくれました。

聖望学園の生徒によるハンドベルの演奏なども行われ、会場には約2,000人が訪

れ、幻想的なひと時を過ごしました。



○森林文化都市ウォーク

地球環境部会では、ウォーカーにより森林に親しんでいただくため、コース脇の樹木に名札を取り付けました。

奥武蔵自然歩道を中心に、スギやヒノキ、コナラ、ヤマグリなど19種類50本に、西川材で作製した名札を設置しました。

木の名札はとても温か味があり、ウォーカーに大変好評でした。



○はんのう生活祭(森のようちえん)

地球環境部会では、昨年からの苗づくりプロジェクトとして、樹木の種子採取をしてきました。その種子を育て、苗木となったヤマグリやモミジ、コナラなどの苗を約100本無料で配布しました。

部会等活動報告（7月～10月）

《自然環境部会》

7月8日（日） 自然観察会「ホタルの里の手入れをしよう」の巻

天覧山谷津の再生プロジェクトが始まるにあたり、現地での自然観察会をしながら、今後何をしていけばいいか、どのような手入れが必要かなど、みんなで話し合いをしました。谷津田には、びっしりと葦（ヨシ）や萱（カヤ）などが繁茂していました。参加者は11名でした。

8月12日（日） 自然観察会「川を歩こう」の巻

お盆前の開催でしたが、10名の方が参加されました。とても暑い日だったにも関わらず、名栗川歩きは涼風に包まれ別天地のような気持ち良さでした。今年もイワタバコ（岩煙草）の可憐な花に出会え、また、いろいろな水生生物をたくさん観察することができました。



9月9日（日） 自然観察会「秋の野草観察」の巻 （地球部会合同）

天覧山谷津において、秋のこの時期に花を咲かせる様々な野草を観察しました。その後、ゆっくりと多峯主山まで散策を楽しみました。参加は13名でした。

《地球環境部会》

地球環境部会では、7月に予定していた「名栗原生林 大ブナ植生調査」と8月に予定していた「名栗湖周辺樹木調査」

が雨天により中止となってしまいました。5月と6月も事業が中止となっており、天気に恵まれない地球環境部会です…。

8月26日（日） ポット植え作業（子ども家庭課・森のようちえん 森づくり事業共催）

市が所有する美杉台公園の東側にある緑地（森のようちえん）で、春に種子を採取し育ててきたコナラやイロハモミジの苗木をポットに植え替えました。生育はまずまずで、秋に開催される生活祭で市民へ無料配布します。

9月9日（日） 自然観察会（自然環境部会合同）

自然環境部会と一緒に、天覧山谷津の自然観察会を行いました。今年は、昨年と違いたくさんの木の実が落ちており、おもしろいようにコナラやクヌギなどのドングリが取れました。たいりょう、たいりょう！（^0^）

10月21日（日） 名栗原生林での種子採取、大ブナ調査

7月に予定していた大ブナ調査は中止となりましたが、今回は天気もよく実施することができました。ミズナラやヤマグリなどの種子が、たくさん採取できました。

また、伝説の地ウノタワでは、景観を楽しみながら植生調査を行いました。大ブナは、幹にビッシリ苔が生え、樹齢を感じさせる、とても雄大な大木でした。



ウノタワにある巨木 大ブナ

《3部会合同会議》

○「桜の森計画」現地視察会 8月11日（土）午後3時～5時45分 45名参加

6月に桜の森計画の説明会を開催しましたが、今回は第2回として現地視察会を実施しました。中山城会館へ集合後、里山に入り桜の森委員会よりポイントごとに、現状や今後の整備構想等について説明を受けました。

視察後は、中山城会館で感想や桜の森計画に対する意見を交換しました。会員、自治会からの意見として、市街地から近い身近な里山を上手に整備してもらいたい、市民と一緒に計画を進めてほしい、希少植物を保護していくべき等の意見が出されました。

暑いさなか、蚊も多い中での視察会でしたが、初めて第2天覧山へ行った（登った）人も多く今後役に立つ視察会となりました。



○8月25日、9月22日、10月27日 いずれも土曜日の午後7時から9時まで

生活環境部会

部会長より、キャンドルナイトについて事業概要の説明を行い、それについて意見交換を行いました。地球温暖化防止対策、CO2排出削減の観点から実施するものですが、多くの人に参加していただき、今後の取り組みへのきっかけづくりとする事業としたいとの説明がありました。他に、清掃活動の予定について話がありました。

自然環境部会

天覧山谷津の里づくりプロジェクトの経過報告を行いました。他に全国雑木林会議、桜の森計画、環境マップづくりなどについて意見交換を行いました。

地球環境部会

主に活動報告、活動予定などについて報告を行いました。苗づくりプロジェクト事業では、樹木が中心となっているが、シュンランやヤマユリなどの草花についても取り組んでもらいたいとの意見が出されました。

その他

（仮称）飯能市環境基本条例の制定、飯能市環境保全条例の改正、飯能市環境基本計画の改訂の予定などについて、事務局より説明がありました。

《全体事業》

○まちなか清掃活動（市役所互助会合同） 10月27日（土）

今年2回目の清掃活動を予定しましたが、突然の台風の発生により雨天中止となってしまいました。今回は、事業所さんの参加申し込みが複数あり市民、事業所、行政の3者による清掃活動となる予定でしたが、恨めしの雨となりました。

《天覧山谷津の里づくりプロジェクト》

天覧山の西側にある谷津田を、昔のような田んぼに近づけていくプロジェクトが発足しました。メンバーは、市民や事業所、市民団体、行政の他地元自治会など24人で構成されています。委員長は浅野正敏自然環境部会長、副委員長は、飯能青年会議所の小久保雅章さんです。

11月11日に第1回目の現地作業を行います。谷津田の作業が始まることを広く周知し、今後の活動につなげていきたいと思っています。また、これからの維持管理や整備の計画について検討していきます。

11月、12月の活動予定 (ご案内)

各事業に参加される場合は、お手数ですが申込み先までご連絡をお願いいたします。

【11月】

11日(日) 谷津田の作業にとりかかろう！(天覧山谷津の里づくりプロジェクト)

時 間：午前9時(集合)から午後0時30分 ※雨天時は23日へ順延

場 所：市民会館北側 中央公園トイレ付近に集合後、みんなで現地へ

内 容：荒廃した谷津田を再生する第1回目の作業です。案内看板の設置や、草刈り、水路づくり、生物調査などを行います。

持ち物：軍手、タオル、お椀、箸、飲み物、カマ(持っている人)

服 装：長靴、作業できる服装

その他：費用は無料。ムカゴご飯、キノコ汁をふるまいます。

申込み：11月6日迄に電話、ファクス、Eメール等で事務局へお申込み下さい。

24日(土) 3部会合同会議・第3回桜の森計画説明会

時 間：午後7時から9時まで(要申込み、11月20日までに事務局へ)

場 所：市役所別館 2階 会議室 3

内 容：桜の森計画について、桜の森委員会による説明会(7時から約1時間)
飯能市環境基本計画改訂について、全国雑木林会議について、ほか

28日(水) 地球環境部会・森のようちえん 森づくり事業協力

時 間：午前9時30分(現地集合)～11時30分(解散) ※雨天中止

場 所：美杉台公園東側緑地・森のようちえん(大鵬薬品工業の北側)

内 容：圃(ほ)場づくり等の作業を行います。

その他：申込み、お問合せは26日までに事務局へ

本格的な山林作業とは違い、美杉台にある森林の簡単な作業です。お気軽にご参加ください。

【12月】

9日(日) エコライフ DAY2007 ※日程変更の場合あり

今回は、小・中学生、事業所を対象に行う予定です。

26日(水) 地球環境部会・森のようちえん 森づくり事業

時間、場所、内容等は11月28日と同様

※12月の3部会合同会議はお休みです。



★編集後記★ 今年のノーベル平和賞は、前アメリカ副大統領のアル・ゴア氏と国連の「気候変動に関する政府間パネル(IPCC)」の受賞が先日発表されました。アル・ゴア氏は、話題のドキュメンタリー映画「不都合な真実」や世界各地での講演を通して「地球の温暖化防止」を強く訴えています。受賞理由は「人為的な気候変動に関する知識を広め、対策の基盤構築に努めた」とあります。また地球温暖化は、紛争の危険を高め平和の脅威となるものであり、地球の温暖化防止は世界平和に大きく貢献するというのが、平和賞受賞の理由だそうです。そして最後に『気候変動が制御不能になる前に、今、行動が必要！』と結んでいます。

記憶に新しい2004年のノーベル平和賞は、ケニアの環境副大臣ワンガリ・マータイさんが環境分野で初めて受賞されたことは、皆さんご存知のとおりです。マータイさんは、日本の美徳の真髄とも言える“もったいない”の言葉に感銘を受け、環境を守る世界の共通語として“MOTTAINAIキャンペーン”を提唱し活動しています。「MOTTAINAIキャンペーン」とは、ごみの減量(Reduce)、再利用(Reuse)、再資源化(Recycle)の活動を言い表す言葉で“もったいない”の心を全世界に広めるキャンペーンです。

“MOTTAINAI”が合言葉となって「環境の環」が世界中に広がってほしいと思います。

(広報委員長:伊藤知夫)

はんのう市民環境会議事務局

飯能市環境部環境緑水課

住所 〒357-8501 飯能市双柳1-1

電話 042(973)2111(内線702)

Eメール kankyo@city.hanno.saitama.jp

FAX 042(971)2393

会報をインターネットでご覧になりたい方は、飯能市ホームページ→インデックスの“計画・まちづくり”→環境基本計画→はんのう市民環境会議で公開しております。ご覧下さい。

会報 エコネットはんのう

編集・発行／はんのう市民環境会議

てんらんざん や つ
「天覧山谷津の里づくりプロジェクト」

現地での作業が始まりました！



1月初旬に発行した「谷津田の作業にとりかかろう！第1回開催概要」でお知らせしましたが、11月から「天覧山谷津の里づくりプロジェクト」の現地作業が行われ、本格的な活動が開始されました。

○所在地などの概要

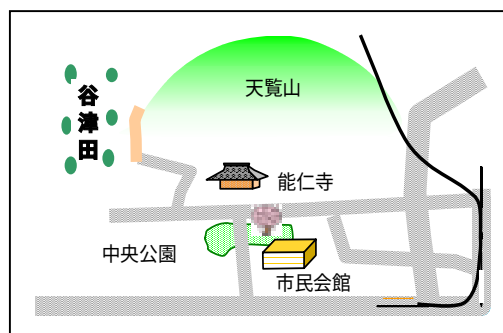
天覧山の北西にある湿田（休耕田）の一部を、所有者から市が借り受け、はんのう市民環境会議が管理・運営していきます。

土地の所在：大字飯能 1120 番ほか4筆

面積：3,321 m²（約1000坪）

地目：田

天覧山・多峯主山周辺は、景観に優れ市民に親しまれる緑地として、以前より景観緑地に指定されています。今年4月からは、谷津田を含めた一帯が新たに指定されることになり、総面積は約97ha（東京ドーム21個分の面積に相当！）となります。それにより一層の保全・活用が図られる予定です。



○借用前の状況（H19年3月）



葦やカヤが一面に繁茂し、一部で土が乾燥している。水路も土砂等で埋まり、わずかな窪みとなっている。

○平成20年1月20日（日）の作業状況 22名参加



11月に引き続き、葦などの刈り取り作業。土砂で埋まった水路を掘り起こし、水路づくりを始めました。

○平成20年2月24日（日）の作業状況 18名参加



上流部の沢・水路の整備とともに、あぜ道づくり。日当たりの悪い上流部分は、溜め池にする予定。
右の写真は、田へ降る階段を、間伐材を使ってつくりました。

11月、1月、2月と、これまで3回の現地作業を行いました。一面に繁茂していた葦やカヤなども予定どおり刈り払われ、見通しのよい谷津田となりました。

上流部は湿地となっており、掘り下げるとすぐ水が湧き出してくて、水溜りとなります。場所により長靴が膝近くまで埋もれることもあり、かつて田んぼであったことを体感できます。また、葦の根が縦横無尽に張りめぐり、根が邪魔をし水路づくりも思うように進みません。寒い時期ですが、少し作業をすると上着がいらなくなるほど体が暑くなります。

3回の作業でほんの少しですが、溜め池部分の形ができてきました。これからも少しずつですが、作業を進めていきますので、ぜひとも皆さん、ご参加ください！

部会等活動報告（11月～2月）

《自然環境部会》

2月10日（日） 自然観察会「冬の里山バードウォッチング」の巻

前日の大雪で開催が危ぶまれましたが、当日は冬晴れとなり、絶好のバードウォッチング日よりとなりました。主に、天覧山谷津を中心に、冬鳥を観察しました。

降り積もった雪の中、カシラダカ、ルリビタキ、シロハラ、イカル等16種類が確認できました。参加者は8名でした。

《地球環境部会》

11月28日、12月26日、2月27日 いずれも水曜日の
午前9時半から正午まで 森のようちえん 森づくり事業協力

市が所有する美杉台公園の東側にある緑地（森のようちえん）で、主に敷地内の整備作業を行いました。

11月、12月は、下草刈り作業や樹木の名札付けを行いました。
2月は、北風の吹く寒い中でしたが、苗床にヤマユリを移植したり、天狗のウチワ？のような葉をつけるハリギリ（針桐）などの種を蒔きました。



《3部会合同会議》

○第3回「桜の森計画」説明会 11月24日（土）午後7時～9時 13名参加

8月の現地視察会に続き、第3回目の説明会を開催しました。桜の森委員会よりプロジェクターを使い、今後の計画について説明を受けました。

説明後、桜の森計画に対する質疑応答が行われました。主な質疑は、次のとおりです。

- ・桜の森計画に費やす費用はどれくらいか。→年間約200万円を予定している。
- ・桜の植栽場所はどこになるのか。→計画地内全てを桜にするわけではない。今ある樹木の植生を生かしながら、第二天覧山周辺を中心に植栽を予定している。
- ・他の市町村との違い、特徴は何か。→1本の桜でも名所となっているところもある。シンボルツリーとなるもの等検討していきたい。

当初の予定時間を大幅に上回る、活気のある説明会となりました。

○11月24日、1月26日、2月23日 いずれも土曜日の午後7時から9時まで

天覧山谷津の里づくりプロジェクトの経過報告を行いました。他に全国雑木林会議、桜の森計画などについて意見交換を行いました。

また、（仮称）飯能市環境基本条例の制定、飯能市環境基本計画の改訂についての概要、今後のスケジュールなどについて、資料配付、説明が事務局よりありました。

《天覧山谷津の里づくりプロジェクト会議》

11月7日は、イベント前の詳細事項について検討を行いました。

12月21日は、イベントの開催結果報告及び今後の計画について話し合いました。今後の作業計画については、土地5筆の作業の進め方や管理方法を検討したほか、次のように定期的な作業を実施していくことを決定しました。

- ・毎月1回、原則第4日曜日の午前中、定期的に作業を実施する。
ただし、市のイベント等と重なるときは、前後の週に作業を実施する。
- ・年3回程度、お祭りのようなイベントを開催する。（4月ほか）



3月の活動予定（ご案内）

各事業に参加される場合は、お手数ですが申込み先までご連絡をお願いいたします。



【3月】

22日（土） 3部会合同会議

時 間：午後7時から9時まで（要申込み、3月19日までに事務局へ）
場 所：富士見公民館 2階 和室（住所：双柳1-16 市役所別館北側）
内 容：谷津田の再生・活用、全国雑木林会議について ほか

23日（日） 天覧山谷津の里づくりプロジェクト・現地作業

時 間：午前9時30分（集合）～正午頃まで ※雨天中止 要申込み
集合場所：市民会館北側 中央公園トイレ付近集合後、みんなで現地へ行きます。
内 容：谷津田の作業（水路・あぜ道づくり、ため池づくりなどを行います。）
持ち物：軍手（滑り止め付き）、タオル、飲み物、ジョレン（持っている人）
服 装：長靴、作業できる（汚れてもいい）服装 ※長靴は必携！
その他：19日迄に電話、ファクス、Eメール等で事務局へお申込みください。

26日（水） 地球環境部会・森のようちえん 森づくり事業協力

時 間：午前9時30分（現地集合）～11時30分（解散） ※雨天中止
場 所：美杉台公園東側緑地・森のようちえん（大鵬薬品工業の北側）
内 容：苗づくり、ほ場整備等の作業を行います。
その他：申込み、お問合せは24日までに事務局へ

本格的な山林作業とは違い、美杉台にある森林の簡単な作業です。お気軽にご参加ください。

★☆☆ 会報や谷津田作業等を市のホームページで公開しています。 ★☆☆

市のホームページ内に、はんのう市民環境会議に関する情報を公開しています。印刷した会報では分かりにくい写真やイラストを、ぜひ、ホームページでご覧ください。

飯能市ホームページ → インデックスの“計画・まちづくり” → 環境基本計画 → はんのう市民環境会議 に掲載しています。

★編集後記★ 昨年12月に実施しました「エコライフDAY2007」には、別紙ご案内のとおり前回は大幅に上回る約5千人の方々にご参加いただきました。今回も市内の小学5年生、中学2年生とご家族の皆さまにもご参加をお願いし、家族団らんを通して“エコロジーライフ”に挑戦していただきました。

この「教室を離れた環境学習」に対して、子ども達から数多くの感想が寄せられました。“地球温暖化”について言葉では理解していても行動に至らないという子どもがほとんどですが、日常生活の中での具体的なCO2削減に興味を感じて、楽しみながら「エコライフチェック」に取り組んでいただきました。これを契機として、子ども達のエコライフに対する関心の更なる高まりを望みたいと思います。

昨年12月、インドネシアで開催された国連の「温暖化防止バリ会議（COP13）」や1月にスイスで開かれた「ダボス会議（世界経済フォーラム総会）」では、日本など先進諸国に対し2020年までに、温暖化ガス排出量を1990年比で25～40%削減するよう要望されています。また、7月に開催される「北海道洞爺湖サミット」の最大のテーマは“気候変動問題”といわれており、温暖化対策の新たな枠組みづくりと、そのリーダーシップを期待したいと思います。（広報委員長：伊藤知夫）

はんのう市民環境会議事務局 飯能市環境部環境緑水課

住所 〒357-8501 飯能市大字双柳1-1
電話 042 (973) 2111 (内線702) FAX 042 (971) 2393
Eメール kankyo@city.hanno.saitama.jp



会報 エコネットはんのう

編集・発行／はんのう市民環境会議

平成20年度定期総会を開催

6月1日（日）に市民会館小ホールを会場に、平成20年度定期総会が、沢辺飯能市長、大久保市議会副議長を来賓に迎え、開催されました。

総会では、平成19年度の事業報告、収支決算の承認に続き、役員の改選として14名の方が再任され、4名の方が新たに選出されました。

また、事業計画案、収支予算案を審議し、全ての議案について原案どおり承認されました。

会場のホワイエに展示コーナーを設け、天覧山谷津の里づくりプロジェクト事業や、各部会、NPO法人天覧山・多峯主山の自然を守る会の活動についてなどのパネル展示を行ないました。



○役員の改選により次のとおり役員が選出されました

- ・運営委員 18名（敬称略）

会長 木川 一男（市民） 副会長 伊藤 知夫（市民） “ 井上 幸蔵（飯能市自治会連合会） 委員 高沖 義則（市民） 南林さえ子（駿河台大学） 小久保雅章（飯能青年会議所） 小池 昇（西川広域森林組合） 浅野 正敏（NPO 法人天覧山・多峯主山の自然を守る会） 鵜田 節男（飯能市合併処理浄化槽組合） 齋藤 実（有飯能清掃センター） 伊藤 博（株丸広百貨店飯能店） 中村 和久（株ニッソー冷熱製作所）	田中 聡憲（市民） 沼崎 修一（飯能商工会議所） 山崎 英夫（飯能市商店街連盟） 斉藤 和重（飯能市農業青年会議所） 内海 和夫（新電元工業(株)） 市川 光一（株椿本チエイン）
---	--
- ・監査 2名

早瀬あかね（市民）	間辺 元幸（市民）
-----------	-----------

○事業計画・予算のあらましをお知らせします

（1）事業計画

本会は発足以来、5年目となります。これまで現状の把握から、行動を起こし、活動の環を広げてきました。各分野で事業を積極的に展開していくべく、今年度のテーマを「活動を実践につなげよう」としました。他団体等との連携を深め、情報交換や交流を活発に進めていきたいと思ひます。

本会の今後の事業は、天覧山谷津の里づくり・各部会の活動のほか、情報提供として活動を積極的にPRし会員の拡大を図るとともに、会報を定期的に発行し、多くの方に活動状況の報告やイベントにご参加いただけるよう努めていきます。

（2）収支予算

今年度の収支予算を1,056千円とし、天覧山谷津の里づくりプロジェクト事業や部会活動、会報の発行、イベント等を開催します。

(3) 天覧山谷津の里づくりプロジェクト

飯能市森林文化都市宣言推進事業計画に基づき、市民、事業者、行政の協働による取り組みとして「谷津田の再生・活用」の事業に取り組めます。

- ①プロジェクト会議の開催 ②毎月1回定例作業（第4日曜日）
- ③里山復活祭の開催（2～3回） ④3部会合同会議との連携
- ⑤その他谷津田再生・活用と自然環境保全に関する事業

定例作業は、毎月第4日曜日の午前9時30分から約2時間行っています。（雨天中止）
どなたでも参加できます。ぜひご参加ください。

(4) 各部会の活動計画

各部会の平成20年度における活動内容をご紹介します。

会員の皆さんは、どの部会の活動にも参加できます。皆さんのご参加をお待ちしています。

《自然環境部会》

自然環境部会では、次の事業に取り組めます。

- ①毎月1回の定例会議（3部会合同会議）の開催
（原則、第4土曜日、夜7～9時、富士見公民館で開催します）
- ②天覧山谷津の里づくりプロジェクトへの協力と提案
- ③天覧山・多峯主山一帯の保全計画提案
- ④飯能市の自然環境マップづくり
- ⑤自然観察会、自然環境講座の開催 ほか



《地球環境部会》

地球環境部会では、「苗づくり3年計画」が3年目になります。山より採取した種子を苗木として育て、市民の協力で地球に植林する「緑のダム運動」につなげられる活動を推進します。今まで活動してきた植生分布調査から圃場管理は継続して行います。また、昨年に続き、育苗した苗木のポット配布を予定しています。

なお、この活動は、子ども家庭課の「森のようちえん森づくりの会」との協働により活動しています。

《生活環境部会》

生活環境部会では、危機的な状況に置かれている地球環境の保全のため、小さなことでも、一人ひとりが日々の生活を見直し、環境に配慮した行動を進め、環境に与える負荷が低減できればよいと思います。

- ①他団体との共催によるキャンドルナイトの実施
- ②飯能市民の環境に対するモラルの高揚を図る
不法投棄、ポイ捨ての問題
- ③将来を担う青少年への環境問題の啓蒙

また、生活環境部会では、NPO法人情熱塾、(社)飯能青年会議所と共催によりキャンドルナイト2008（七夕）を行います。

7月6日（日）19：00～21：00 会場：飯能河原

電気を消してスローな夜を過ごし、環境について考えましょう。

※飯能市民会館駐車場を使用することができます。気をつけてお越しください。

部会等活動報告（3月～6月）

《自然環境部会》

○自然観察会 4月13日（日）

地球環境部会と合同により、元駿河台大学教授で野鳥に詳しい内田康夫氏にガイド役をお願いして、山桜満開の天覧山・多峯主山周辺で里山の自然を満喫しました。

○自然観察会「緑の中を歩こう」 5月11日（日）

雨天のため中止となりましたが、雨の中集まった数名で天覧山谷津まで行きました。

○自然観察会「ホタル舞う天覧山谷津の夕べ」 6月29日（日）

雨模様で参加者6名でしたが、天覧入りに20数頭のゲンジボタル（ヘイケボタルは1頭）がみられました。

《地球環境部会》

○森のようちえん森づくり事業

3月26日（水）、4月23日（水）、5月21日（水）、6月25日（水）

子ども家庭課の「森のようちえん森づくり事業」に協働で腐葉土づくり、ポット苗づくり、草木の名前つけ作業、草刈り作業などを行いました。

6月15日（日）

食べられる野草の採取と竹の子掘り作業をして、参加者で調理して食べるイベントを開催しました。

《3部会合同会議》

原則、毎月第4土曜日、夜7～9時、富士見公民館で開催し、各部会の情報や取り組みについて、意見交換を行なっています。どなたでも参加できます。ぜひご参加ください。

○3月22日、4月26日、5月24日（いずれも土曜日、午後7時から9時）

- ・自然環境部会では、天覧山谷津の里づくりの経過報告、全国雑木林会議の実施予定の説明、講演会の開催予定について報告がありました。
- ・地球環境部会では、森のようちえんで実施しているポット苗づくり事業の報告がありました。
- ・全体として、桜の森計画についての話し合いや環境基本計画改訂版（素案）、環境基本条例制定について討議しました。

○6月29日（日）午後3時45分から5時まで

- ・天覧山周辺の整備計画、全国雑木林会議などについて話し合いました。

《全体事業》

○天覧山谷津の里づくりプロジェクト

3月23日（日）、6月22日（日）は水路づくりや草刈り作業を行いました。

4月27日（日）は、「第2回里山復活祭」を開催し、水路づくりや草刈り作業終了後、てんたの会、木楽会の方の調理により竹の子ご飯、キノコ汁を参加者全員でいただきました。

○飯能新緑ツーデーマーチ 5月17日（土）、18日（日）の2日間

はんのう市民環境会議がクリーンウオークのブースを担当し、中学生ボランティアと一緒にウォーカーへごみ袋などの配布を行ないました。



○環境映画会「不都合な真実」上映 6月1日(日) 市民会館小ホール

6月の環境月間事業として、映画「不都合な真実」を上映しました。今年は、地球温暖化防止のために京都議定書で定めた温室効果ガス排出量6%削減の約束期間のスタートの年であることなどから、地球温暖化を題材にしたドキュメンタリー映画を取り上げたところ、約210人の方が鑑賞されました。

○谷津田の見学会 6月1日(日)

映画会終了後、天覧山谷津の里づくりプロジェクトの作業現場を43人の方が見学しました。

○まちなか清掃活動 6月15日(日) 午前9時から

本会会員のほか市民、環境衛生推進協議会会員、市役所職員が市役所に集合し、飯能駅、東飯能駅周辺市街地のポイ捨てごみの収集作業に汗を流しました。総勢110人により、50kgのごみが集まりました。

○事業所による清掃活動

事業所周辺の清掃活動を次の事業所等が実施しました。

(敬称略、順不同)

- ・(株)椿本チエイン ・駿河台大学 ・(有)飯能清掃センター ・新電元工業(株)
- ・JFEミネラル(株)武蔵野鋳業所 ・江原エンジニアリングサービス(株)

○講演会 6月29日(日)

7大陸最高峰登頂者の大山光一氏を迎え、「私の自然観、これからの人と自然との交わりについて」などの講演を行い、45人の方が参加されました。

○不法投棄防止活動

6月中、次の事業所のご協力により「不法投棄は許しません」のボディパネルを車庫に貼付して、防止活動の啓発を行いました。

(敬称略、順不同)

- ・国際興業(株)飯能営業所 ・西武バス(株)飯能営業所
- ・(株)椿本チエイン ・(有)飯能清掃センター
- ・飯能整形外科病院 ・新電元工業(株)
- ・ときたサービス(有) ・(株)東ア
- ・(株)武蔵野コンピューターコンサルタント
- ・飯能市役所



編集後記： 北海道洞爺湖サミットが間近に迫りましたが、今回は環境サミットともいわれ「地球温暖化」の防止に対する、新たな枠組みづくりが重要課題の一つであります。

政府はサミット初日の7月7日を「クールアースデー」と定め、身近にある“あかり”から地球温暖化に結びつくCO₂の削減を目指して「ライトダウンキャンペーン」の展開を呼びかけています。これは、“あかり”を通じて、日常生活の中で「省資源」「省エネルギー」や「エネルギー変換」などの取り組みを促し、地球温暖化防止につなげる狙いがあります。この呼びかけに対し、全国各地・各機関において「七夕ライトダウン」や「キャンドルナイト」が計画されていますが、この動きは国内のみに止まらず、中国や韓国・オーストラリアなどでも「ライトダウン」の計画が進められております。

会員の皆さまにはご案内のとおり、7月6日には飯能河原で「キャンドルナイト 2008」がまた、7月7日には市庁舎をはじめ各種施設の「ライトダウン」が予定されています。

ご家庭でも七夕の夜は、ライトダウンをしてキャンドルライトの中で、美しい天の川を眺めながら、みんなで考えてみましょう 地球のあしたを。(広報委員長：伊藤知夫)



はんのう市民環境会議事務局

飯能市環境部環境緑水課

住所 〒357-8501 飯能市双柳1-1

電話 042(973)2111(内線701)

FAX 042(971)2393

Eメール kankyo@city.hanno.saitama.jp

会報 エコネットはんのう

編集・発行／はんのう市民環境会議

部会等活動報告（7月～10月）

《自然環境部会》

7月20日（日） 自然観察会

「国蝶オオムラサキを見よう」の巻

飯能河原、緑のトラスト保全4号地周辺にて国蝶オオムラサキを探しながらゆっくりと散策しました。残念ながらこの日はオオムラサキを観ることができませんでした。参加者8人



8月10日（日） 自然観察会

「名栗川を歩いてみよう」の巻

岩根橋から遡りながら吾妻峡まで、清流名栗川の水生生物を観察しながら散策しました。毎年見られるイワタバコも可憐に咲いていました。参加者13人



9月14日（日） 自然観察会

「秋の風を感じよう」の巻

天覧山谷津ではワレモコウ、ナンバンギセルなど秋の草花が咲き始めていました。参加者19人

《生活環境部会》

7月6日（日）キャンドルナイト
2008（七夕）

天候が心配される中、約150個の木製燭台や園児などが描いた紙コップを使うなど、総数約20,000個の紙コップキャンドルを飯能河原にならべ、HANNOUの文字や地球の形等が浮かび上がりました。また、園児の描いた灯籠を流しました。途中から雨が降り出しましたが、地球温暖化防止のPRとなりました。



《地球環境部会》

いずれも子ども家庭課の森のようちえん事業と共催で実施しました。

7月23日（水） 圃場づくり作業

森のようちえんの一角を耕作し、黒土を用意して苗床づくりを実施しました。

7月26日（土） 虫探し教室

虫、セミの抜け殻探しや観察会を行いました。また、くるみやあけびなどをポット苗に移し変える作業を行いました。



8月27日（水） ポット苗づくり

繁茂した夏草の刈り込みを行いました。

9月24日（水） 圃場づくり作業

下草刈り及び園内の残したい草木の選別作業を実施しました。

10月22日（水） ポット苗づくり

生活祭に向けて準備してきたポット苗を、配布用に整えました。また、古枝の枝下ろしや下草刈りを実施しました。

《3部会合同会議》

いずれも土曜日の午後7時から9時まで行いました。

7月26日

天覧山谷津の里づくりプロジェクトの今後の進め方やイベントの日程、天覧山・多峯主山周辺景観緑地の保全・活用、全国雑木林会議などについて話し合いました。

8月23日

天覧山谷津の里づくりプロジェクトについて、今後の方向性を検討しました。また、天覧山・多峯主山周辺景観緑地の保全・活用について協議しました。全国雑木林会議について、内容の説明と協力の依頼がありました。

9月27日

天覧山谷津の里づくりプロジェクト、天覧山・多峯主山周辺景観緑地の保全・活用、全国雑木林会議について、いろいろな意見が出されました。

10月25日

地球温暖化防止活動、天覧山・多峯主山周辺景観緑地の保全・活用、天覧山谷津の里づくりプロジェクトについて話し合いました。10月17、18、19日に開催された全国雑木林会議の報告がありました。

《地球温暖化防止活動推進員》

埼玉県地球温暖化防止活動推進員につきまして、はんのう市民環境会議会員の中から、次の5名の方が県から委嘱されました。（敬称略）

- ・印南 幸雄（美杉台）
- ・斉藤 浩（八幡町）
- ・根立 範子（仲 町）
- ・肱岡 義人（飯 能）
- ・矢島 和一（山手町）

地球温暖化防止の勉強会・講演会開催など、ご相談ください。（事務局へ）

《天覧山谷津の里づくりプロジェクト》

7月27日（日）

猛暑のなか、19人が参加して、溜め池づくり、草刈りを行いました。



9月28日（日）

19人の参加があり、溜め池づくりが、ほぼ完成いたしました。



8月24日（日）

雨天のため中止になりました。☔

《第59回 埼玉県植樹祭》 〔植樹班として参加〕

10月25日（土）

名栗湖周辺で開催され、埼玉県知事・飯能市長をはじめ、1,300人が集まりました。会場では式典、記念の植樹、地元特産品の販売などが行なわれました。



《第16回 全国雑木林会議》 〔協力団体として参加〕

10月26日（日）

時折小雨が降りましたが、水路づくりを行ないました。参加者は12人

10月17・18・19日（金～日）

駿河台大学をメイン会場として、エコツアー、分科会などを開催し、延べ989人の参加がありました。



★編集後記★

日一日と寒さが増し、ご家庭では暖房器具の準備が進められている頃と存じます。

最近暖房器具の一つとして「薪ストーブ」や「ペレットストーブ」が脚光を浴びてきました。これはガスや灯油など化石燃料高騰の影響もありますが、CO₂削減をめざした環境意識の高まりによるものであると思います。この傾向が更に強まって、飯能の豊かな森林資源の活用と地場産業の振興に繋がることを期待したいと思います。

さて、別紙ご案内のとおり11月23日に、第3回「里山復活祭」が開催されます。丁度5年前の11月24日に“はんのう市民環境会議”が設立されましたので、設立5周年の記念行事に相当いたします。

皆さまのご参加をお待ちしております。

（広報委員長：伊藤知夫）

11月、12月の活動予定 (ご案内)

各事業に参加される場合は、お手数ですが申込み先までご連絡をお願いいたします。

【11月】

19日(水) 地球環境部会 森のようちえん苗づくりプロジェクト

時 間：午前9時30分～11時30分

場 所：美杉台公園東側緑地（大鵬薬品工業の北側）

内 容：ポット苗づくり（森のようちえん事業と協働）

その他：申込み不要（直接現地へ）

問合せ等は、市役所子ども家庭課（内線 151）まで

22日(土) 3部会合同会議

時 間：午後7時から9時まで（要申込み、11月20日までに事務局へ）

場 所：富士見公民館 和室

内 容：天覧山・多峯主山周辺景観緑地の保全・活用、天覧山谷津の里づくりプロジェクトほか

23日(日) 第3回 里山復活祭「谷津田の整備を進めよう！」

時 間：午前9時（集合）から午後0時30分 ※雨天時は24日へ順延

場 所：市民会館北側 中央公園トイレ付近に集合後、みんなで現地へ

その他：詳細は、別紙『第3回 里山復活祭』をご覧ください。

24日(月) 地球環境部会 『生活祭』 ポット苗の配布

「森のようちえん 森づくり事業協力」

時 間：午前10時から午後2時30分

場 所：市役所駐車場

内 容：はんのう生活祭で、ポット苗を配布します。

24日(月) 生活環境部会 『生活祭』 地球温暖化防止活動の啓発

時 間：午前10時から午後2時30分

場 所：市役所駐車場

内 容：はんのう生活祭で、地球温暖化に関するパネルの展示やゲームを予定しています。

その他：当日お手伝いできる方は事務局までご連絡ください。

【12月】

7日(日) エコライフ DAY2008 ※日程変更の場合あり

小・中学生、事業所を対象に行う予定です。

14日(日) 地球環境部会 小鳥の巣箱作り 「森のようちえん 森づくり事業協力」

時 間：午前9時から12時

場 所：美杉台公民館 集会室

その他：詳細は11月15日号広報をご覧ください。

申込み：子ども家庭課（内線 151）へ



※12月の3部会合同会議はお休みです。

はんのう市民環境会議事務局

住所 〒357-8501 飯能市双柳1-1

電話 042 (973) 2111 (内線 702)

Eメール kankyo@city.hanno.saitama.jp

飯能市環境部環境緑水課

FAX 042 (971) 2393

会報 エコネットはんのう

編集・発行／はんのう市民環境会議

はんのう市民環境会議の会報などを市のホームページで見ることができます。

市のホームページに、はんのう市民環境会議に関する情報を公開しています。会報では分かりにくい写真を、ぜひ、ホームページでご覧ください。

飯能市ホームページ → インデックスの“計画・まちづくり” → 環境基本計画 →
はんのう市民環境会議（エコネットはんのう）に掲載しています。

部会等活動報告（11月～2月）

《エコライフデー2008（冬）》

12月7日（日）を実施日として行なったエコライフデーは、小・中学校の教職員、児童・生徒や事業所・団体等の協力により6,048人の参加がありました。

《自然環境部会》

2月8日（日） 自然観察会「冬の里山でバードウォッチング」の巻

駿河台大学名誉教授の内田康夫先生を招き、天覧山周辺の冬の里山を散策しました。ヤマガラ、コゲラ、カシラダカ、アオジ、シメなどが観察できました。参加者は24名でした。



《生活環境部会》

11月24（月・休日）

はんのう生活祭において、地球温暖化防止活動推進員の方々とともに、ブースやステージ上で地球温暖化防止のPRを行ないました。



《地球環境部会》

11月19日、1月28日、2月25日

いずれも水曜日の午前9時半から11時半まで《森のようちえん 森づくり事業協力》
ポット苗づくり、間伐材でベンチを作りました。

11月24日（月・休日）

はんのう生活祭で、ポット苗を配布しました。

12月14日（日）小鳥の巣箱づくり

美杉台公民館で、巣箱づくりを行ないました。参加者は24名でした。

2月8日（日）巣箱掛け

作った巣箱を、森のようちえんに設置しました。また、マダケで竹ぼうきを作りました。参加者は16名でした。



《3部会合同会議》

11月22日、1月24日、2月28日 いずれも土曜日の午後7時から9時まで

天覧山・多峯主山周辺景観緑地の保全・活用、天覧山谷津の里づくりの進め方、はんのう生活祭での活動、雛飾りお宝展などについて話し合いがありました。

《天覧山谷津の里づくりプロジェクト》

11月23日（日）

第3回 里山復活祭「谷津田の整備を進めよう！」を開催しました。作業終了後には、フォークデュオ・翔一の歌と演奏を聴きながらムカゴご飯とキノコ汁を食しました。参加者は40名でした。※作業状況は市ホームページの飯能ビデオニュースをご覧ください。

1月18日（日）

日の当たりやすい場所を、試行的に掘り起こしました。参加者は17名でした。

2月22日（日）

掘り起こした田に水を張りました。参加者は28名でした。

次回は、あぜ道づくりや田を均す作業などを予定しています。



H20. 1. 20作業状況



H21. 2. 22作業状況

3月・4月の活動予定（ご案内）

各事業に参加される場合は、お手数ですが申込み先まで、ご連絡をお願いいたします。

【3月】

22日（日） 天覧山谷津の里づくりプロジェクト・現地作業

時 間：午前9時30分（集合）～正午頃 ※雨天中止

※要申込み、3月18日までに事務局へ

集合場所：市民会館北側 中央公園トイレ付近

内 容：谷津田の作業（あぜ道・田んぼづくり ほか）

持ち物：長靴、作業できる（汚れてもいい）服装、軍手、飲み物等

※長靴は必携！

25日（水） 地球環境部会・森のようちえん 森づくり事業協力

時 間：午前9時30分（現地集合）～11時30分（解散） ※雨天中止

場 所：森のようちえん（大鵬薬品工業の北側）

内 容：園内の整備等の作業を行います。

その他：申込み、お問合せは子ども家庭課（内線151）まで

28日（土） 3部会合同会議

時 間：午後7時から9時まで（要申込み、3月26日までに事務局へ）

場 所：富士見公民館 2階 和室

内 容：天覧山・多峯主山周辺景観緑地の保全・活用について

天覧山谷津の里づくりプロジェクトについて ほか

【4月】

18日（土） 地球環境部会 「野草教室」 森のようちえん 森づくり事業協力

時 間：午前9時～午後1時 ※雨天の場合は5月16日（土）

場 所：森のようちえん（大鵬薬品工業の北側）

内 容：食べられる木の芽や野草の採取、タケノコ掘りなど

参加費：200円（材料費・保険料）

持ち物：おむすび（主食）、飲み物、お皿、おはし（野草のてんぷらを試食します）

申込み：4月15日（水）までに子ども家庭課（内線151）まで

19日（日） 自然環境部会 「自然観察会」

時 間：午前9時～正午頃 ※雨天中止

集合場所：トラスト第4号地（稲荷町）蜻蛉亭下流側

内 容：「飯能河原トラスト保全地の自然観察会＋タケノコ掘り」

・ごみを拾いながらトラスト保全地の自然に触れあいましょう！！

・トラスト保全地のタケノコを掘りましょう！！

持ち物：持ち帰り用袋、持っている人は小さなスコップ、軍手、飲み物等

参加費：200円（保険代）

問合せ：トラスト協会 大石支部長(090-3878-8726)まで

その他：駐車場はありません。自動車は市民会館駐車場を利用してください。

タケノコは持ち帰れますが、参加者多数の場合は抽選になります。



22日(水) 地球環境部会・森のようちえん 森づくり事業協力

時 間：午前9時30分（現地集合）～11時30分（解散） ※雨天中止

場 所：森のようちえん（大鵬薬品工業の北側）

内 容：ポット苗の管理などの作業を行います。

その他：申込み、お問合せは子ども家庭課（内線151）まで

25日(土) 3部会合同会議

時 間：午後7時から9時まで（要申込み、4月23日までに事務局へ）

場 所：富士見公民館 2階 和室

内 容：天覧山・多峯主山周辺景観緑地の保全・活用について
天覧山谷津の里づくりプロジェクトについて ほか

29日(祝) 天覧山谷津の里づくりプロジェクト・現地作業

時 間：午前9時30分（集合）～正午頃 ※雨天中止

※要申込み、4月24日までに事務局へ

集合場所：市民会館北側 中央公園トイレ付近

内 容：谷津田の作業（あぜ道・田んぼづくり ほか） ※長靴は必携！

持ち物：長靴、作業できる（汚れてもいい）服装、軍手、飲み物等

「天覧山・多峯主山保全活用のための懇話会」について

浅野正敏・鴫田節男

昨年、西武鉄道が天覧山・多峯主山エリア内の自社所有地について、社会貢献活動として良好な緑地保全活用をしていく決定をしました。保全活用にあたっては、「当エリアを一体としてとらえ、市民と西武鉄道、行政が話し合い、共通理解をつくりながらすすめることが良い結果を生む」という考えから、昨秋3者による懇話会をスタートしました。メンバーは、市民環境会議（浅野、鴫田）をはじめ、自主的に天覧山周辺の手入れ作業を行っている市民グループ、地元本郷自治会及びNPO法人天覧山・多峯主山の自然を守る会、西武鉄道、飯能市（環境緑水課）の12名です。

懇話会の内容は、「里山として手入れをしていく」というコンセプトのもと、方法論については現在市で実施している生態系調査などを基礎にして話し合いを続けていくことで一致しています。具体的な話はこれからになりますが、多くの方に親しまれている当エリアの保全活用の方向性について、良いスタートが切れたと感じています。

懇話会の報告や皆さんのご意見を聞かせていただくために、第4土曜日夜の3部会合同会議にどうぞご出席ください。

★編集後記★ 今年はタンポポや梅の開花が早く、虫たちも啓蟄を待ち望んでいることと思います。花粉症の方々には鬱陶しい時期ですが、日一日と暖かくなり屋外に出る楽しみが増える時期でもあります。ご案内のとおり3～4月の活動予定は、地元の身近な自然と触れ合うテーマを数多く予定しており、陽春の野山で自然を満喫していただきたいと願っております。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

また、この会報【エコネットはんのう】は、会員の皆さまとの双方向の情報交換誌です。会の活動や会報についてのご意見やご要望などがございましたら、事務局までお寄せください。

（広報委員長：伊藤知夫）

はんのう市民環境会議事務局 飯能市環境部環境緑水課

住所 〒357-8501 飯能市大字双柳1-1 電話 042 (973) 2111（内線702）

FAX 042 (971) 2393

Eメール kankyo@city.hanno.saitama.jp

会報 エコネットはんのう

編集・発行／はんのう市民環境会議

平成21年度定期総会を開催

6月7日（日）に市民会館小ホールを会場に、平成21年度定期総会が、沢辺飯能市長、加涌市議会議長を来賓に迎え、開催されました。

総会では、平成20年度の事業報告、収支決算の承認に続き、役員の一部改選として、3名の方が選出されました。事業計画案、収支予算案を審議し、全ての議案について原案どおり承認されました。

会場のホワイエに展示コーナーを設け、天覧山谷津の里づくりプロジェクト事業や各部会の活動、地球温暖化について等のパネル展示や谷津田の作業状況の映像放映を行いました。

また、会場外では廃てんぷら油の回収を行いました。



〇役員の一部改選により新委員が選出されました

異動等に伴う各団体代表者の一部委員の改選を行ないました。

（敬称略）

新副会長 進藤 良人（飯能市自治会連合会）

新委員 小池 重彦（新電元工業株）

大塚 雅寛（株丸広百貨店飯能店）

〇事業計画・予算のあらましをお知らせします

（１）事業計画

本会は発足以来、6年目となります。これまで、環境に関する現状の把握から始め、行動を起こし、徐々に活動の環を広げ、各分野で事業を積極的に展開してきました。しかし、参加者は多くありません。そこで、今年度のテーマを「活動に参加しよう」とします。他団体等との連携を深め、情報交換や交流を活発に進めます。

本会の今後の事業は、天覧山谷津の里づくり・各部会の活動のほか、定期的な会報・予定表の発行、ホームページの更新、環境映画会会場での展示等により、活動を積極的にPRし会員の拡大を図るとともに、多くの方に部会活動やイベントにご参加いただけるよう努めていきます。

（２）収支予算

今年度の収支予算を1,031千円とし、天覧山谷津の里づくりプロジェクト事業や部会活動、会報の発行、イベント等を開催します。

（３）天覧山谷津の里づくりプロジェクト

飯能市森林文化都市宣言推進事業計画に基づき、市民、事業者、行政の協働による取り組みとして「谷津田の再生・活用」の事業に取り組めます。

- ①プロジェクト会議の開催 ②毎月1回定例作業
- ③里山復活祭の開催（1回） ④3部会合同会議との連携
- ⑤その他谷津田再生・活用と自然環境保全に関する事業

定例作業は、原則、第4日曜日の午前9時30分から約2時間行っています。

（雨天中止）どなたでも参加できます。ぜひご参加ください。

(4) 各部会の活動計画

各部会の平成21年度における活動内容をご紹介します。

会員の皆さんは、どの部会の活動にも参加できます。皆さんのご参加をお待ちしています。

《自然環境部会》

自然環境部会では、次の事業に取り組みます。

- ①毎月1回の定例会議（3部会合同会議）の開催
（原則、第4土曜日、夜7～9時、富士見公民館で開催します）
- ②天覧山谷津の里づくりプロジェクトへの協力と提案
- ③天覧山・多峯主山一帯の保全計画提案
- ④飯能市の自然環境マップづくり
- ⑤自然観察会、自然環境講座の開催 ほか



《地球環境部会》

地球環境部会では、山より採取した種子を苗木として育て、市民の協力で地球に植林する「緑のダム運動」につなげられる活動を継続します。苗木を育てるための栽培地を確保し、移植を本格的に行います。また、昨年に続き、はんのう生活祭にて苗木ポットの配布を予定しています。

なお、この活動は、子ども家庭課の「森のようちえん森づくりの会」と協働事業で、美杉台公園東側緑地「森のようちえん」にて毎月定期的に活動しています。

新たに今年度より、河川の水質汚濁防止の啓蒙活動として、戸建の合併処理浄化槽の説明会を行う予定です。

《生活環境部会》

生活環境部会では、小さなことから一人ひとりが日々の生活を見直し、環境に配慮した行動を進め、それが大きな輪となっていくことで環境に与える負荷が低減できるよう次の事業に取り組みます。

- ①地球温暖化防止活動の実施
地球温暖化防止のPR活動、緑のカーテン事業等
- ②飯能市街の美化の施策
市街地清掃活動
- ②飯能市民の環境に対するモラルの高揚を図る
不法投棄、ポイ捨ての問題
- ③将来を担う青少年への環境問題の啓蒙

編集後記： 前回の会報で、会報や活動予定などをEメールでお届けする「メール配信」をご案内いたしましたところ、早速多くの皆様からお申込みを頂きました。

今回、その記念すべき「第1回のメール配信」を行います。ご承知のとおり、市のホームページから閲覧は可能ですが、今後はメールマガジンのひとつとして、発行の都度ご覧頂くことが出来ます。

また写真やイラストは、すべてカラーで掲載しておりますので、紙面に較べてより臨場感のある会報をご覧いただけます。紙情報に較べて早く、安く、そして環境に優しい「メール配信」の拡大に、ご理解とご協力をお願いいたします。メール配信のお申込みは、常時受付けておりますので、事務局までご連絡下さい。

（広報委員長：伊藤知夫）

部会等活動報告（3月～6月）

《自然環境部会》

○初夏の野鳥と植物観察会 5月10日（日）

シジュウカラ、ヤマガラ、エナガ、メジロ、コゲラ、キビタキ、クロツグミ、ヒヨドリ、ウグイス、コジュケイ、センダイムシクイ、ホオジロといった多くの野鳥が確認出来ました。初夏の草花は、マルバウツギ、ガクウツギ、キンラン、ギンラン、アマドコロ、フタリシズカ等が花を咲かせていました。駿河台大学名誉教授の内田康夫先生による贅沢なガイドを得て、初夏の野鳥と植物をゆっくり観察しながら散策を楽しみました。共催：NPO 法人天覧山・多峯主山の自然を守る会

○天覧山谷津のホタル観察会 6月28日（日）

直前まで大雨のため中止状態でしたが、夜7時を過ぎた頃雨があがりましたので、天覧入りホタルの里へ向かいました。ゲンジホタルとヘイケホタルを20頭以上見ることができ、幻想的なひと時を楽しむことが出来ました。

共催：NPO 法人天覧山・多峯主山の自然を守る会



《地球環境部会》

○森のようちえん森づくり事業

3月11日（水）

しいたけ菌となめこ菌の植え付け、ベンチづくりを行いました。

3月25日（水）、4月22日（水）、5月27日（水）、6月24日（水）

モミジ・ヤブコウジ・マンリョウのポット苗づくり、フクジュソウの植え付け、草刈り作業等を行いました。

4月18日（土） 野草教室

野草の観察・採集と竹の子掘り作業をして、参加者で調理して食べるイベントを開催しました。

《生活環境部会》

○緑のカーテン事業

5月18日に、市役所本庁舎・別館の連絡通路南側にゴーヤの苗を植栽しました。夏場の強い日差しを遮るだけでなく、葉からの蒸散による気化熱によって暑さを和らげることが期待されます。

《3部会合同会議》

原則、毎月第4土曜日、夜7～9時、富士見公民館で開催し、各部会の情報や取り組みについて、意見交換を行っています。どなたでも参加できます。ぜひご参加ください。

○3月28日、4月25日、5月23日、6月27日

（いずれも土曜日、午後7時から9時）

- ・自然環境部会では、天覧山谷津の里づくりの経過報告、全国雑木林会議について報告がありました。
- ・地球環境部会では、森のようちえんで実施しているポット苗づくり事業の報告がありました。
- ・全体として、天覧山・多峯主山保全活用のための懇話会、谷津田再生プロジェクト、外来種の扱い等について討議しました。

《全体事業》

○天覧山谷津の里づくりプロジェクト

3月22日（日）、4月29日（祝）、6月28日（日）はあぜ道・田んぼづくりを行いました。参加者は、3月と4月が28人、6月が31人でした。

5月31日（日）は田植えをしました。参加者は26人でした。



○飯能新緑ツーデーマーチ 5月23日（土）、24日（日）の2日間

はんのう市民環境会議がクリーンウオークのブースを担当し、中学生ボランティアと一緒にウオーカーへごみ袋などの配布を行ないました。



○環境映画会「アース」上映 6月7日（日）市民会館小ホール

6月の環境月間事業として、映画「アース」を上映しました。地球温暖化による生態系への影響が危惧されていることから、今年は、地球上の生命の神秘に迫るドキュメンタリー映画を取り上げました。約250名の方が鑑賞されました。

○まちなか清掃活動 6月21日（日） 雨天のため中止

○事業所による清掃活動

事業所周辺の清掃活動を次の事業所等が実施しました。

（敬称略、順不同）

- ・荏原エンジニアリングサービス(株)
- ・(株)丸広百貨店飯能店
- ・(株)ニットー冷熱製作所
- ・西川広域森林組合
- ・新電元工業(株)
- ・J F E ミネラル(株)武蔵野鉱業所
- ・(有)飯能清掃センター

○不法投棄防止活動

6月中、次の事業所のご協力により「不法投棄は許しません」のボディパネルを車両に貼付して、防止活動の啓発を行いました。

（敬称略、順不同）

- ・国際興業(株)飯能営業所
- ・西武バス(株)飯能営業所
- ・(株)椿本チエイン
- ・(有)飯能清掃センター
- ・ときたサービス(有)
- ・飯能市役所



はんのう市民環境会議事務局

住所 〒357-8501 飯能市双柳1-1

電話 042 (973) 2111 (内線701)

Eメール kankyo@city.hanno.saitama.jp

飯能市環境部環境緑水課

FAX 042 (971) 2393

会報 エコネットはんのう

編集・発行／はんのう市民環境会議

生物多様性について

地球上には 3,000 万種とも推定される多様な生きものがいて、お互いにつながりあい、支えあって生きています。もちろん私たち人間もそのつながりの一部です。生物多様性のたくさんの恵みが、私たち人間の「いのち」と「暮らし」を支えています。

具体的には、3つのレベルの多様性があります。

①生態系の多様性

森林、里地里山、河川、湿原などいろいろなタイプの自然があります。

②種の多様性

動植物から細菌などの微生物にいたるまで、いろいろな生き物がいます。

③遺伝子の多様性

生き物は、同じ種であっても個体間や生息する地域により、体の形や行動などの特徴に少しずつ違いがあります。



自然環境調査で多くの種が確認された
天覧入り谷津田

例えば、ゲンジボタルの発光周期は、中部山岳地帯より東側では 4 秒、西側では 2 秒となっています。



◆生物多様性を脅かすもの

①人間の活動や開発

②里地里山などでの人間の働きかけの減少

里山では、人の手が入ることによって維持されていた環境に暮らしてきた種が絶滅の危機にさらされています。

③外来生物（詳細は、次号で取り上げます）

④地球温暖化

今後、地球温暖化が進むと、多くの種で絶滅の危機が高まると予測されています。



◆生物多様性を守るために

天覧山谷津の里づくりプロジェクトでは、たくさんの生き物が暮らす、かつての里山の原風景を復活させるため、ため池や田んぼといった水辺環境の創出、周辺の雑木林の手入れなどを行っています。

11 月 22 日（日）にイベントを開催しますので、ぜひご参加ください。詳細は同封の別紙『第4回 里山復活祭』をご覧ください。

7月～10月の活動報告

《生活環境部会》

緑のカーテン事業を実施しました。

生活環境部会では、市役所連絡通路にニガウリとナタマメを植栽しました。特別な手入れはしませんでした。肥料とたっぷりの水だけでどんどん成長し、夏の間、葉が通路を覆って涼しくしてくれました。来年の夏は、緑のカーテンに挑戦してみませんか。

◆緑のカーテンの効果

直射日光の遮断や葉の蒸散作用によって
周辺の温度の上昇を抑えてくれる



エアコンの使用を控えても涼しく過ごせる



温室効果ガスの削減や電気代の節約につながる

緑のカーテンがある所とない所の温度差
(市役所連絡通路の場合)

晴天時…平均3℃

曇天時…平均1.6℃



◆緑のカーテンになる植物

実が収穫できるもの…ニガウリ、ヘチマ、キュウリ、インゲン、カボチャ、ナタマメ等
においを楽しめるもの…カロライナジャスミン、ハゴロモジャスミン等



ナタマメ



ニガウリ

◆植える時期(1年草の場合)

種…3月末から4月末頃

苗…4月から5月下旬頃

来年は、ニガウリの種または苗を配布する予定です。

《生活環境部会》

■10月31日(土) まちなか清掃活動
市役所互助会と合同により、飯能駅と東飯能駅周辺でポイ捨てごみを収集しました。93名が参加し、30kgのごみが集まりました。

事業所として、(株)ニッソー冷熱製作所、(有)飯能清掃センターから参加していただきました。



《地球環境部会》

子ども家庭課「森のようちえん事業」共催
■7月11日(土)

イベント「夏の虫さがし教室」

虫や植物の観察をしたり、カブトムシやセミの抜け殻探しをしたり、危険な植物について学んだりしました。49名参加。



■7月22日と9月30日が雨天中止となったため、8月26日(水)、10月14日(水)、10月28日(水)に実施しました。

はんのう生活祭で配布するポット苗の準備や園内整備をしました。

《3部会合同会議》

■7月25日(土)、8月22日(土)、
9月26日(土)、10月24日(土)

- 天覧山一帯の調査報告について
 - ・シンポジウム開催の提案
 - ・本郷地区間伐予定地内の伐採
 - ・多峯主山山頂展望確保のための伐採及びトイレ設置の有無 など

- 谷津田再生プロジェクトについて
 - ・稲の食害
 - ・周辺の森林整備
 - ・レンゲ畑の案 など

- その他
 - ・焼却施設の建替え など

《天覧山谷津の里づくりプロジェクト》

■7月20日(月・祝)

猛暑の中、21名が参加して、田んぼづくりや草刈りをしました。



■8月23日(日)、9月27日(日)

水路整備と草刈りをしました。

8月14名、9月24名参加。

■10月25日(日)は雨天のため中止



《自然環境部会》

■7月19日(日) 自然観察会 「国蝶オオムラサキを見よう」の巻

曇り空の上、樹液の出が悪く、ゴマダラチョウが1頭林の中を飛び交っているのを見ただけで、残念ながらオオムラサキは見られませんでした。22名参加。



■8月9日(日) 自然観察会 「名栗川を歩いてみよう」の巻

入間川(名栗川)を岩根橋から吾妻峡までさかのぼる予定でしたが、水量が多く危険なため、飯能河原から川下への観察に変更しました。いつも吾妻峡までで見られるものをほとんど見る事ができました。

●魚類

ウグイ、ジュズカケハゼ、ホトケドジョウ、シマドジョウ、カジカ、ギバチ

●水生昆虫

ヤゴ(コオニヤンマ、オニヤンマ)、ミズスマシ、ヒラタカワゲラ、ヘビトンボ幼虫

●その他

スジエビ、カジカガエルのオタマジャクシ

●水上で見られたもの

タマアジサイ、イワタバコ、ヤブラン、ハグロトンボ、カジカガエル



カジカ

■9月13日(日) 環境保全体験

東谷津の湿地保全(草刈りや水路整備)作業とニホンミツバチ飼育の体験を行いました。15名参加。

編集後記：

“地球のいのち、つないでいこう”

これは来年日本で開催される「生物多様性条約第10回締約国会議」のスローガンです。国連は2010年を「国際生物多様性年」と定め、その会議が来年10月に名古屋市で開催されます。

地球上には多様な生態系の中で、さまざまな種類の生き物が生息していますが、人間もその一員に過ぎず、地球によって生かされている存在であるといえます。しかし、いま人間は、自らの手で自分達を危機的な状況に陥らせています。全ての命を出来る限り守り、多様な生き物との共生を図るのが「生物多様性」の基本であり、その恵みを受け続けていける活動が、いま強く求められています。

今回は、この「生物多様性の保全」をエコトピックスとして取り上げました。人と自然の共生を目指して、地球のいのちを未来につなげていきたいと思います。

(広報委員長：伊藤知夫)

会報 エコネットはんのう

編集・発行／はんのう市民環境会議

外来生物について

外来生物とは？

もともとその地域にいなかったのに、人間の活動によって他の地域から持ち込まれた生物のことを指します。

外来生物は生態系にどんな影響を及ぼす恐れがある？

- ① 地域の固有の生物である「在来生物」を捕食したり、在来生物の生息場所等を奪い取る。
- ② 寄生生物やウイルス等が持ち込まれ、対抗する手段のない在来生物にダメージを与える。
- ③ 近縁の在来生物と交配し、長い時間をかけて育まれた在来生物の遺伝的な独自性が失われる。

特定外来生物とは？

もともと日本にいなかった外来生物のうち、生態系などに被害を及ぼすものは「特定外来生物」として指定され、飼育・栽培・保管・運搬・販売・譲渡・輸入が原則として禁止されています。

特定外来生物の種数

分 類 群	種数	例
哺乳類	20	アライグマ、クリハラリス、フクロギツネ など
鳥 類	4	ガビチョウ、ソウシチョウ など
爬虫類	13	カミツキガメ、グリーンアノール など
両生類	11	オオヒキガエル、ウシガエル など
魚 類	13	コクチバス、オオクチバス、ブルーギル など
クモ・サソリ類	5	ハイイロゴケグモ、セアカゴケグモ など
甲 殻 類	5	ウチダザリガニ、ラスティークレイフィッシュ など
昆虫類	8	セイヨウオオマルハナバチ、ヒアリ など
軟体動物等	5	カワホトトギスガイ、ヤマヒタチオビ など
植 物	12	オオキンケイギク、アレチウリ など

身近な特定外来生物

飯能のごく身近な所でも見られる「特定外来生物」のうち、3つを紹介します。

その① アライグマ



原産地：北アメリカ

- 特徴：
- ・体重 4～10 数 kg。
 - ・頭胴長 約 40～60cm。
 - ・尾長 約 20～40cm。
 - ・白色の顔に黒色系のマスクを着けたような外見で 4～7 の輪模様を尾に持つ。

取り扱い：むやみに手を出すと、かみつかれたりして大変危険です。見つけたら、市役所環境緑水課へ連絡してください。

その② コクチバス

原産地：北アメリカ

特徴：

- ・全長 30～50cm。

- ・オオクチバスに似るが、口は小さくて上あごの後端が眼の中央下まで達しない（オオクチバスでは上あごの後端が眼の後端の直下よりも後方に達する）。
- ・湖沼や河川の中下流域に生息。
- ・低水温に対する耐性が強く、また流水域にも適応できる。



写真提供 水産研究所

取り扱い：埼玉県内水面漁場管理委員会では、コクチバスのリリース（採捕したその場に戻すこと）禁止の委員会指示を行っています。また、コクチバス、オオクチバス、ブルーギルの移植（他の水域へ移動させること）については、法律で禁止されています。

その③ オオキンケイギク



原産地：北アメリカ

- 特徴：
- ・キク科の多年生草本。
 - ・高さ 0.3～0.7m 程度。
 - ・路傍、河川敷、線路際、海岸などに生育。
 - ・開花期は5～7月。

取り扱い：①新たに植えたり、植え替えたり、種をまいたりすることはできません。
②鉢植えや花壇で育てることは栽培となるためできません。

③自然に生えてきたものであっても、水やりをしたり、手入れをしたりするのは栽培にあたります。（放置している限りは栽培にはあたりません。）

④管理下にある敷地内で「自然に生えている」こと自体は違法状態とはいえませんが、分布拡大防止の観点から、できるだけ駆除することが望ましいです。

11月～2月の活動報告

《はんのう生活祭》 11月15日（日）

3部会合同により、各部会活動や天覧山谷津の里づくりプロジェクト事業の写真等を展示しました。当日は晴天に恵まれ、ソーラークッカーによるポップコーン、目玉焼きの実演を行い、好評でした。また、環境に関するクイズを行い、温室効果ガス削減等をPRしました。



クイズに答える参加者



ソーラークッカー

《エコライフ DAY2009（冬）》 12月13日（日）

事業所、小・中学生や教職員のご協力により4,280人の参加があり、二酸化炭素削減量は約3.5tでした。

《里山づくりシンポジウム～飯能のみどりを次世代へ引き継ぐために～》 2月21日（日）

東京農工大学名誉教授の亀山章先生から「里山の過去・現在そして未来」の演題で、過去・現在・未来の里山を見る目などについてご講演をいただきました。その後、飯能市が実施した天覧山・多峯主山エリアの自然環境調査のプレゼンテーションを行い、はんのう市民環境会議、市民、NPO 法人天覧山・多峯主山の自然を守る会、西武鉄道㈱、飯能市によるパネルディスカッションを行いました。参加者は180名でした。



森林文化講演会



パネルディスカッション

《自然環境部会》 2月14日（日） 自然観察会「冬の里山バードウォッチング」の巻

駿河台大学名誉教授の内田康夫先生に案内をお願いしました。前日降った雪が残る冬の里山では、ルリビタキ、シメ、シロハラ、ホオジロ、カシラダカ、エナガなどが観察できました。最後に、東谷津でヤマアカガエルの卵を見て帰りました。参加者は13名でした。

《地球環境部会》森のようちえん 森づくり事業協力

11月15日(日)

はんのう生活祭で、活動報告パネルの展示とポット苗の配布を行いました。

11月25日(水)

園内整備とウルシ抜き作業を行いました。

12月6日(日) イベント『初冬の森の観察会とドングリの種まき』

ドングリの種まきとフユイチゴ狩りを行いました。

2月24日(水)

しいたけ菌の植え込みと巣箱の掛け替えを行いました。



《3部会合同会議》

11月28日、1月23日、2月27日(いずれも土曜日の午後7時から9時まで)

里山づくりシンポジウム、天覧山谷津の里づくりプロジェクト、西武鉄道の保全計画、天覧山一帯の保全計画などについて話し合いがありました。

《天覧山谷津の里づくりプロジェクト》

11月22日(日) 第4回 里山復活祭『谷津田の整備を楽しもう!』

48名が参加し、低灌木の伐り払いや田んぼづくり、水路整備、レンゲソウの種まきなどを行いました。また、駿河台大学アカペラサークル a c p の歌を聴きながら、てんたの会・西川木楽会の方の調理により炊き込みご飯とキノコ汁をいただきました。



レンゲソウの種まき



駿河台大学アカペラサークル a c p によるライブ

1月24日(日)

間伐材を使ってあぜ道づくりをしました。参加者は28名でした。

2月28日(日)

雨天のため中止になりました。

編集後記：

今年もスギ花粉の飛散がピークとなる時期を迎えました。昨年に較べると全国的に若干少なめの予測ですが、花粉症の方々には憂鬱な毎日であろうと存じます。環境省は2002年に「花粉観測システム(愛称：はなこさん)」を立ち上げ、毎年この時期になると、全国134地点の花粉飛散状況をホームページで公表しています。埼玉県には4ヶ所の測定局がありますが、その内の1ヶ所は飯能市役所です。各地点の花粉飛散量や気温、風向・風速などをリアルタイムで知ることが出来ます。花粉対策グッズが、いろいろ発売されていますが、外出する際の「お出掛けツール」の一つとして「花粉観測システム」の活用をお勧めします。

(広報委員長：伊藤知夫)

会報 エコネットはんのう

編集・発行／はんのう市民環境会議

平成22年度定期総会を開催

6月6日（日）に市民会館小ホールを会場に、平成22年度定期総会が、沢辺飯能市長、佐野市議会議長を来賓に迎え、開催されました。

総会では、平成21年度の事業報告、収支決算の承認に続き、役員の改選として17名の方が再任され、3名の方が新任されました。

また、事業計画案、収支予算案を審議し、全ての議案について原案どおり承認されました。

定期総会終了後には、スライド上映を行い、天覧山谷津の里づくりプロジェクト及び各部会の活動を紹介しました。

会場の外では、廃てんぷら油の回収を行い、12リットル集まりました。



○役員の改選により次のとおり役員が決まりました

- ・運営委員 18名（敬称略）

会長 木川 一男（市民） 副会長 伊藤 知夫（市民） 〃 西久保信夫（飯能市自治会連合会） 委員 高沖 義則（市民） 南林さえ子（駿河台大学） 小久保雅章（飯能青年会議所） 小池 昇（西川広域森林組合） 浅野 正敏（NPO 法人天覧山・多峯主山の自然を守る会） 鍋田 節男（飯能市合併処理浄化槽組合） 齋藤 実（有飯能清掃センター） 大塚 雅寛（株丸広百貨店飯能店） 中村 和久（株ニッソー冷熱製作所）	田中 聡憲（市民） 中川 淳（飯能商工会議所） 山崎 英夫（飯能市商店街連盟） 町田 儀明（飯能市農業青年会議所） 小池 重彦（新電元工業(株)） 市川 光一（株椿本チエイン） 間邊 元幸（市民）
--	--
- ・監査 2名
早瀬あかね（市民）

○事業計画・予算のあらましをお知らせします

（1）事業計画

本会は発足以来、7年目となります。これまで、飯能市における環境に関する現状の把握から始め、行動を起こし、活動の環を広げてきました。引き続き各分野での事業を積極的に展開していきます。それぞれの事業において、楽しく参加できるよう創意工夫を図りながら進めていくため、本年度のテーマを「みんなで活動を楽しもう」とします。

今まで培ってきた他団体等との連携を更に深め、情報交換や交流を活発に進めます。特に、天覧山谷津の里づくりは、天覧山から多峯主山一帯の保全構想をまとめた上でその位置づけを明らかにし、魅力あるモデル的事业として、多方面の事業者、団体へのPRを積極的に進めます。

(2) 収支予算

今年度の収支予算を1,090千円とし、天覧山谷津の里づくりプロジェクト事業や部会活動、会報の発行、イベント等を行います。

(3) 天覧山谷津の里づくりプロジェクト

飯能市森林文化都市宣言推進事業計画に基づき、市民、事業者、行政の協働による取り組みとして「谷津田の再生・活用」の事業を進めます。

- ①プロジェクト会議の開催 ②毎月1回定例作業
- ③里山復活祭の開催(1回) ④3部会合同会議との連携
- ⑤その他谷津田再生・活用と自然環境保全に関する事業

定例作業は、原則、第4日曜日の午前9時30分から約2時間行っています(雨天中止)。どなたでも参加できます。ぜひご参加ください。

(4) 各部会の活動計画

各部会の平成22年度における活動内容をご紹介します。

会員の皆さんは、どの部会の活動にも参加できます。皆さんのご参加をお待ちしています。

《自然環境部会》

自然環境部会では、次の事業に取り組みます。

- ①毎月1回の定例会議(3部会合同会議)の開催
(原則、第4木曜日の午後7時～9時に開催します)
- ②天覧山谷津の里づくりプロジェクトへの協力と提案
- ③天覧山・多峯主山一帯の保全計画提案
- ④飯能市の自然環境マップづくり
- ⑤自然観察会の開催
- ⑥自然環境講座、シンポジウム等の開催 ほか



《地球環境部会》

飯能の身近な山から採取した種子(主に落葉樹)を苗木として育て、市民の協力で地球に植林する「緑のダム運動」につなげられる活動を継続します。生活祭にてポット苗の配布をします。また、苗木を育てるための栽培地を確保し、移植を本格的に行います。

なお、この活動は、子ども家庭課の「森のようちえん森づくりの会」と協働事業で、美杉台公園東側緑地「森のようちえん」にて毎月定期的に活動しています。

今年度から、昆虫の森(阿須)への植樹と、森のようちえんの間伐材によるきのこ作りをします。

《生活環境部会》

生活環境部会では、小さなことから一人ひとりが日々の生活を見直し、環境に配慮した行動を進め、それが大きな輪となっていくことで環境に与える負荷が低減できるよう、次の事業に取り組みます。

- ①地球温暖化防止活動の実施
 - ・地球温暖化防止のPR活動 ・緑のカーテン事業
 - ・地球温暖化防止活動推進員及び他団体との協働による活動の実施
- ②飯能市街の美化の施策
 - ・まちなか清掃活動
- ③飯能市民の環境に対するモラルの高揚を図る
 - ・不法投棄の問題 ・ポイ捨ての問題
- ④将来を担う青少年への環境問題の啓発

3月～6月の活動報告

《自然環境部会》

○4月11日(日) 自然観察会「春の里山、山桜」の巻 25名参加

天覧山から多峯主山一帯のお花見(山桜など)を楽しみながら散策しました。

○5月9日(日) 自然観察会「新緑の里山を歩こう」の巻 27名参加

新緑に包まれた天覧山から多峯主山を散策。この時期に訪れる野鳥(キビタキやホトトギス)の声を聞き、植物では貴重なキンランやギンランなどの植物も確認できました。

○6月27日(日) 自然観察会「ほたるのタベ」の巻 41名参加

天覧山谷津(ほたるの里)にて、60匹以上のホタル(ゲンジボタルとヘイケボタル)を見ることが出来ました。

※いずれも「NPO法人天覧山・多峯主山の自然を守る会」との共催

《地球環境部会》

○森のようちえん森づくり事業

3月24日(水) 園内を整備しました。

4月24日(土) 春の野草教室 野草の観察・採集と竹の子掘り作業をして、参加者で調理して食べるイベントを開催しました。

6月2日(水) ポット苗作りをしました。

※4月17日、28日、5月26日、6月23日は雨天のため中止

《生活環境部会》

○緑のカーテン事業

昨年育てたゴーヤから採取した種を、4月13日に蒔きました。5月中旬には発芽し、約180苗を会員の方や事業所、公共施設に配布しました。6月には、市役所本庁舎・別館の連絡通路南側にゴーヤの苗を植栽し、ネットを張りました。

今年は、次の事業所も緑のカーテン事業を実施します。

(敬称略、順不同)

・(株)ニットー冷熱製作所

・サイタ工業(株)



《3部会合同会議》

3月27日(土)、4月24日(土)、5月26日(水)、6月24日(木)

谷津田再生プロジェクト(田植えの準備、イノシシ対策等)、飯能河原水辺再生事業について(県への説明会の申入れ、現地視察会の計画)、H22年度自然環境部会事業計画などについて、話し合いました。

《全体事業》

○天覧山谷津の里づくりプロジェクト

3月28日(日) 畦道づくり、低灌木の伐採

4月25日(日) 田ならし、植樹など

5月30日(日) 田植え、草刈り

6月27日(日) 草刈り、田の掘り起こし

参加者数…3月:18名、4月:22名

5月:28名、6月:24名



○飯能新緑ツーデーマーチ 5月22日(土)、23日(日)の2日間

はんのう市民環境会議がクリーンウォークのブースを担当し、中学生ボランティアと一緒にウォーカーへごみ袋などの配布を行いました。

○環境映画会「クヌート」上映 6月6日(日)

6月の環境月間事業として、映画「クヌート」を上映しました。地球温暖化による生態系への影響が危惧されていることから、今年はホッキョクグマたちの命のメッセージを伝えるドキュメンタリー映画を取り上げました。約150名の方が鑑賞しました。

○まちなか清掃活動 6月20日(日)

6月の環境月間事業として、飯能駅と東飯能駅周辺でポイ捨てごみを収集しました。90名の方が参加し、30kgのごみが集まりました。事業所として、(株)ニッター冷熱製作所、(有)飯能清掃センター、(株)椿本チエインから参加していただきました。



○事業所による清掃活動

事業所周辺の清掃活動を次の事業所等が実施しました。

(敬称略、順不同)

- ・荏原エンジニアリングサービス(株)
- ・(株)ニッター冷熱製作所
- ・(財)すぎの子文化振興財団
- ・東京電力(株)飯能営業センター
- ・JFEミネラル(株)武蔵野鋳業所
- ・新電元工業(株)
- ・飯能市手をつなぐ育成会

○不法投棄防止活動

6月中、次の事業所のご協力により「不法投棄は許しません」のボディパネルを車両に貼付して、啓発を行いました。

(敬称略、順不同)

- ・国際興業(株)飯能営業所
- ・西武バス(株)飯能営業所
- ・(有)飯能清掃センター
- ・(株)椿本チエイン
- ・飯能市役所



編集後記：

天覧山谷津の里づくりプロジェクトは、スタートして丸3年が経過しました。

活動報告でご覧のとおり、今年も5月に田植えを行い、先日「田の草取り」と周辺の草刈りを行いました。水田には多くの水生動物が戻って来ており、ちょうどトンボが羽化している状況を観察することができました。

帰り際に、新宿から来たという補虫網(タモ網)を持った二人の若者と出会いましたが、彼らはインターネットで、この地域の情報を知ったようです。

“昆虫の里”として当地域が認められ、子供達の叫び声が聞こえる姿を想像する一方で、無秩序な捕獲・採取の対策を痛感した次第でした。

(広報委員長：伊藤知夫)

会報 エコネットはんのう

編集・発行／はんのう市民環境会議

《天覧山谷津の里づくりプロジェクト》

里山復活祭で食べます！

天覧入り谷津田でお米が 収穫できました

天覧山谷津の里づくりプロジェクトを始めて3年目にして、やっとお米が収穫できました。お米の種類はキヌヒカリで、収穫量は45kgでした。収穫したお米は、11月21日（日）の「第5回里山復活祭」で炊き込みご飯にして食べます。一般の方も参加できるイベントですので、これまで作業に参加したことのある方もない方も、ぜひご参加ください。

■7月25日（日） 電気柵設置

イノシシ対策として、田んぼの周りに電気柵を設置しました。参加者23名。



■8月22日（日） 草刈り

猛暑の中、草刈りや丸太運びをしました。参加者14名。



■9月26日（日） 稲刈り

皆で稲を刈り取り、干しました。参加者22名。



■10月17日（日） 脱穀・選別

9月に収穫した稲を、昔ながらの方法で脱穀・選別しました。参加者20名。



足踏み式脱穀機

逆V字型の針金を埋め込んだドラムを回転させ、そこに稲穂を当てて籾をこそぎとります。



千歯こき

古式の脱穀用農具で、歯の部分に稲穂をかけて引き、籾をはずします。



唐箕（とうみ）

脱穀後の稲を風の力を利用して選別する道具です。



《自然環境部会》

■飯能河原水辺再生事業現地視察会

現在進められている「飯能河原水辺再生事業」について、7月24日（土）に現地を確認しながら意見や質問をまとめました。9月15日（水）に意見書を提出し、意見交換を行いました。

■7月18日（日） 自然観察会

「虫ムシ探検隊」の巻

夏の昆虫（カブトムシやクワガタ、オオムラサキなど）を探しながらゆっくりと散策を楽しみました。22名参加。

■8月8日（日） 自然観察会

「名栗川を歩いてみよう」の巻

名栗川の水生生物を観察しながら川を散策しました。

■9月12日（日） 自然観察会

「秋の野草観察」の巻

天覧山から多峯主山一帯で、この時期に見られる草花を観察しながらゆっくりと散策を楽しみました。

《地球環境部会》

子ども家庭課「森のようちえん事業」共催

■7月10日（土）「夏の虫さがし教室」

カブトムシやセミの抜け殻探しや、園内の草木や巣箱の観察をしました。

■7月28日（水）、8月25日（水）、9月22日（水）、10月27日（水）

はんのう生活祭で配布するポット苗の準備や園内の整備をしました。

《生活環境部会》

■10月23日（土） まちなか清掃活動

市役所互助会と合同により、飯能駅と東飯能駅周辺でポイ捨てごみを収集しました。70名が参加し、20kgのごみが集まりました。

事業所として、㈱ニッター冷熱製作所、㈲飯能清掃センターから参加していただきました。



《3部会合同会議》

■7月22日（木）、8月26日（木）、9月23日（木）、10月28日（木）

- 飯能河原水辺再生工事について
- 谷津田再生プロジェクト及び里山保全全体構想について
- 生活祭展示について



編集後記：

冒頭にも記載のとおり、今年は無事に「谷津田の米」を収穫することが出来ました。

昨年はイノシシ被害で全滅しましたので初めての収穫であり、11月21日の「里山復活祭」では収穫感謝祭をも祝うことが出来ますことを、皆様と共に喜びたいと思います。

ほぼ半年間にわたる「米作り作業」を通して、農家の皆さまのご苦労を実感することができました。

また同時に、今回収穫出来たお米（45kg）を生産者米価に換算すると、約1万円であることに別の驚きを感じましたが、皆さまは如何だったでしょうか。

（広報委員長：伊藤知夫）

はんのう市民環境会議事務局 飯能市環境緑水課

TEL 042-973-2111（内線 701）／FAX 042-971-2393

メール kankyo@city.hanno.saitama.jp

こどもエコクラブに参加しませんか

こどもエコクラブは、幼児から高校生まで誰でも参加できる環境活動クラブで、環境省が応援しています。2人以上の子どもと活動を支える1人以上の大人(高校生以上)を集めれば、クラブをつくることができます。

たとえば・・・

近所で：近所のお友達、兄弟姉妹、親戚

学校で：幼稚園、保育園、学校のクラス、クラブ、委員会、有志

施設で：児童館、公民館、児童クラブ

地域で：ボーイスカウト、ガールスカウト、児童スポーツ団体、地域活動に集まる子ども達

その他、どのような形態でも、どのような活動でもOKです！

ご家族でも参加
できます！



どんなことをするの？

こどもエコクラブのメンバーは、自分たちのできる、身近な環境活動に自由に取り組んでいます。活動は多く行っていただくのが理想ですが、年に数回でもかまいません。

たとえば・・・

自然の中で：自然観察、生きものウォッチング

まちの中で：リサイクル活動、エコマップ作り

家やお店で：リサイクル工作、省エネ活動

みんなの前で：発表会、交流会

※ニュースレターに活動のヒントがいろいろ載っています。



メンバーになると・・・

- ① メンバースバッジ、エコログ（環境記録ノート）など活動に役立つスターターキットやニュースレターがもらえます。
- ② 活動に必要な用具については、飯能市が各小中学校及び各こどもエコクラブを対象に行っている環境学習用品給付事業で給付を受けることができます。（年に一度）



メンバーになるまで ★入会金・会費はかかりません。

- ①「環境活動しよう!」という仲間を集める。（2人以上で幼児～高校生まで）
- ②こどもエコクラブ事務局（環境緑水課）と連絡をとってもらう大人(高校生以上)を決める。
- ③好きなクラブ名をつけて環境緑水課にある「登録用紙」に必要事項を記入し、環境緑水課に提出する。登録はいつでも可能です！

※登録用紙は、「こどもエコクラブ」ホームページからもダウンロードできます。

こどもエコクラブホームページ <http://www.ecoclub.go.jp/>

こどもエコクラブ
イメージキャラクター
「エコまる」

少しでも興味を持った方は、環境緑水課までお気軽にご相談ください。



会報 エコネットはんのう

編集・発行／はんのう市民環境会議

緑のカーテンに挑戦しませんか？

緑のカーテンとは、ツル性の植物で作る自然のカーテンの事です。夏の暑い日に、直射日光の遮断や葉の蒸散作用によって周辺の温度の上昇を抑えてくれます。

窓辺や壁に作れば、エアコンの使用を抑えても涼しく過ごすことができるため、省エネ・電気代節約につながります。

ニガウリ（ゴーヤ）の種を無料で配布します！

今年はニガウリの種を配布し、緑のカーテンを作っていただける方を募集します。はんのう市民環境会議の会員の方へは、「広報はんのう」でお知らせする4月4日から的一般配布に先立って配布します。身近なところから緑のカーテンを広めていきましょう。

配布期間：平成23年3月28日（月）～4月15日（金）の平日開庁時間

※なくなり次第終了となりますので、予めご了承ください。

※種を蒔く時期は、4月初旬から下旬が適しています。

配布対象：会員、市内に居住している方、市内に所在する事業所・団体

費用：無料

申込み：不要。直接はんのう市民環境会議事務局（環境緑水課）までお越しください。



通路を覆った緑のカーテン



ニガウリの実

11月～2月の活動報告

《自然環境部会》2月13日（日） 自然観察会「冬の里山バードウォッチング」の巻

駿河台大学名誉教授の内田康夫先生に案内をお願いしました。今回はムササビが木の巣穴から顔を見せてくれたり、普段出会えることがない野鳥「ヤマシギ」を観察することが出来ました。参加者は16名でした。



《地球環境部会》森のようちえん 森づくり事業協力

12月4日（土） 冬のイベント part1

初冬の自然観察会と冬イチゴ狩りを行いました。

1月26日（水） 企画会議（美杉台ふれあい館）

2月16日（水） 園内整備

2月19日（土） 冬のイベント part2

きのこ菌の植え付けや自然観察を行いました。

《3部会合同会議》

11月25日、1月27日、2月24日（いずれも木曜日の午後7時から9時まで）

天覧山谷津の里づくりプロジェクト、ダンボールコンポスト、クリーンセンターの建て替えなどについて話し合いがありました。

《天覧山谷津の里づくりプロジェクト》

11月21日（日） 第5回 里山復活祭 谷津田の恵みを味わおう！

「天覧山谷津の里づくりプロジェクト」のイベントとして、第5回目となる里山復活祭「谷津田の恵みを味わおう！」を開催しました。

今回は58名の方にご参加いただき、谷津田周辺の広葉樹林の下刈り、田んぼの水路整備、レンゲソウの種まきなどを行いました。作業後は、駿河台大学アカペラサークルa c pの歌を聴きながら、9月に収穫したお米で作ったムカゴご飯とキノコ汁をいただきました。



中央公園での開会式



広葉樹林の下刈り



水路整備



レンゲソウの種まき



昼食を調理してくださった「てんたの会」と「西川木楽会」の皆さん



歌を聴きながら皆で昼食

1月23日（日）

前半は、田んぼの土を掘り起こしてあぜ道を作りました。後半は、田んぼの東側の広葉樹林で林床に茂ったヒサカキを伐採したり、しいたけのほだ木にするための丸太を切ったりしました。参加者は19名でした。



あぜ道づくり



ほだ木づくり

2月27日（日）

丸太に穴を開け、しいたけ菌を打ちました。また、堆肥を作るため、林で落ち葉を集めました。参加者は16名でした。



しいたけの菌打ち



落ち葉かき

《エコライフ DAY2010（冬）》 12月19日（日）

事業所、小・中学生や教職員のご協力により8,152人の参加があり、二酸化炭素削減量は約5.4tでした。詳細は、別紙報告書をご覧ください。



キャンペーンキャラクター
埼玉県のマスコット「コバトン」

編集後記：

虫たちも春の準備に忙しい時期ですが、先日気象庁から今年の夏の長期予報が発表されました。これによりますと、今年も平年に比べて“暑い夏”の到来が予想されています。

そこで、今年は「緑のカーテン」で涼しい夏を体験していただけるよう、広く市民の皆様に「にがうり（ゴーヤ）」の種をお配りいたします。すでに会員の皆さんは、色んな「緑のカーテンづくり」に取り組んでいただいておりますが、市内全域でこの運動が広がるよう、皆さまのご支援をお願いいたします。

（広報委員長：伊藤知夫）

はんのう市民環境会議事務局 飯能市環境緑水課

TEL 042-973-2111（内線 701）／FAX 042-971-2393

メール kankyo@city.hanno.saitama.jp

会報 エコネットはんのう

編集・発行／はんのう市民環境会議

平成23年度定期総会を開催

6月5日(日)に市民会館小ホールを会場に、沢辺飯能市長、大久保市議会議長を来賓に迎え、平成23年度定期総会が開催されました。

総会では、平成22年度の事業報告、収支決算の承認に続き、役員の一部改選として1名の方が選任されました。また、平成23年度の事業計画案、収支予算案を審議し、全ての議案について原案どおり議決されました。

会場のホワイエでは天覧山谷津の里づくりプロジェクト事業や各部会の活動のパネル展示を行い、外では廃てんぷら油の回収を行いました。



○役員の一部改選により新委員が選任されました

新委員 高柳 一彦（株丸広百貨店飯能店）（敬称略）



○事業計画、予算のあらましをお知らせします

（1）活動目標（全文）

本会は平成15年11月の発足以来、今年度は実質的な活動としては8年目となります。これまで、飯能市における環境に関する現状の把握から始め、行動を起こし、活動の環を広げてきました。引き続き各分野での事業を積極的に展開していきます。本年度、飯能市環境基本計画の見直しの年であり、また東日本大震災を踏まえての活動を進めていくため、本年度のテーマを「東日本大震災の被災地をおもい、生活スタイルの見直しに取組もう」とします。

今まで培ってきた他団体等との連携を更に深め、情報交換や交流を活発に進めます。特に、天覧山谷津の里づくりは、天覧山から多峯主山一帯の保全構想をまとめた上でその位置づけを明らかにし、魅力あるモデル的事业として、多方面の事業者、団体へのPRを積極的に進めます。

その他、各種事業において、協力団体との協働を進めながら、それぞれが生活スタイルの見直しの意識を持って参加できるよう努めます。

活動状況について、定期的な会報・予定表の発行、ホームページの更新などで情報を提供しPRしていきます。

2）収支予算

今年度の収支予算を1,034千円とし、天覧山谷津の里づくりプロジェクト事業や部会活動、会報の発行、イベント等を行います。

（3）天覧山谷津の里づくりプロジェクト

飯能市森林文化都市宣言推進事業計画に基づき、市民、事業者、行政の協働による取り組みとして「谷津田の再生・活用」の事業を進めます。

- 1）プロジェクト会議の開催
- 2）毎月1回定例作業

- 3) 里山復活祭の開催(1回) 4) 部会合同会議との連携
5) その他谷津田再生・活用と自然環境保全に関する事業

定例作業は、原則、第4日曜日の午前9時30分から約2時間行っています(雨天中止)。どなたでも参加できます。ぜひご参加ください。

(4) 各部会等の活動計画

各部会の平成23年度における活動内容をご紹介します。

会員の皆さんは、どの部会の活動にも参加できます。皆さんのご参加をお待ちしています。

《自然環境部会》

自然環境部会では、次の事業に取り組みます。

- 1) 毎月1回定例会議(部会合同会議)の開催
※原則として第4木曜日の午後7時から9時まで
- 2) 天覧山谷津の里づくりプロジェクトへの協力と提案
- 3) 天覧山・多峯主山一帯の保全計画提案
- 4) 飯能市の自然環境マップづくり
- 5) 自然観察会の開催
- 6) 自然環境講座、シンポジウム等の開催
- 7) 飯能河原周辺水辺再生事業の検証
- 8) その他自然環境に関する事業



《地球環境部会》

飯能の身近な山より採取した種子(主に落葉樹)を苗木として育て、市民の協力で地球に植林する「緑のダム運動」につなげられる活動をしています。生活祭にてポット苗木の配布をします。また、山に植林する苗木として育てるため、栽培地を確保して、移植を本格的に行います。

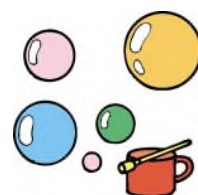
なお、この活動は、子ども家庭課の「森のようちえん森づくりの会」と協働作業で、美杉台公園東側緑地「森のようちえん」にて活動しています。

《会全体(運営委員会)》

地球温暖化をはじめとする様々な環境問題が深刻化する中で、社会全体を持続可能なものへと変革していくため、環境に配慮した生活や責任ある行動をしていくことが求められています。

はんのう市民環境会議では、一人一人が日々の生活の小さなことから見直すきっかけ作りとして、次の事業に取り組みます。

- 1) 節電・地球温暖化防止活動の実施
 - ・家庭でできる節電・地球温暖化防止のPR活動の実施
 - ・緑のカーテン事業の実施
 - ・地球温暖化防止活動推進員及び他団体との協働による活動の実施
- 2) 飯能市街の美化の施策
 - ・まちなか清掃活動
- 3) 飯能市民の環境に対するモラルの高揚を図る
 - ・不法投棄の問題
 - ・ポイ捨ての問題
 - ・ゴミ減量化及び資源化
- 4) 将来を担う青少年への環境問題の啓発
- 5) 環境汚染に関する研究



3月～6月の活動報告

《自然環境部会》

○4月10日(日) 自然観察会「春の里山・山桜」の巻 16名参加

東日本大震災による影響のため中止としましたが、中止連絡が行き届かず、参加者が16名集まってしまったため、午前中のみ天覧山周辺をご案内しました。

○5月8日(日) 自然観察会「新緑の中で森林療法体験」の巻 8名参加

新緑に包まれた天覧山周辺で、森林療法によるリラクゼーション効果を体験。

講師：森 香織(NPO 法人日本森林療法協会会員・臨床心理士)

○6月26日(日) 自然観察会「天覧山谷津のホタル観察会」の巻 14名参加

例年に比べ、1週間ほど発生時期が遅れているため、確認できたホタルは10匹程度でした。

※いずれも「NPO 法人天覧山・多峯主山の自然を守る会」との共催



《地球環境部会》

○森のようちえん森づくり事業

3月23日(水) 園内を整備しました。

4月17日(日) 春の野草教室

木の芽や野草の採取・天ぷら調理をしました。大人24名、子ども17名、計41名の方が参加しました。

4月27日(水)、5月25日(水)、6月22日(水) 園内を整備しました。

《部会合同会議》

4月28日(木)、5月26日(木)、6月23日(木) ※3月24日(木)は中止

平成23年度事業計画、谷津田再生プロジェクトと周辺整備、平成23年度の天覧山周辺整備(間伐)計画の概要、谷津田再生プロジェクトへの第一小学校児童参加、環境基本計画見直しなどについて、話し合いました。

《天覧山谷津の里づくりプロジェクト》

4月24日(日) 田ならし、植樹など
29名参加

5月29日(日) 田植え 15名参加

6月26日(日)

草刈り、シイタケのほだ木立掛け
23名参加



田植えの様子



ほだ木立掛けの様子

《会全体》

○飯能新緑ツーデーマーチ 5月21日(土)、22日(日)

はんのう市民環境会議がクリーンウォークのブースを担当し、中学生ボランティアと一緒にウォーカーへごみ袋などの配布を行いました。

○植樹会

3月13日は震災による影響のため中止となり、5月1日に延期しました。26名が参加し、イロハモミジとイタヤカエデを植えました。



植樹会の様子

○環境映画会「オーシャンズ」上映 6月5日（日）

今年は、6月の環境月間事業として、海の知られざる姿と驚異の生物達をとらえたドキュメンタリー映画を上映しました。211名の方が鑑賞しました。

○まちなか清掃活動 6月19日（日）

6月の環境月間事業として、飯能駅と東飯能駅周辺でポイ捨てごみを収集しました。83名の方が参加し、30kgのごみが集まりました。

参加事業所・団体

（敬称略、順不同）

- ・(株)ニッソー冷熱製作所
- ・(有)飯能清掃センター
- ・(株)椿本チエイン



まちなか清掃の様子



○事業所による清掃活動

実施事業所・団体（敬称略、順不同）

- ・(株)スイング
- ・(株)ニッソー冷熱製作所
- ・新電元工業(株)
- ・JFE ミネラル(株)武蔵野鋳業所
- ・加治東小学校

○不法投棄防止活動

6月中、次の事業所のご協力により「不法投棄は許しません」のボディパネルを車両に貼付して、啓発を行いました。

協力事業所・団体（敬称略、順不同）

- ・国際興業(株)飯能営業所
- ・西武バス(株)飯能営業所
- ・(有)飯能清掃センター
- ・(株)椿本チエイン
- ・飯能市役所

○緑のカーテン事業

今年は、一般の方も含め200名以上の方に、ゴーヤ、ヘチマ、ヒョウタン、アサガオの種を配布しました。また、5月下旬蒔いたゴーヤが6月初めに発芽し、約100苗を公民館や保育所など公共施設に配布しました。

6月中旬には、市役所本庁舎・別館の連絡通路南側にゴーヤ、ヘチマ、アサガオ、ナタマメの苗を植栽しました。

実施事業所（敬称略、順不同）

- ・武蔵野コンピュータコンサルタント
- ・ニッソー冷熱製作所

編集後記：梅雨明けを待たずに、早くも猛暑日が続いておりますが、今年の夏は「節電の夏」と言っても過言でないと思います。

別紙活動計画や市報でもご案内の通り、飯能市でも「家庭における節電コンクール」が実施されます。電気を効率良く使うために、各ご家庭で工夫を凝らした“賢い節電”に取り組んで戴きたいと思っております。またコンクールへの参加も併せてお願いいたします。

（広報委員長：伊藤知夫）

会報 エコネットはんのう

編集・発行／はんのう市民環境会議

入間川（矢嵐）における県の水辺再生プランについて

埼玉県では、入間川の「安らぎと賑わいの創造」と「清流の復活」を目指し、行政と地域住民等が協働し、地域の実情にあわせた水辺空間の整備を進めることとしています。

平成23年度から24年度にかけて、矢久橋から岩沢運動公園付近までの延長約3.5kmの区間について、整備を進めることとなりましたので、その概要をお知らせします。

位置図



工事概要

遊歩道：延長約3.5km

幅員2.0m

その他：次頁

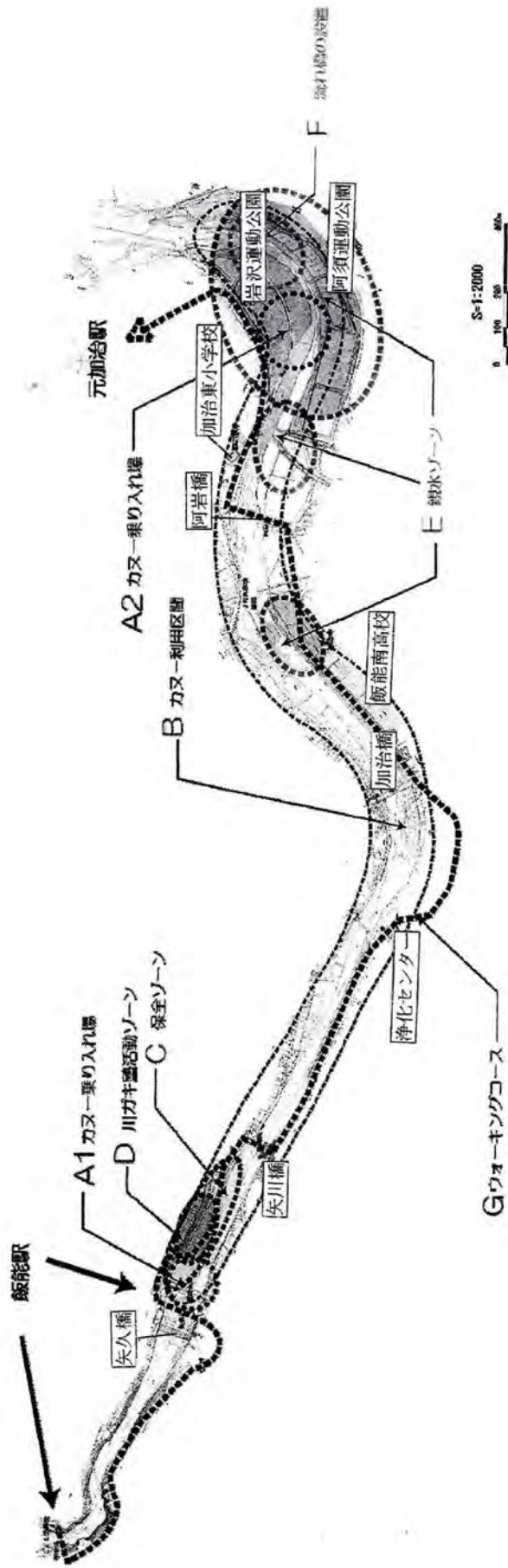
『水辺再生イメージ案』
のとおり



整備前の様子



水辺再生イメージ案



ゾーン名	整備案	備考	ゾーン名	整備案	備考
A1：カヌー乗り入れ場	上流の飯能大橋部にカヌー用アブローチ（搬入、搬出のための車寄せ）		D：川ガキ塾活動ゾーン	環境学習エリア（ゾーン分け）	
A2：カヌー乗り入れ場	下流の岩沢運動公園部にカヌー用アブローチ（搬入、搬出のための車寄せ）		E：親水ゾーン	環境学習や、子どもが水辺で遊べる空間の整備 トイレ等の案内板の設置	清掃等の維持管理は、市、地元等と協働
B：カヌー利用区画	区間内の段差のある所については迂回路を検討		F：流れ橋の設置	岩沢運動公園と阿須運動公園と行き来できるように流れ橋を設置	※設置条件・管理案 設置⇒県 管理責任⇒市 清掃等⇒地域住民
C：保全ゾーン	飯能礫層やその周辺の植物等の保全		G：ウォーキングコース	案内板の設置 遊歩道部分は可能な範囲でスロープ等を検討	清掃等の維持管理は、市、地元等と協働

7月～10月の活動報告

《天覧山谷津の里づくりプロジェクト》

今年もたくさんのお米が収穫でき、収穫量は昨年を上回る81kgでした。

■7月24日（日） 電気柵設置、草刈り

イノシシ対策として、田んぼの周りに電気柵を設置しました。参加者18名。

■9月25日（日） 稲刈り

皆で稲を刈り取り、笠懸に干しました。参加者29名。



■8月28日（日） 草刈り、笠懸の準備

猛暑の中、草刈りや笠懸に使う木の皮むきをしました。参加者21名。



■10月16日（日） 脱穀・選別

9月に収穫した稲を、昔ながらの方法で脱穀・選別しました。参加者20名。



足踏み式脱穀機



唐箕（とうみ）

《緑のカーテン事業》

市役所連絡通路にニガウリ、ナタマメ、ヘチマ、アサガオを植栽しました。今年は暑さに負けずどんどん成長し、葉が通路を覆って涼しくしてくれました。

また、種子を配布した方から、たくさんの写真とコメントをいただきました。写真とコメントは、11月13日（日）の『はんのう生活祭』で展示させていただく予定です。

※ご記入いただいた氏名、住所、電話番号を公表することはありません。



《自然環境部会》

■7月17日（日） 自然観察会
「オオムラサキを見てみよう」の巻
夏の昆虫を探しながら散策を楽しみました。

■8月7日（日） 自然観察会
「名栗川を歩いてみよう」の巻
増水のため、コースを飯能河原周辺に変更し、名栗川の生物観察を実施しました。
11名参加。

■9月11日（日） 自然観察会
「秋の草花観察会」の巻
初秋の天覧山周辺で、野草の調査を体験しながら散策を楽しみました。15名参加。

《地球環境部会》

子ども家庭課「森のようちえん事業」共催

■7月10日（日）「夏の虫探し教室」
カブトムシ探しや自然観察をしました。

■7月27日（水）、8月24日（水）、
9月28日（水）、10月26日（水）
はんのう生活祭で配布するポット苗の準備や園内の整備をしました。



《会全体》

■10月29日（土） まちなか清掃活動
市役所互助会と合同により、飯能駅と東飯能駅周辺でポイ捨てごみを収集しました。
93名が参加し、20kgのごみが集まりました。

事業所として、(株)ニッソー冷熱製作所、
(有)飯能清掃センター、(株)椿本チエインから
参加していただきました。



《部会合同会議》

■7月28日（木）、8月25日（木）、
9月22日（木）、10月27日（木）

- 天覧山谷津田再生プロジェクトと周辺整備について
- 入間川水辺再生事業計画について
- 環境基本計画見直しについて
- 放射能情報について
- はんのう生活祭の展示について など

編集後記：

10月31日に世界人口が70億人に達したとのことですが、最近の世界人口統計によりますと、1年間に約8000万人、1日当たり22万人の人口増加が続いております。1960年における世界の人口は30億人でしたので、この50年間で2.3倍に増加しました。また、今世紀半ばには90億人を突破するという推計も出ております。

急激な人口増加は、地球規模での食糧危機やエネルギー不足を加速させております。今の日本人の生活水準を全世界の人々が享受するには、地球が3個以上必要といわれており、地球市民として、現状からの方向転換を痛切に感じております。

（広報委員長：伊藤知夫）

はんのう市民環境会議事務局 飯能市環境緑水課
TEL 042-973-2111（内線701）／FAX 042-971-2393
メール kankyo@city.hanno.saitama.jp

会報 エコネットはんのう

編集・発行／はんのう市民環境会議

自動車の運転はエコドライブで！

CO₂
削減

燃料費
節約

安全
運転

エコドライブは二酸化炭素の削減、燃料費節約、安全運転に大変効果的です。皆さんもエコドライブをいつもの習慣にしませんか。

①ふんわりアクセル

- ・発進時はアクセルをゆるやかに踏みましょう。5秒で20kmが目安です。

②加減速の少ない運転

- ・車間距離に余裕をもち、流れに乗ったらアクセルの踏み方は一定に。



③早めのアクセルオフ

- ・前方の信号をよく見ながら、停止時はエンジンプレーキを効かせましょう。「燃料カット」機能が働き、その区間の燃料消費はゼロに。

④エアコンの使用を控えめに

- ・設定温度により消費燃料は大きく違います。春や秋には窓を開けて外の空気を取り入れましょう！

⑤アイドリングストップ

- ・待ち合わせや荷物の積み降ろし時など長く停めるときには、エンジンを切りましょう。

⑥暖気運転は適切に

- ・現在のエンジンは暖機運転不要です。走行しながらウォーミングアップ。

⑦道路交通情報の活用

- ・出かける前に渋滞や道路障害等の交通情報、ルートをチェック。渋滞の少ないルートを走りましょう。

⑧タイヤの空気圧をこまめにチェック

- ・タイヤの空気圧を適正に。0.5kg/cm²の低下で3%燃費が悪化します。



⑨不要な荷物は積まずに走行

- ・不要な荷物は降ろしましょう。100kgで、3%の燃費が悪化します。

⑩駐車場所に注意

- ・路上駐車で渋滞を引き起こすと、他の車の燃費を悪化させてしまいます。

11月～2月の活動報告

《自然環境部会》2月12日（日） 自然観察会「冬の里山バードウォッチング」の巻

駿河台大学名誉教授の内田康夫先生の案内にて、天覧山から多峯主山周辺で冬鳥を観察しました。ルリビタキ、エナガ、モズ、ノスリなどが見られました。参加者は15名でした。

《地球環境部会》森のようちえん 森づくり事業協力

11月30日（水） 園内整備

12月 4日（日） 冬のイベント part1

フユイチゴ狩りやドングリの種まきを行いました。

12月21日（水） 園内整備

2月15日（水） 園内整備

2月19日（日） 冬のイベント part2

しいたけ菌の植え付けや自然観察を行いました。



《部会合同会議》

11月24日、1月26日、2月23日（いずれも木曜日の午後7時から9時まで）

天覧山谷津田再生プロジェクト、天覧山から多峯主山一帯の整備・保全の方針、新エネルギー、放射線に関すること、次年度事業計画、環境基本計画などについて話し合いがありました。

《はんのう生活祭》11月13日（日）

市役所西側駐車場で開催された「はんのう生活祭」に出展しました。市民環境会議ブースでは、活動状況の展示や生ゴミ堆肥化のPRなどを行いました。森のようちえんブースでは、ポット苗の配布や活動状況の展示を行いました。



市民環境会議ブース



緑のカーテン報告写真の展示

《エコライフ DAY2011（冬）》12月11日（日）

事業所、小・中学生や教職員のご協力により7,665人の参加があり、二酸化炭素削減量は約5.2tでした。詳細は、別紙報告書をご覧ください。

《天覧山谷津の里づくりプロジェクト》

第6回 里山復活祭 谷津田の整備を楽しもう！

「天覧山谷津の里づくりプロジェクト」のイベントとして、11月23日（水）に第6回里山復活祭「谷津田の整備を楽しもう！」を開催しました。

今回は69名の方の方にご参加いただき、田んぼづくり、谷津田周辺の広葉樹林の下刈り、レンゲソウの種まきなどを行いました。作業後は、飯能吹奏楽研究会ディキシーバンドのジャズ演奏を聴きながら、炊き込みご飯と豚汁をいただきました。



田んぼづくり



広葉樹林の下刈り



昼食を調理してくださった「てんたの会」と「西川木楽会」の皆さん



レンゲソウの種まき



ジャズを演奏してくださった「飯能吹奏楽研究会ディキシーバンド」の皆さん



演奏を聴きながら皆で昼食

《天覧山谷津の里づくりプロジェクト》

1月22日(日)

田んぼを均したり、落ち葉を集めて虫たちのすみかを作りました。参加者は13名でした。



落ち葉掻き



田ならし

2月26日(日)

田んぼの横の池作りや、マツの木の周りの落ち葉掻きをしました。参加者は16名でした。



池作り



落ち葉掻き

編集後記：弥生三月の声を聞いて、ようやく梅の見頃を迎えたようです。

今年は全国的に寒波と大雪に見舞われて、春の訪れが約1ヶ月程遅れております。この大寒波は日本だけでなく、ヨーロッパ各地でも多くの被害が発生しました。原因については諸説紛々ですが「ラニーニャ現象」の影響で偏西風が南に蛇行して、寒波が日本に及んだと言われています。更に、北極圏の海水減少が原因でもあるようです。これは「地球温暖化」がもたらす「寒冷化」という一見矛盾した現象ですが、数年前に環境映画会で上映された「デイ・アフター・トゥモロー」の恐怖が蘇り、“地球との共生”の難しさを痛感しました。

(広報委員長：伊藤知夫)